分数のかけ算・わり算

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント かけ算は分子どうし・分母どうしをかけます。わり算は、わる数の逆数をかけます。

例 $\frac{2}{3} \div \frac{4}{5} = \frac{2}{3} \times \frac{5}{4} = \frac{5}{6}$。

(1) $\frac{2}{3} \times \frac{3}{5}$

答え

(2) $\frac{5}{8} \times \frac{4}{7}$

答え

(3) $\frac{3}{4} \times \frac{8}{9}$

答え

(4) $\frac{2}{3} \div \frac{4}{5}$

答え

(5) $\frac{5}{6} \div \frac{2}{3}$

答え

(6) $\frac{7}{10} \div \frac{7}{5}$

答え

分数の答えは、約分できるときは約分しましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

分数のかけ算・わり算 / 解答と考え方

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　答え合わせ

---

(1) $\frac{2}{5}$

分子どうし、分母どうしをかけて $\frac{6}{15}$。約分できるときは約分します。

---

(2) $\frac{5}{14}$

分子どうし、分母どうしをかけて $\frac{20}{56}$。約分できるときは約分します。

---

(3) $\frac{2}{3}$

分子どうし、分母どうしをかけて $\frac{24}{36}$。約分できるときは約分します。

---

(4) $\frac{5}{6}$

わる数 $\frac{4}{5}$ を逆数 $\frac{5}{4}$ にして、$\frac{2}{3} \times \frac{5}{4}$ を計算します。

---

(5) $\frac{5}{4}$

わる数 $\frac{2}{3}$ を逆数 $\frac{3}{2}$ にして、$\frac{5}{6} \times \frac{3}{2}$ を計算します。

---

(6) $\frac{1}{2}$

わる数 $\frac{7}{5}$ を逆数 $\frac{5}{7}$ にして、$\frac{7}{10} \times \frac{5}{7}$ を計算します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：＿＿＿＿＿＿　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

分数のかけ算・わり算

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント かけ算は分子どうし・分母どうしをかけます。わり算は、わる数の逆数をかけます。

例 $\frac{2}{3} \div \frac{4}{5} = \frac{2}{3} \times \frac{5}{4} = \frac{5}{6}$。

(1) $\frac{2}{7} \times \frac{1}{3}$

答え

(2) $\frac{2}{7} \div \frac{1}{3}$

答え

(3) $\frac{1}{3} \times 2$

答え

(4) $\frac{1}{3} \div 3$

答え

(5) $\frac{13}{21} \times \frac{2}{7}$

答え

(6) $1 \div \frac{1}{3}$

答え

分数の答えは、約分できるときは約分しましょう。得点 ＿＿ / 6　できた問題に○を付けましょう。

分数のかけ算・わり算 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) $\frac{2}{21}$

分子どうし、分母どうしをかけて $\frac{2}{21}$。約分できるときは約分します。

(2) $\frac{6}{7}$

わる数 $\frac{1}{3}$ を逆数 3 にして、$\frac{2}{7} \times 3$ を計算します。

(3) $\frac{2}{3}$

分子どうし、分母どうしをかけて $\frac{2}{3}$。約分できるときは約分します。

(4) $\frac{1}{9}$

わる数 3 を逆数 $\frac{1}{3}$ にして、$\frac{1}{3} \times \frac{1}{3}$ を計算します。

(5) $\frac{26}{147}$

分子どうし、分母どうしをかけて $\frac{26}{147}$。約分できるときは約分します。

(6) 3

わる数 $\frac{1}{3}$ を逆数 3 にして、1×3 を計算します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

分数のかけ算・わり算

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント かけ算は分子どうし・分母どうしをかけます。わり算は、わる数の逆数をかけます。

例 $\frac{2}{3} \div \frac{4}{5} = \frac{2}{3} \times \frac{5}{4} = \frac{5}{6}$。

(1) $\frac{1}{4} \times \frac{2}{7}$

答え

(2) $\frac{1}{4} \div \frac{2}{7}$

答え

(3) $\frac{2}{7} \times 2$

答え

(4) $\frac{2}{7} \div 3$

答え

(5) $\frac{15}{28} \times \frac{1}{4}$

答え

(6) $1 \div \frac{2}{7}$

答え

分数の答えは、約分できるときは約分しましょう。得点 ＿＿ / 6　できた問題に○を付けましょう。

分数のかけ算・わり算 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) $\frac{1}{14}$

分子どうし、分母どうしをかけて $\frac{2}{28}$。約分できるときは約分します。

(2) $\frac{7}{8}$

わる数 $\frac{2}{7}$ を逆数 $\frac{7}{2}$ にして、$\frac{1}{4} \times \frac{7}{2}$ を計算します。

(3) $\frac{4}{7}$

分子どうし、分母どうしをかけて $\frac{4}{7}$。約分できるときは約分します。

(4) $\frac{2}{21}$

わる数 3 を逆数 $\frac{1}{3}$ にして、$\frac{2}{7} \times \frac{1}{3}$ を計算します。

(5) $\frac{15}{112}$

分子どうし、分母どうしをかけて $\frac{15}{112}$。約分できるときは約分します。

(6) $\frac{7}{2}$

わる数 $\frac{2}{7}$ を逆数 $\frac{7}{2}$ にして、$1 \times \frac{7}{2}$ を計算します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

分数のかけ算・わり算

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント かけ算は分子どうし・分母どうしをかけます。わり算は、わる数の逆数をかけます。

例 $\frac{2}{3} \div \frac{4}{5} = \frac{2}{3} \times \frac{5}{4} = \frac{5}{6}$。

(1) $\frac{2}{9} \times \frac{4}{15}$

答え

(2) $\frac{2}{9} \div \frac{4}{15}$

答え

(3) $\frac{4}{15} \times 2$

答え

(4) $\frac{4}{15} \div 3$

答え

(5) $\frac{22}{45} \times \frac{2}{9}$

答え

(6) $1 \div \frac{4}{15}$

答え

分数の答えは、約分できるときは約分しましょう。得点 ＿＿ / 6　できた問題に○を付けましょう。

分数のかけ算・わり算 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) $\frac{8}{135}$

分子どうし、分母どうしをかけて $\frac{8}{135}$。約分できるときは約分します。

(2) $\frac{5}{6}$

わる数 $\frac{4}{15}$ を逆数 $\frac{15}{4}$ にして、$\frac{2}{9} \times \frac{15}{4}$ を計算します。

(3) $\frac{8}{15}$

分子どうし、分母どうしをかけて $\frac{8}{15}$。約分できるときは約分します。

(4) $\frac{4}{45}$

わる数 3 を逆数 $\frac{1}{3}$ にして、$\frac{4}{15} \times \frac{1}{3}$ を計算します。

(5) $\frac{44}{405}$

分子どうし、分母どうしをかけて $\frac{44}{405}$。約分できるときは約分します。

(6) $\frac{15}{4}$

わる数 $\frac{4}{15}$ を逆数 $\frac{15}{4}$ にして、$1 \times \frac{15}{4}$ を計算します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

分数のかけ算・わり算

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント かけ算は分子どうし・分母どうしをかけます。わり算は、わる数の逆数をかけます。

例 $\frac{2}{3} \div \frac{4}{5} = \frac{2}{3} \times \frac{5}{4} = \frac{5}{6}$。

(1) $\frac{1}{5} \times \frac{1}{4}$

答え

(2) $\frac{1}{5} \div \frac{1}{4}$

答え

(3) $\frac{1}{4} \times 2$

答え

(4) $\frac{1}{4} \div 3$

答え

(5) $\frac{9}{20} \times \frac{1}{5}$

答え

(6) $1 \div \frac{1}{4}$

答え

分数の答えは、約分できるときは約分しましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

分数のかけ算・わり算 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

---

(1) $\frac{1}{20}$

分子どうし、分母どうしをかけて $\frac{1}{20}$。約分できるときは約分します。

---

(2) $\frac{4}{5}$

わる数 $\frac{1}{4}$ を逆数 4 にして、$\frac{1}{5} \times 4$ を計算します。

---

(3) $\frac{1}{2}$

分子どうし、分母どうしをかけて $\frac{2}{4}$。約分できるときは約分します。

---

(4) $\frac{1}{12}$

わる数 3 を逆数 $\frac{1}{3}$ にして、$\frac{1}{4} \times \frac{1}{3}$ を計算します。

---

(5) $\frac{9}{100}$

分子どうし、分母どうしをかけて $\frac{9}{100}$。約分できるときは約分します。

---

(6) 4

わる数 $\frac{1}{4}$ を逆数 4 にして、1×4 を計算します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

分数のかけ算・わり算

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント かけ算は分子どうし・分母どうしをかけます。わり算は、わる数の逆数をかけます。

例 $\frac{2}{3}\div\frac{4}{5}=\frac{2}{3}\times\frac{5}{4}=\frac{5}{6}$。

(1) 1mの重さが$\frac{3}{4}$kgの棒があります。$\frac{2}{3}$mでは何kgですか。

答え

(2) $\frac{3}{5}$Lのジュースを、1杯に$\frac{1}{10}$Lずつ分けます。何杯できますか。

答え

(3) 面積が$\frac{2}{3}$m²、たてが$\frac{4}{5}$mの長方形の横は何mですか。

答え

(4) 「$\frac{2}{3}\div\frac{4}{5}=\frac{3}{2}\times\frac{4}{5}$」を正しく直しましょう。

答え

(5) □×$\frac{3}{4}=\frac{1}{2}$。□に入る数を求めましょう。

答え

(6) $\frac{3}{4}\div\frac{1}{2}$の答えは$\frac{3}{4}$より大きいですか。計算して確かめましょう。

答え

分数の答えは、約分できるときは約分しましょう。 得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

分数のかけ算・わり算 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) $\frac{1}{2}$kg

1mの重さ×長さ。$\frac{3}{4}\times\frac{2}{3}$を約分します。

(2) 6杯

全体÷1杯分。$\frac{3}{5}\times10$。

(3) $\frac{5}{6}$m

横＝面積÷たて。$\frac{2}{3}\times\frac{5}{4}$。

(4) $\frac{2}{3}\times\frac{5}{4}=\frac{5}{6}$

逆数にするのは、わられる数ではなく、わる数$\frac{4}{5}$です。

(5) $\frac{2}{3}$

$\frac{1}{2}\div\frac{3}{4}=\frac{1}{2}\times\frac{4}{3}$。

(6) 大きい。$\frac{3}{2}$（1と$\frac{1}{2}$）。

$\frac{3}{4}\times2=\frac{3}{2}$。1より小さい正の数でわるので、商は大きくなります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

分数のかけ算・わり算

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント かけ算は分子どうし・分母どうしをかけます。わり算は、わる数の逆数をかけます。

例 $\frac{2}{3}\div\frac{4}{5}=\frac{2}{3}\times\frac{5}{4}=\frac{5}{6}$。

(1) 1mの重さが$\frac{2}{11}$kgの棒があります。$\frac{5}{18}$mの重さは何kgですか。

答え

(2) $\frac{5}{18}$Lを1杯$\frac{2}{11}$Lずつ分けます。何杯分ですか。

答え

(3) 面積$\frac{5}{18}$m²、たて$\frac{2}{11}$mの長方形の横は何mですか。

答え

(4) □×$\frac{2}{11}$=$\frac{5}{99}$。□はいくつですか。

答え

(5) $\frac{2}{11}$mのひもを14人で等しく分けます。1人何mですか。

答え

(6) $\frac{2}{11}\div\frac{5}{18}$で逆数にするのは、どちらの数ですか。

答え

分数の答えは、約分できるときは約分しましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

分数のかけ算・わり算 / 解答と考え方

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　答え合わせ

(1) $\frac{5}{99}$kg

1mの重さに長さをかけます。

(2) $\frac{55}{36}$杯分

全体÷1杯分。わる数を逆数にしてかけます。

(3) $\frac{55}{36}$m

横＝面積÷たて。

(4) $\frac{5}{18}$

積を、かけた数でわります。

(5) $\frac{1}{77}$m

整数でわるときも、その整数の逆数をかけます。

(6) $\frac{5}{18}$

わる数を逆数にします。わられる数は変えません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：＿＿＿＿＿＿　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

分数のかけ算・わり算

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント かけ算は分子どうし・分母どうしをかけます。わり算は、わる数の逆数をかけます。

例 $\frac{2}{3}\div\frac{4}{5}=\frac{2}{3}\times\frac{5}{4}=\frac{5}{6}$。

(1) 1mの重さが$\frac{1}{6}$kgの棒があります。$\frac{5}{6}$mの重さは何kgですか。

答え

(2) $\frac{5}{6}$Lを1杯$\frac{1}{6}$Lずつ分けます。何杯分ですか。

答え

(3) 面積$\frac{5}{6}$m²、たて$\frac{1}{6}$mの長方形の横は何mですか。

答え

(4) □$\times\frac{1}{6}=\frac{5}{36}$。□はいくつですか。

答え

(5) $\frac{1}{6}$mのひもを15人で等しく分けます。1人何mですか。

答え

(6) $\frac{1}{6}\div\frac{5}{6}$で逆数にするのは、どちらの数ですか。

答え

分数の答えは、約分できるときは約分しましょう。得点 ＿＿ / 6　できた問題に○を付けましょう。

分数のかけ算・わり算 / 解答と考え方

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　答え合わせ

(1) $\frac{5}{36}$kg

1mの重さに長さをかけます。

(2) 5杯分

全体÷1杯分。わる数を逆数にしてかけます。

(3) 5m

横＝面積÷たて。

(4) $\frac{5}{6}$

積を、かけた数でわります。

(5) $\frac{1}{90}$m

整数でわるときも、その整数の逆数をかけます。

(6) $\frac{5}{6}$

わる数を逆数にします。わられる数は変えません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：＿＿＿＿＿＿　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

分数のかけ算・わり算

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント かけ算は分子どうし・分母どうしをかけます。わり算は、わる数の逆数をかけます。

例 $\frac{2}{3}\div\frac{4}{5}=\frac{2}{3}\times\frac{5}{4}=\frac{5}{6}$。

(1) 1mの重さが$\frac{2}{15}$kgの棒があります。$\frac{5}{8}$mの重さは何kgですか。

答え

(2) $\frac{5}{8}$Lを1杯$\frac{2}{15}$Lずつ分けます。何杯分ですか。

答え

(3) 面積$\frac{5}{8}$m²、たて$\frac{2}{15}$mの長方形の横は何mですか。

答え

(4) □×$\frac{2}{15}$=$\frac{1}{12}$。□はいくつですか。

答え

(5) $\frac{2}{15}$mのひもを16人で等しく分けます。1人何mですか。

答え

(6) $\frac{2}{15}\div\frac{5}{8}$で逆数にするのは、どちらの数ですか。

答え

分数の答えは、約分できるときは約分しましょう。得点 ＿＿ / 6　できた問題に○を付けましょう。

分数のかけ算・わり算 / 解答と考え方

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　答え合わせ

(1) $\frac{1}{12}$kg

1mの重さに長さをかけます。

(2) $\frac{75}{16}$杯分

全体÷1杯分。わる数を逆数にしてかけます。

(3) $\frac{75}{16}$m

横＝面積÷たて。

(4) $\frac{5}{8}$

積を、かけた数でわります。

(5) $\frac{1}{120}$m

整数でわるときも、その整数の逆数をかけます。

(6) $\frac{5}{8}$

わる数を逆数にします。わられる数は変えません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：＿＿＿＿＿＿　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

分数のかけ算・わり算

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント かけ算は分子どうし・分母どうしをかけます。わり算は、わる数の逆数をかけます。

例 $\frac{2}{3}\div\frac{4}{5}=\frac{2}{3}\times\frac{5}{4}=\frac{5}{6}$。

(1) 1mの重さが$\frac{1}{8}$kgの棒があります。$\frac{1}{2}$mの重さは何kgですか。

答え

(2) $\frac{1}{2}$Lを1杯$\frac{1}{8}$Lずつ分けます。何杯分ですか。

答え

(3) 面積$\frac{1}{2}$m²、たて$\frac{1}{8}$mの長方形の横は何mですか。

答え

(4) □$\times\frac{1}{8}=\frac{1}{16}$。□はいくつですか。

答え

(5) $\frac{1}{8}$mのひもを17人で等しく分けます。1人何mですか。

答え

(6) $\frac{1}{8}\div\frac{1}{2}$で逆数にするのは、どちらの数ですか。

答え

分数の答えは、約分できるときは約分しましょう。得点 ＿＿ / 6　できた問題に○を付けましょう。

分数のかけ算・わり算 / 解答と考え方

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　答え合わせ

(1) $\frac{1}{16}$kg

1mの重さに長さをかけます。

(2) 4杯分

全体÷1杯分。わる数を逆数にしてかけます。

(3) 4m

横＝面積÷たて。

(4) $\frac{1}{2}$

積を、かけた数でわります。

(5) $\frac{1}{136}$m

整数でわるときも、その整数の逆数をかけます。

(6) $\frac{1}{2}$

わる数を逆数にします。わられる数は変えません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：＿＿＿＿＿＿　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

分数のかけ算・わり算

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント かけ算は分子どうし・分母どうしをかけます。わり算は、わる数の逆数をかけます。

例 $\frac{2}{3} \div \frac{4}{5} = \frac{2}{3} \times \frac{5}{4} = \frac{5}{6}$。

(1) $\frac{1}{5} \times \frac{4}{17}$

答え

(2) $\frac{1}{5} \div \frac{4}{17}$

答え

(3) $\frac{4}{17} \times 2$

答え

(4) $\frac{4}{17} \div 3$

答え

(5) $\frac{37}{85} \times \frac{1}{5}$

答え

(6) $1 \div \frac{4}{17}$

答え

分数の答えは、約分できるときは約分しましょう。得点 ＿＿ / 6　できた問題に○を付けましょう。

分数のかけ算・わり算 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) $\frac{4}{85}$

分子どうし、分母どうしをかけて $\frac{4}{85}$。約分できるときは約分します。

(2) $\frac{17}{20}$

わる数 $\frac{4}{17}$ を逆数 $\frac{17}{4}$ にして、$\frac{1}{5} \times \frac{17}{4}$ を計算します。

(3) $\frac{8}{17}$

分子どうし、分母どうしをかけて $\frac{8}{17}$。約分できるときは約分します。

(4) $\frac{4}{51}$

わる数 3 を逆数 $\frac{1}{3}$ にして、$\frac{4}{17} \times \frac{1}{3}$ を計算します。

(5) $\frac{37}{425}$

分子どうし、分母どうしをかけて $\frac{37}{425}$。約分できるときは約分します。

(6) $\frac{17}{4}$

わる数 $\frac{4}{17}$ を逆数 $\frac{17}{4}$ にして、$1 \times \frac{17}{4}$ を計算します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

分数のかけ算・わり算

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント かけ算は分子どうし・分母どうしをかけます。わり算は、わる数の逆数をかけます。

例 $\frac{2}{3} \div \frac{4}{5} = \frac{2}{3} \times \frac{5}{4} = \frac{5}{6}$。

(1) $\frac{3}{7} \times \frac{1}{6}$

答え

(2) $\frac{3}{7} \div \frac{1}{6}$

答え

(3) $\frac{1}{6} \times 2$

答え

(4) $\frac{1}{6} \div 3$

答え

(5) $\frac{25}{42} \times \frac{3}{7}$

答え

(6) $1 \div \frac{1}{6}$

答え

分数の答えは、約分できるときは約分しましょう。得点 ＿＿ / 6　できた問題に○を付けましょう。

分数のかけ算・わり算 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) $\frac{1}{14}$

分子どうし、分母どうしをかけて $\frac{3}{42}$。約分できるときは約分します。

(2) $\frac{18}{7}$

わる数 $\frac{1}{6}$ を逆数 6 にして、$\frac{3}{7} \times 6$ を計算します。

(3) $\frac{1}{3}$

分子どうし、分母どうしをかけて $\frac{2}{6}$。約分できるときは約分します。

(4) $\frac{1}{18}$

わる数 3 を逆数 $\frac{1}{3}$ にして、$\frac{1}{6} \times \frac{1}{3}$ を計算します。

(5) $\frac{25}{98}$

分子どうし、分母どうしをかけて $\frac{75}{294}$。約分できるときは約分します。

(6) 6

わる数 $\frac{1}{6}$ を逆数 6 にして、1×6 を計算します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

分数のかけ算・わり算

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント かけ算は分子どうし・分母どうしをかけます。わり算は、わる数の逆数をかけます。

例 $\frac{2}{3} \div \frac{4}{5} = \frac{2}{3} \times \frac{5}{4} = \frac{5}{6}$。

(1) $\frac{3}{8} \times \frac{1}{7}$

答え

(2) $\frac{3}{8} \div \frac{1}{7}$

答え

(3) $\frac{1}{7} \times 2$

答え

(4) $\frac{1}{7} \div 3$

答え

(5) $\frac{29}{56} \times \frac{3}{8}$

答え

(6) $1 \div \frac{1}{7}$

答え

分数の答えは、約分できるときは約分しましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

分数のかけ算・わり算 / 解答と考え方

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　答え合わせ

(1) $\frac{3}{56}$

分子どうし、分母どうしをかけて $\frac{3}{56}$。約分できるときは約分します。

(2) $\frac{21}{8}$

わる数 $\frac{1}{7}$ を逆数 7 にして、$\frac{3}{8} \times 7$ を計算します。

(3) $\frac{2}{7}$

分子どうし、分母どうしをかけて $\frac{2}{7}$。約分できるときは約分します。

(4) $\frac{1}{21}$

わる数 3 を逆数 $\frac{1}{3}$ にして、$\frac{1}{7} \times \frac{1}{3}$ を計算します。

(5) $\frac{87}{448}$

分子どうし、分母どうしをかけて $\frac{87}{448}$。約分できるときは約分します。

(6) 7

わる数 $\frac{1}{7}$ を逆数 7 にして、1×7 を計算します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：＿＿＿＿＿＿　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

分数のかけ算・わり算

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント かけ算は分子どうし・分母どうしをかけます。わり算は、わる数の逆数をかけます。

例 $\frac{2}{3} \div \frac{4}{5} = \frac{2}{3} \times \frac{5}{4} = \frac{5}{6}$。

(1) $\frac{1}{3} \times \frac{2}{15}$

答え

(2) $\frac{1}{3} \div \frac{2}{15}$

答え

(3) $\frac{2}{15} \times 2$

答え

(4) $\frac{2}{15} \div 3$

答え

(5) $\frac{7}{15} \times \frac{1}{3}$

答え

(6) $1 \div \frac{2}{15}$

答え

分数の答えは、約分できるときは約分しましょう。得点 ＿＿ / 6　できた問題に○を付けましょう。

分数のかけ算・わり算 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) $\frac{2}{45}$

分子どうし、分母どうしをかけて $\frac{2}{45}$。約分できるときは約分します。

(2) $\frac{5}{2}$

わる数 $\frac{2}{15}$ を逆数 $\frac{15}{2}$ にして、$\frac{1}{3} \times \frac{15}{2}$ を計算します。

(3) $\frac{4}{15}$

分子どうし、分母どうしをかけて $\frac{4}{15}$。約分できるときは約分します。

(4) $\frac{2}{45}$

わる数 3 を逆数 $\frac{1}{3}$ にして、$\frac{2}{15} \times \frac{1}{3}$ を計算します。

(5) $\frac{7}{45}$

分子どうし、分母どうしをかけて $\frac{7}{45}$。約分できるときは約分します。

(6) $\frac{15}{2}$

わる数 $\frac{2}{15}$ を逆数 $\frac{15}{2}$ にして、$1 \times \frac{15}{2}$ を計算します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

分数のかけ算・わり算

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント かけ算は分子どうし・分母どうしをかけます。わり算は、わる数の逆数をかけます。

例 $\frac{2}{3} \div \frac{4}{5} = \frac{2}{3} \times \frac{5}{4} = \frac{5}{6}$。

(1) $\frac{3}{10} \times \frac{1}{8}$

答え

(2) $\frac{3}{10} \div \frac{1}{8}$

答え

(3) $\frac{1}{8} \times 2$

答え

(4) $\frac{1}{8} \div 3$

答え

(5) $\frac{17}{40} \times \frac{3}{10}$

答え

(6) $1 \div \frac{1}{8}$

答え

分数の答えは、約分できるときは約分しましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

分数のかけ算・わり算 / 解答と考え方

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　答え合わせ

(1) $\frac{3}{80}$

分子どうし、分母どうしをかけて $\frac{3}{80}$。約分できるときは約分します。

(2) $\frac{12}{5}$

わる数 $\frac{1}{8}$ を逆数 8 にして、$\frac{3}{10} \times 8$ を計算します。

(3) $\frac{1}{4}$

分子どうし、分母どうしをかけて $\frac{2}{8}$。約分できるときは約分します。

(4) $\frac{1}{24}$

わる数 3 を逆数 $\frac{1}{3}$ にして、$\frac{1}{8} \times \frac{1}{3}$ を計算します。

(5) $\frac{51}{400}$

分子どうし、分母どうしをかけて $\frac{51}{400}$。約分できるときは約分します。

(6) 8

わる数 $\frac{1}{8}$ を逆数 8 にして、1×8 を計算します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：＿＿＿＿＿＿　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

分数のかけ算・わり算

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント かけ算は分子どうし・分母どうしをかけます。わり算は、わる数の逆数をかけます。

例 $\frac{2}{3} \div \frac{4}{5} = \frac{2}{3} \times \frac{5}{4} = \frac{5}{6}$。

(1) $\frac{4}{17} \times \frac{5}{19}$

答え

(2) $\frac{4}{17} \div \frac{5}{19}$

答え

(3) $\frac{5}{19} \times 2$

答え

(4) $\frac{5}{19} \div 3$

答え

(5) $\frac{161}{323} \times \frac{4}{17}$

答え

(6) $1 \div \frac{5}{19}$

答え

分数の答えは、約分できるときは約分しましょう。 得点 ＿＿ / 6　できた問題に○を付けましょう。

分数のかけ算・わり算 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) $\dfrac{20}{323}$

分子どうし、分母どうしをかけて $\frac{20}{323}$。約分できるときは約分します。

(2) $\dfrac{76}{85}$

わる数 $\frac{5}{19}$ を逆数 $\frac{19}{5}$ にして、$\frac{4}{17} \times \frac{19}{5}$ を計算します。

(3) $\dfrac{10}{19}$

分子どうし、分母どうしをかけて $\frac{10}{19}$。約分できるときは約分します。

(4) $\dfrac{5}{57}$

わる数 3 を逆数 $\frac{1}{3}$ にして、$\frac{5}{19} \times \frac{1}{3}$ を計算します。

(5) $\dfrac{644}{5491}$

分子どうし、分母どうしをかけて $\frac{644}{5491}$。約分できるときは約分します。

(6) $\dfrac{19}{5}$

わる数 $\frac{5}{19}$ を逆数 $\frac{19}{5}$ にして、$1 \times \frac{19}{5}$ を計算します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

分数のかけ算・わり算

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント かけ算は分子どうし・分母どうしをかけます。わり算は、わる数の逆数をかけます。

例 $\frac{2}{3} \div \frac{4}{5} = \frac{2}{3} \times \frac{5}{4} = \frac{5}{6}$。

(1) $\frac{3}{11} \times \frac{1}{6}$

答え

(2) $\frac{3}{11} \div \frac{1}{6}$

答え

(3) $\frac{1}{6} \times 2$

答え

(4) $\frac{1}{6} \div 3$

答え

(5) $\frac{29}{66} \times \frac{3}{11}$

答え

(6) $1 \div \frac{1}{6}$

答え

分数の答えは、約分できるときは約分しましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

分数のかけ算・わり算 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) $\frac{1}{22}$

分子どうし、分母どうしをかけて $\frac{3}{66}$。約分できるときは約分します。

(2) $\frac{18}{11}$

わる数 $\frac{1}{6}$ を逆数 6 にして、$\frac{3}{11} \times 6$ を計算します。

(3) $\frac{1}{3}$

分子どうし、分母どうしをかけて $\frac{2}{6}$。約分できるときは約分します。

(4) $\frac{1}{18}$

わる数 3 を逆数 $\frac{1}{3}$ にして、$\frac{1}{6} \times \frac{1}{3}$ を計算します。

(5) $\frac{29}{242}$

分子どうし、分母どうしをかけて $\frac{87}{726}$。約分できるときは約分します。

(6) 6

わる数 $\frac{1}{6}$ を逆数 6 にして、1×6 を計算します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

分数のかけ算・わり算

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント かけ算は分子どうし・分母どうしをかけます。わり算は、わる数の逆数をかけます。

例 $\frac{2}{3} \div \frac{4}{5} = \frac{2}{3} \times \frac{5}{4} = \frac{5}{6}$。

(1) $\frac{1}{4} \times \frac{1}{2}$

答え

(2) $\frac{1}{4} \div \frac{1}{2}$

答え

(3) $\frac{1}{2} \times 2$

答え

(4) $\frac{1}{2} \div 3$

答え

(5) $\frac{3}{4} \times \frac{1}{4}$

答え

(6) $1 \div \frac{1}{2}$

答え

分数の答えは、約分できるときは約分しましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

分数のかけ算・わり算 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

---

(1) $\frac{1}{8}$

分子どうし、分母どうしをかけて $\frac{1}{8}$。約分できるときは約分します。

---

(2) $\frac{1}{2}$

わる数 $\frac{1}{2}$ を逆数 2 にして、$\frac{1}{4} \times 2$ を計算します。

---

(3) 1

分子どうし、分母どうしをかけて $\frac{2}{2}$。約分できるときは約分します。

---

(4) $\frac{1}{6}$

わる数 3 を逆数 $\frac{1}{3}$ にして、$\frac{1}{2} \times \frac{1}{3}$ を計算します。

---

(5) $\frac{3}{16}$

分子どうし、分母どうしをかけて $\frac{3}{16}$。約分できるときは約分します。

---

(6) 2

わる数 $\frac{1}{2}$ を逆数 2 にして、1×2 を計算します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

分数のかけ算・わり算

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント かけ算は分子どうし・分母どうしをかけます。わり算は、わる数の逆数をかけます。

例 $\frac{2}{3} \div \frac{4}{5} = \frac{2}{3} \times \frac{5}{4} = \frac{5}{6}$。

(1) $\frac{1}{5} \times \frac{3}{8}$

答え

(2) $\frac{1}{5} \div \frac{3}{8}$

答え

(3) $\frac{3}{8} \times 2$

答え

(4) $\frac{3}{8} \div 3$

答え

(5) $\frac{23}{40} \times \frac{1}{5}$

答え

(6) $1 \div \frac{3}{8}$

答え

分数の答えは、約分できるときは約分しましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

分数のかけ算・わり算 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) $\frac{3}{40}$

分子どうし、分母どうしをかけて $\frac{3}{40}$。約分できるときは約分します。

(2) $\frac{8}{15}$

わる数 $\frac{3}{8}$ を逆数 $\frac{8}{3}$ にして、$\frac{1}{5} \times \frac{8}{3}$ を計算します。

(3) $\frac{3}{4}$

分子どうし、分母どうしをかけて $\frac{6}{8}$。約分できるときは約分します。

(4) $\frac{1}{8}$

わる数 3 を逆数 $\frac{1}{3}$ にして、$\frac{3}{8} \times \frac{1}{3}$ を計算します。

(5) $\frac{23}{200}$

分子どうし、分母どうしをかけて $\frac{23}{200}$。約分できるときは約分します。

(6) $\frac{8}{3}$

わる数 $\frac{3}{8}$ を逆数 $\frac{8}{3}$ にして、$1 \times \frac{8}{3}$ を計算します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

分数のかけ算・わり算

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント かけ算は分子どうし・分母どうしをかけます。わり算は、わる数の逆数をかけます。

例 $\frac{2}{3} \div \frac{4}{5} = \frac{2}{3} \times \frac{5}{4} = \frac{5}{6}$。

(1) $\frac{3}{16} \times \frac{3}{10}$

答え

(2) $\frac{3}{16} \div \frac{3}{10}$

答え

(3) $\frac{3}{10} \times 2$

答え

(4) $\frac{3}{10} \div 3$

答え

(5) $\frac{39}{80} \times \frac{3}{16}$

答え

(6) $1 \div \frac{3}{10}$

答え

分数の答えは、約分できるときは約分しましょう。得点 ＿＿ / 6　できた問題に○を付けましょう。

分数のかけ算・わり算 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

---

(1) $\frac{9}{160}$

分子どうし、分母どうしをかけて $\frac{9}{160}$。約分できるときは約分します。

---

(2) $\frac{5}{8}$

わる数 $\frac{3}{10}$ を逆数 $\frac{10}{3}$ にして、$\frac{3}{16} \times \frac{10}{3}$ を計算します。

---

(3) $\frac{3}{5}$

分子どうし、分母どうしをかけて $\frac{6}{10}$。約分できるときは約分します。

---

(4) $\frac{1}{10}$

わる数 3 を逆数 $\frac{1}{3}$ にして、$\frac{3}{10} \times \frac{1}{3}$ を計算します。

---

(5) $\frac{117}{1280}$

分子どうし、分母どうしをかけて $\frac{117}{1280}$。約分できるときは約分します。

---

(6) $\frac{10}{3}$

わる数 $\frac{3}{10}$ を逆数 $\frac{10}{3}$ にして、$1 \times \frac{10}{3}$ を計算します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

分数のかけ算・わり算

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント かけ算は分子どうし・分母どうしをかけます。わり算は、わる数の逆数をかけます。

例 $\frac{2}{3}\div\frac{4}{5}=\frac{2}{3}\times\frac{5}{4}=\frac{5}{6}$。

(1) 1mの重さが$\frac{5}{19}$kgの棒があります。$\frac{2}{7}$mの重さは何kgですか。

答え

(2) $\frac{2}{7}$Lを1杯$\frac{5}{19}$Lずつ分けます。何杯分ですか。

答え

(3) 面積$\frac{2}{7}$m²、たて$\frac{5}{19}$mの長方形の横は何mですか。

答え

(4) □×$\frac{5}{19}$=$\frac{10}{133}$。□はいくつですか。

答え

(5) $\frac{5}{19}$mのひもを6人で等しく分けます。1人何mですか。

答え

(6) $\frac{5}{19}\div\frac{2}{7}$で逆数にするのは、どちらの数ですか。

答え

分数の答えは、約分できるときは約分しましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

分数のかけ算・わり算 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) $\frac{10}{133}$kg

1mの重さに長さをかけます。

(2) $\frac{38}{35}$杯分

全体÷1杯分。わる数を逆数にしてかけます。

(3) $\frac{38}{35}$m

横＝面積÷たて。

(4) $\frac{2}{7}$

積を、かけた数でわります。

(5) $\frac{5}{114}$m

整数でわるときも、その整数の逆数をかけます。

(6) $\frac{2}{7}$

わる数を逆数にします。わられる数は変えません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

分数のかけ算・わり算

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント かけ算は分子どうし・分母どうしをかけます。わり算は、わる数の逆数をかけます。

例 $\frac{2}{3}\div\frac{4}{5}=\frac{2}{3}\times\frac{5}{4}=\frac{5}{6}$。

(1) 1mの重さが$\frac{4}{7}$kgの棒があります。$\frac{1}{3}$mの重さは何kgですか。

答え

(2) $\frac{1}{3}$Lを1杯$\frac{4}{7}$Lずつ分けます。何杯分ですか。

答え

(3) 面積$\frac{1}{3}$m²、たて$\frac{4}{7}$mの長方形の横は何mですか。

答え

(4) □$\times\frac{4}{7}=\frac{4}{21}$。□はいくつですか。

答え

(5) $\frac{4}{7}$mのひもを26人で等しく分けます。1人何mですか。

答え

(6) $\frac{4}{7}\div\frac{1}{3}$で逆数にするのは、どちらの数ですか。

答え

分数の答えは、約分できるときは約分しましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

分数のかけ算・わり算 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) $\frac{4}{21}$kg

1mの重さに長さをかけます。

(2) $\frac{7}{12}$杯分

全体÷1杯分。わる数を逆数にしてかけます。

(3) $\frac{7}{12}$m

横＝面積÷たて。

(4) $\frac{1}{3}$

積を、かけた数でわります。

(5) $\frac{2}{91}$m

整数でわるときも、その整数の逆数をかけます。

(6) $\frac{1}{3}$

わる数を逆数にします。わられる数は変えません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

分数のかけ算・わり算

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント かけ算は分子どうし・分母どうしをかけます。わり算は、わる数の逆数をかけます。

例 $\frac{2}{3} \div \frac{4}{5} = \frac{2}{3} \times \frac{5}{4} = \frac{5}{6}$。

(1) 1mの重さが$\frac{1}{2}$kgの棒があります。$\frac{2}{7}$mの重さは何kgですか。

答え

(2) $\frac{2}{7}$Lを1杯$\frac{1}{2}$Lずつ分けます。何杯分ですか。

答え

(3) 面積$\frac{2}{7}$m²、たて$\frac{1}{2}$mの長方形の横は何mですか。

答え

(4) □$\times \frac{1}{2} = \frac{1}{7}$。□はいくつですか。

答え

(5) $\frac{1}{2}$mのひもを27人で等しく分けます。1人何mですか。

答え

(6) $\frac{1}{2} \div \frac{2}{7}$で逆数にするのは、どちらの数ですか。

答え

分数の答えは、約分できるときは約分しましょう。得点 ＿＿ / 6　できた問題に○を付けましょう。

分数のかけ算・わり算 / 解答と考え方

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　答え合わせ

(1) $\frac{1}{7}$kg

1mの重さに長さをかけます。

(2) $\frac{4}{7}$杯分

全体÷1杯分。わる数を逆数にしてかけます。

(3) $\frac{4}{7}$m

横＝面積÷たて。

(4) $\frac{2}{7}$

積を、かけた数でわります。

(5) $\frac{1}{54}$m

整数でわるときも、その整数の逆数をかけます。

(6) $\frac{2}{7}$

わる数を逆数にします。わられる数は変えません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：＿＿＿＿＿＿　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

分数のかけ算・わり算

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント かけ算は分子どうし・分母どうしをかけます。わり算は、わる数の逆数をかけます。

例 $\frac{2}{3}\div\frac{4}{5}=\frac{2}{3}\times\frac{5}{4}=\frac{5}{6}$。

(1) 1mの重さが$\frac{4}{9}$kgの棒があります。$\frac{4}{15}$mの重さは何kgですか。

答え

(2) $\frac{4}{15}$Lを1杯$\frac{4}{9}$Lずつ分けます。何杯分ですか。

答え

(3) 面積$\frac{4}{15}$m²、たて$\frac{4}{9}$mの長方形の横は何mですか。

答え

(4) □$\times\frac{4}{9}=\frac{16}{135}$。□はいくつですか。

答え

(5) $\frac{4}{9}$mのひもを28人で等しく分けます。1人何mですか。

答え

(6) $\frac{4}{9}\div\frac{4}{15}$で逆数にするのは、どちらの数ですか。

答え

分数の答えは、約分できるときは約分しましょう。得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

分数のかけ算・わり算 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) $\frac{16}{135}$kg

1mの重さに長さをかけます。

(2) $\frac{3}{5}$杯分

全体÷1杯分。わる数を逆数にしてかけます。

(3) $\frac{3}{5}$m

横＝面積÷たて。

(4) $\frac{4}{15}$

積を、かけた数でわります。

(5) $\frac{1}{63}$m

整数でわるときも、その整数の逆数をかけます。

(6) $\frac{4}{15}$

わる数を逆数にします。わられる数は変えません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

分数のかけ算・わり算

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント かけ算は分子どうし・分母どうしをかけます。わり算は、わる数の逆数をかけます。

例 $\frac{2}{3}\div\frac{4}{5}=\frac{2}{3}\times\frac{5}{4}=\frac{5}{6}$。

(1) 1mの重さが$\frac{2}{5}$kgの棒があります。$\frac{1}{4}$mの重さは何kgですか。

答え

(2) $\frac{1}{4}$Lを1杯$\frac{2}{5}$Lずつ分けます。何杯分ですか。

答え

(3) 面積$\frac{1}{4}$m²、たて$\frac{2}{5}$mの長方形の横は何mですか。

答え

(4) □$\times\frac{2}{5}=\frac{1}{10}$。□はいくつですか。

答え

(5) $\frac{2}{5}$mのひもを29人で等しく分けます。1人何mですか。

答え

(6) $\frac{2}{5}\div\frac{1}{4}$で逆数にするのは、どちらの数ですか。

答え

分数の答えは、約分できるときは約分しましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

分数のかけ算・わり算 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) $\frac{1}{10}$kg

1mの重さに長さをかけます。

(2) $\frac{5}{8}$杯分

全体÷1杯分。わる数を逆数にしてかけます。

(3) $\frac{5}{8}$m

横＝面積÷たて。

(4) $\frac{1}{4}$

積を、かけた数でわります。

(5) $\frac{2}{145}$m

整数でわるときも、その整数の逆数をかけます。

(6) $\frac{1}{4}$

わる数を逆数にします。わられる数は変えません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

分数のかけ算・わり算

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント かけ算は分子どうし・分母どうしをかけます。わり算は、わる数の逆数をかけます。

例 $\frac{2}{3}\div\frac{4}{5}=\frac{2}{3}\times\frac{5}{4}=\frac{5}{6}$。

(1) 1mの重さが$\frac{2}{7}$kgの棒があります。$\frac{7}{23}$mの重さは何kgですか。

答え

(2) $\frac{7}{23}$Lを1杯$\frac{2}{7}$Lずつ分けます。何杯分ですか。

答え

(3) 面積$\frac{7}{23}$m²、たて$\frac{2}{7}$mの長方形の横は何mですか。

答え

(4) □$\times\frac{2}{7}=\frac{2}{23}$。□はいくつですか。

答え

(5) $\frac{2}{7}$mのひもを7人で等しく分けます。1人何mですか。

答え

(6) $\frac{2}{7}\div\frac{7}{23}$で逆数にするのは、どちらの数ですか。

答え

分数の答えは、約分できるときは約分しましょう。得点 ＿＿ / 6　できた問題に○を付けましょう。

分数のかけ算・わり算 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) $\frac{2}{23}$kg

1mの重さに長さをかけます。

(2) $\frac{49}{46}$杯分

全体÷1杯分。わる数を逆数にしてかけます。

(3) $\frac{49}{46}$m

横＝面積÷たて。

(4) $\frac{7}{23}$

積を、かけた数でわります。

(5) $\frac{2}{49}$m

整数でわるときも、その整数の逆数をかけます。

(6) $\frac{7}{23}$

わる数を逆数にします。わられる数は変えません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

分数のかけ算・わり算

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント かけ算は分子どうし・分母どうしをかけます。わり算は、わる数の逆数をかけます。

例 $\frac{2}{3}\div\frac{4}{5}=\frac{2}{3}\times\frac{5}{4}=\frac{5}{6}$。

(1) 1mの重さが$\frac{4}{11}$kgの棒があります。$\frac{5}{18}$mの重さは何kgですか。

答え

(2) $\frac{5}{18}$Lを1杯$\frac{4}{11}$Lずつ分けます。何杯分ですか。

答え

(3) 面積$\frac{5}{18}$m²、たて$\frac{4}{11}$mの長方形の横は何mですか。

答え

(4) □$\times\frac{4}{11}=\frac{10}{99}$。□はいくつですか。

答え

(5) $\frac{4}{11}$mのひもを30人で等しく分けます。1人何mですか。

答え

(6) $\frac{4}{11}\div\frac{5}{18}$で逆数にするのは、どちらの数ですか。

答え

分数の答えは、約分できるときは約分しましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

分数のかけ算・わり算 / 解答と考え方

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　答え合わせ

(1) $\frac{10}{99}$kg

1mの重さに長さをかけます。

(2) $\frac{55}{72}$杯分

全体÷1杯分。わる数を逆数にしてかけます。

(3) $\frac{55}{72}$m

横＝面積÷たて。

(4) $\frac{5}{18}$

積を、かけた数でわります。

(5) $\frac{2}{165}$m

整数でわるときも、その整数の逆数をかけます。

(6) $\frac{5}{18}$

わる数を逆数にします。わられる数は変えません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：＿＿＿＿＿＿　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

分数のかけ算・わり算

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント かけ算は分子どうし・分母どうしをかけます。わり算は、わる数の逆数をかけます。

例 $\frac{2}{3}\div\frac{4}{5}=\frac{2}{3}\times\frac{5}{4}=\frac{5}{6}$。

(1) 1mの重さが$\frac{1}{3}$kgの棒があります。$\frac{5}{6}$mの重さは何kgですか。

答え

(2) $\frac{5}{6}$Lを1杯$\frac{1}{3}$Lずつ分けます。何杯分ですか。

答え

(3) 面積$\frac{5}{6}$m²、たて$\frac{1}{3}$mの長方形の横は何mですか。

答え

(4) □$\times\frac{1}{3}=\frac{5}{18}$。□はいくつですか。

答え

(5) $\frac{1}{3}$mのひもを31人で等しく分けます。1人何mですか。

答え

(6) $\frac{1}{3}\div\frac{5}{6}$で逆数にするのは、どちらの数ですか。

答え

分数の答えは、約分できるときは約分しましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

分数のかけ算・わり算 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) $\frac{5}{18}$kg

1mの重さに長さをかけます。

(2) $\frac{5}{2}$杯分

全体÷1杯分。わる数を逆数にしてかけます。

(3) $\frac{5}{2}$m

横＝面積÷たて。

(4) $\frac{5}{6}$

積を、かけた数でわります。

(5) $\frac{1}{93}$m

整数でわるときも、その整数の逆数をかけます。

(6) $\frac{5}{6}$

わる数を逆数にします。わられる数は変えません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

分数のかけ算・わり算

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント かけ算は分子どうし・分母どうしをかけます。わり算は、わる数の逆数をかけます。

例 $\frac{2}{3}\div\frac{4}{5}=\frac{2}{3}\times\frac{5}{4}=\frac{5}{6}$。

(1) 1mの重さが$\frac{4}{15}$kgの棒があります。$\frac{5}{8}$mの重さは何kgですか。

答え

(2) $\frac{5}{8}$Lを1杯$\frac{4}{15}$Lずつ分けます。何杯分ですか。

答え

(3) 面積$\frac{5}{8}$m²、たて$\frac{4}{15}$mの長方形の横は何mですか。

答え

(4) □$\times\frac{4}{15}=\frac{1}{6}$。□はいくつですか。

答え

(5) $\frac{4}{15}$mのひもを32人で等しく分けます。1人何mですか。

答え

(6) $\frac{4}{15}\div\frac{5}{8}$で逆数にするのは、どちらの数ですか。

答え

分数の答えは、約分できるときは約分しましょう。得点 ＿＿ / 6　できた問題に○を付けましょう。

分数のかけ算・わり算 / 解答と考え方

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　答え合わせ

(1) $\frac{1}{6}$kg

1mの重さに長さをかけます。

(2) $\frac{75}{32}$杯分

全体÷1杯分。わる数を逆数にしてかけます。

(3) $\frac{75}{32}$m

横＝面積÷たて。

(4) $\frac{5}{8}$

積を、かけた数でわります。

(5) $\frac{1}{120}$m

整数でわるときも、その整数の逆数をかけます。

(6) $\frac{5}{8}$

わる数を逆数にします。わられる数は変えません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：＿＿＿＿＿＿　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

分数のかけ算・わり算

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント かけ算は分子どうし・分母どうしをかけます。わり算は、わる数の逆数をかけます。

例 $\frac{2}{3}\div\frac{4}{5}=\frac{2}{3}\times\frac{5}{4}=\frac{5}{6}$。

(1) 1mの重さが$\frac{1}{4}$kgの棒があります。$\frac{1}{2}$mの重さは何kgですか。

答え

(2) $\frac{1}{2}$Lを1杯$\frac{1}{4}$Lずつ分けます。何杯分ですか。

答え

(3) 面積$\frac{1}{2}$m²、たて$\frac{1}{4}$mの長方形の横は何mですか。

答え

(4) □$\times\frac{1}{4}=\frac{1}{8}$。□はいくつですか。

答え

(5) $\frac{1}{4}$mのひもを3人で等しく分けます。1人何mですか。

答え

(6) $\frac{1}{4}\div\frac{1}{2}$で逆数にするのは、どちらの数ですか。

答え

分数の答えは、約分できるときは約分しましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

分数のかけ算・わり算 / 解答と考え方

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　答え合わせ

(1) $\frac{1}{8}$kg

1mの重さに長さをかけます。

(2) 2杯分

全体÷1杯分。わる数を逆数にしてかけます。

(3) 2m

横＝面積÷たて。

(4) $\frac{1}{2}$

積を、かけた数でわります。

(5) $\frac{1}{132}$m

整数でわるときも、その整数の逆数をかけます。

(6) $\frac{1}{2}$

わる数を逆数にします。わられる数は変えません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：＿＿＿＿＿＿　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

比

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 比の両方の数に、同じ数をかけたり、同じ数でわったりしても比は変わりません。

例 赤：白＝2：3で全部が20個なら、赤は20÷(2+3)×2＝8個です。

(1) 6：9を、最も簡単な整数の比にしましょう。

答え

(2) 12：20を、最も簡単な整数の比にしましょう。

答え

(3) 0.4：0.6を、最も簡単な整数の比にしましょう。

答え

(4) 3：5＝12：□。□を求めましょう。

答え

(5) 4：7＝□：21。□を求めましょう。

答え

(6) 2：3と同じ比は、4：6と4：5のどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

比 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 2:3

両方を3でわります。

(2) 3:5

両方を4でわります。

(3) 2:3

10倍して4:6、さらに両方を2でわります。

(4) 20

3を4倍すると12。5も4倍します。

(5) 12

7を3倍すると21。4も3倍します。

(6) 4:6

2も3も2倍すると4:6です。両方に2をたした4:5は同じ比ではありません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号:_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

比

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 比の両方の数に、同じ数をかけたり、同じ数でわったりしても比は変わりません。

例 赤：白＝2：3で全部が20個なら、赤は20÷(2+3)×2＝8個です。

(1) 120：132を最も簡単な整数の比にしましょう。

答え

(2) 1：1.1を最も簡単な整数の比にしましょう。

答え

(3) 10：11＝120：□。□はいくつですか。

答え

(4) 10：11＝□：132。□はいくつですか。

答え

(5) 252を10：11に分けます。小さい方はいくつですか。

答え

(6) 10：11で左が120のとき、両方の合計はいくつですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

比 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 10:11

両方を12でわります。

(2) 10:11

両方を10倍します。連続する整数なのでこれ以上簡単にできません。

(3) 132

左の数と同じ倍数を右の数にもかけます。

(4) 120

右の数と同じ倍数を左の数にもかけます。

(5) 120

全体を比の和でわって1つ分を求めます。

(6) 252

1つ分を求め、比の和をかけます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

比

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 比の両方の数に、同じ数をかけたり、同じ数でわったりしても比は変わりません。

例 赤：白＝2：3で全部が20個なら、赤は20÷(2+3)×2＝8個です。

(1) 143：156を最も簡単な整数の比にしましょう。

答え

(2) 1.1：1.2を最も簡単な整数の比にしましょう。

答え

(3) 11：12＝143：□。□はいくつですか。

答え

(4) 11：12＝□：156。□はいくつですか。

答え

(5) 299を11：12に分けます。小さい方はいくつですか。

答え

(6) 11：12で左が143のとき、両方の合計はいくつですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

比 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 11:12

両方を13でわります。

(2) 11:12

両方を10倍します。連続する整数なのでこれ以上簡単にできません。

(3) 156

左の数と同じ倍数を右の数にもかけます。

(4) 143

右の数と同じ倍数を左の数にもかけます。

(5) 143

全体を比の和でわって1つ分を求めます。

(6) 299

1つ分を求め、比の和をかけます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

比

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 比の両方の数に、同じ数をかけたり、同じ数でわったりしても比は変わりません。

例 赤：白＝2：3で全部が20個なら、赤は20÷(2+3)×2＝8個です。

(1) 168：182を最も簡単な整数の比にしましょう。

答え

(2) 1.2：1.3を最も簡単な整数の比にしましょう。

答え

(3) 12：13＝168：□。□はいくつですか。

答え

(4) 12：13＝□：182。□はいくつですか。

答え

(5) 350を12：13に分けます。小さい方はいくつですか。

答え

(6) 12：13で左が168のとき、両方の合計はいくつですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

比 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 12:13

両方を14でわります。

(2) 12:13

両方を10倍します。連続する整数なのでこれ以上簡単にできません。

(3) 182

左の数と同じ倍数を右の数にもかけます。

(4) 168

右の数と同じ倍数を左の数にもかけます。

(5) 168

全体を比の和でわって1つ分を求めます。

(6) 350

1つ分を求め、比の和をかけます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

比

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 比の両方の数に、同じ数をかけたり、同じ数でわったりしても比は変わりません。

例 赤：白＝2：3で全部が20個なら、赤は20÷(2+3)×2＝8個です。

(1) 195：210を最も簡単な整数の比にしましょう。

答え

(2) 1.3：1.4を最も簡単な整数の比にしましょう。

答え

(3) 13：14＝195：□。□はいくつですか。

答え

(4) 13：14＝□：210。□はいくつですか。

答え

(5) 405を13：14に分けます。小さい方はいくつですか。

答え

(6) 13：14で左が195のとき、両方の合計はいくつですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

比 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 13:14

両方を15でわります。

(2) 13:14

両方を10倍します。連続する整数なのでこれ以上簡単にできません。

(3) 210

左の数と同じ倍数を右の数にもかけます。

(4) 195

右の数と同じ倍数を左の数にもかけます。

(5) 195

全体を比の和でわって1つ分を求めます。

(6) 405

1つ分を求め、比の和をかけます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

比

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 比の両方の数に、同じ数をかけたり、同じ数でわったりしても比は変わりません。

例 赤：白＝2：3で全部が20個なら、赤は20÷(2+3)×2＝8個です。

(1) 赤と白の玉を2：3の比で合わせて25個用意します。赤は何個ですか。

答え

(2) ジュースと水を3：2で混ぜ、全部で500mLにします。水は何mLですか。

答え

(3) たて：横＝3：5の長方形で、たてが12cmです。横は何cmですか。

答え

(4) 「2：3は、両方に4をたした6：7と同じ」と言いました。正しいですか。理由を書きましょう。

答え

(5) AとBで42枚のカードを4：3に分けます。AはBより何枚多いですか。

答え

(6) 青：黄＝5：4で、黄色が28枚です。全部で何枚ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

比 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 10個

全体の比は5。1つ分は25÷5、赤は2つ分。

(2) 200mL

水は全体の5つ分のうち2つ分です。

(3) 20cm

比の1つ分は12÷3=4cm。横は5つ分。

(4) 正しくない

同じ比にするには、両方に同じ数をかけるか、同じ数でわります。たしても同じ比にはなりません。

(5) 6枚

1つ分は42÷7=6枚。比の差は4−3=1つ分。

(6) 63枚

1つ分は28÷4=7枚。全体は9つ分。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

比

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 比の両方の数に、同じ数をかけたり、同じ数でわったりしても比は変わりません。

例 赤：白＝2：3で全部が20個なら、赤は20÷(2+3)×2＝8個です。

(1) 赤と白の玉464個を14：15に分けます。赤は何個ですか。

答え

(2) 水と原液を14：15で混ぜます。原液が300mLのとき、水は何mLですか。

答え

(3) たて：横＝14：15の長方形で、たて224cmです。横は何cmですか。

答え

(4) AとBで464枚を14：15に分けます。BはAより何枚多いですか。

答え

(5) 兄と弟のお金の比は15：14で、弟が1400円持っています。2人で何円ですか。

答え

(6) 14：15を両方2倍した比を答えましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

比 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 224個

全体÷比の和×赤の比。

(2) 280mL

原液÷原液の比で1つ分を求めます。

(3) 240cm

対応する長さと比から1つ分を求めます。

(4) 16枚

比の差に1つ分をかけます。

(5) 2900円

1つ分は100円。比の和をかけます。

(6) 28:30

同じ数をかけるので、比は変わりません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号:_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

比

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 比の両方の数に、同じ数をかけたり、同じ数でわったりしても比は変わりません。

例 赤：白＝2：3で全部が20個なら、赤は20÷(2+3)×2＝8個です。

(1) 赤と白の玉527個を15：16に分けます。赤は何個ですか。

答え

(2) 水と原液を15：16で混ぜます。原液が320mLのとき、水は何mLですか。

答え

(3) たて：横＝15：16の長方形で、たて255cmです。横は何cmですか。

答え

(4) AとBで527枚を15：16に分けます。BはAより何枚多いですか。

答え

(5) 兄と弟のお金の比は16：15で、弟が1500円持っています。2人で何円ですか。

答え

(6) 15：16を両方2倍した比を答えましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

比 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 255個

全体÷比の和×赤の比。

(2) 300mL

原液÷原液の比で1つ分を求めます。

(3) 272cm

対応する長さと比から1つ分を求めます。

(4) 17枚

比の差に1つ分をかけます。

(5) 3100円

1つ分は100円。比の和をかけます。

(6) 30:32

同じ数をかけるので、比は変わりません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号:_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

比

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 比の両方の数に、同じ数をかけたり、同じ数でわったりしても比は変わりません。

例 赤：白＝2：3で全部が20個なら、赤は20÷(2+3)×2＝8個です。

(1) 赤と白の玉594個を16：17に分けます。赤は何個ですか。

答え

(2) 水と原液を16：17で混ぜます。原液が340mLのとき、水は何mLですか。

答え

(3) たて：横＝16：17の長方形で、たて288cmです。横は何cmですか。

答え

(4) AとBで594枚を16：17に分けます。BはAより何枚多いですか。

答え

(5) 兄と弟のお金の比は17：16で、弟が1600円持っています。2人で何円ですか。

答え

(6) 16：17を両方2倍した比を答えましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

比 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 288個

全体÷比の和×赤の比。

(2) 320mL

原液÷原液の比で1つ分を求めます。

(3) 306cm

対応する長さと比から1つ分を求めます。

(4) 18枚

比の差に1つ分をかけます。

(5) 3300円

1つ分は100円。比の和をかけます。

(6) 32:34

同じ数をかけるので、比は変わりません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号:_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

比

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 比の両方の数に、同じ数をかけたり、同じ数でわったりしても比は変わりません。

例 赤：白＝2：3で全部が20個なら、赤は20÷(2+3)×2＝8個です。

(1) 赤と白の玉665個を17：18に分けます。赤は何個ですか。

答え

(2) 水と原液を17：18で混ぜます。原液が360mLのとき、水は何mLですか。

答え

(3) たて：横＝17：18の長方形で、たて323cmです。横は何cmですか。

答え

(4) AとBで665枚を17：18に分けます。BはAより何枚多いですか。

答え

(5) 兄と弟のお金の比は18：17で、弟が1700円持っています。2人で何円ですか。

答え

(6) 17：18を両方2倍した比を答えましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

比 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 323個

全体÷比の和×赤の比。

(2) 340mL

原液÷原液の比で1つ分を求めます。

(3) 342cm

対応する長さと比から1つ分を求めます。

(4) 19枚

比の差に1つ分をかけます。

(5) 3500円

1つ分は100円。比の和をかけます。

(6) 34:36

同じ数をかけるので、比は変わりません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号:_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

比

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 比の両方の数に、同じ数をかけたり、同じ数でわったりしても比は変わりません。

例 赤：白＝2：3で全部が20個なら、赤は20÷(2+3)×2＝8個です。

(1) 24：30を最も簡単な整数の比にしましょう。

答え

(2) 0.4：0.5を最も簡単な整数の比にしましょう。

答え

(3) 4：5＝24：□。□はいくつですか。

答え

(4) 4：5＝□：30。□はいくつですか。

答え

(5) 54を4：5に分けます。小さい方はいくつですか。

答え

(6) 4：5で左が24のとき、両方の合計はいくつですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

比 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 4:5

両方を6でわります。

(2) 4:5

両方を10倍します。連続する整数なのでこれ以上簡単にできません。

(3) 30

左の数と同じ倍数を右の数にもかけます。

(4) 24

右の数と同じ倍数を左の数にもかけます。

(5) 24

全体を比の和でわって1つ分を求めます。

(6) 54

1つ分を求め、比の和をかけます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

比

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 比の両方の数に、同じ数をかけたり、同じ数でわったりしても比は変わりません。

例 赤：白＝2：3で全部が20個なら、赤は20÷(2+3)×2＝8個です。

(1) 360：380を最も簡単な整数の比にしましょう。

答え

(2) 1.8：1.9を最も簡単な整数の比にしましょう。

答え

(3) 18：19＝360：□。□はいくつですか。

答え

(4) 18：19＝□：380。□はいくつですか。

答え

(5) 740を18：19に分けます。小さい方はいくつですか。

答え

(6) 18：19で左が360のとき、両方の合計はいくつですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

比 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 18:19

両方を20でわります。

(2) 18:19

両方を10倍します。連続する整数なのでこれ以上簡単にできません。

(3) 380

左の数と同じ倍数を右の数にもかけます。

(4) 360

右の数と同じ倍数を左の数にもかけます。

(5) 360

全体を比の和でわって1つ分を求めます。

(6) 740

1つ分を求め、比の和をかけます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

比

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 比の両方の数に、同じ数をかけたり、同じ数でわったりしても比は変わりません。

例 赤：白＝2：3で全部が20個なら、赤は20÷(2+3)×2＝8個です。

(1) 399：420を最も簡単な整数の比にしましょう。

答え

(2) 1.9：2を最も簡単な整数の比にしましょう。

答え

(3) 19：20＝399：□。□はいくつですか。

答え

(4) 19：20＝□：420。□はいくつですか。

答え

(5) 819を19：20に分けます。小さい方はいくつですか。

答え

(6) 19：20で左が399のとき、両方の合計はいくつですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

比 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 19:20

両方を21でわります。

(2) 19:20

両方を10倍します。連続する整数なのでこれ以上簡単にできません。

(3) 420

左の数と同じ倍数を右の数にもかけます。

(4) 399

右の数と同じ倍数を左の数にもかけます。

(5) 399

全体を比の和でわって1つ分を求めます。

(6) 819

1つ分を求め、比の和をかけます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

比

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 比の両方の数に、同じ数をかけたり、同じ数でわったりしても比は変わりません。

例 赤：白＝2：3で全部が20個なら、赤は20÷(2+3)×2＝8個です。

(1) 440：462を最も簡単な整数の比にしましょう。

答え

(2) 2：2.1を最も簡単な整数の比にしましょう。

答え

(3) 20：21＝440：□。□はいくつですか。

答え

(4) 20：21＝□：462。□はいくつですか。

答え

(5) 902を20：21に分けます。小さい方はいくつですか。

答え

(6) 20：21で左が440のとき、両方の合計はいくつですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

比 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 20:21

両方を22でわります。

(2) 20:21

両方を10倍します。連続する整数なのでこれ以上簡単にできません。

(3) 462

左の数と同じ倍数を右の数にもかけます。

(4) 440

右の数と同じ倍数を左の数にもかけます。

(5) 440

全体を比の和でわって1つ分を求めます。

(6) 902

1つ分を求め、比の和をかけます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

比

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 比の両方の数に、同じ数をかけたり、同じ数でわったりしても比は変わりません。

例 赤：白＝2：3で全部が20個なら、赤は20÷(2+3)×2＝8個です。

(1) 483：506を最も簡単な整数の比にしましょう。

答え

(2) 2.1：2.2を最も簡単な整数の比にしましょう。

答え

(3) 21：22＝483：□。□はいくつですか。

答え

(4) 21：22＝□：506。□はいくつですか。

答え

(5) 989を21：22に分けます。小さい方はいくつですか。

答え

(6) 21：22で左が483のとき、両方の合計はいくつですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

比 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 21:22

両方を23でわります。

(2) 21:22

両方を10倍します。連続する整数なのでこれ以上簡単にできません。

(3) 506

左の数と同じ倍数を右の数にもかけます。

(4) 483

右の数と同じ倍数を左の数にもかけます。

(5) 483

全体を比の和でわって1つ分を求めます。

(6) 989

1つ分を求め、比の和をかけます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

比

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 比の両方の数に、同じ数をかけたり、同じ数でわったりしても比は変わりません。

例 赤：白＝2：3で全部が20個なら、赤は20÷(2+3)×2＝8個です。

(1) 35：42を最も簡単な整数の比にしましょう。

答え

(2) 0.5：0.6を最も簡単な整数の比にしましょう。

答え

(3) 5：6＝35：□。□はいくつですか。

答え

(4) 5：6＝□：42。□はいくつですか。

答え

(5) 77を5：6に分けます。小さい方はいくつですか。

答え

(6) 5：6で左が35のとき、両方の合計はいくつですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

比 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 5:6

両方を7でわります。

(2) 5:6

両方を10倍します。連続する整数なのでこれ以上簡単にできません。

(3) 42

左の数と同じ倍数を右の数にもかけます。

(4) 35

右の数と同じ倍数を左の数にもかけます。

(5) 35

全体を比の和でわって1つ分を求めます。

(6) 77

1つ分を求め、比の和をかけます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

比

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 比の両方の数に、同じ数をかけたり、同じ数でわったりしても比は変わりません。

例 赤：白＝2：3で全部が20個なら、赤は20÷(2+3)×2＝8個です。

(1) 528：552を最も簡単な整数の比にしましょう。

答え

(2) 2.2：2.3を最も簡単な整数の比にしましょう。

答え

(3) 22：23＝528：□。□はいくつですか。

答え

(4) 22：23＝□：552。□はいくつですか。

答え

(5) 1080を22：23に分けます。小さい方はいくつですか。

答え

(6) 22：23で左が528のとき、両方の合計はいくつですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

比 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 22:23

両方を24でわります。

(2) 22:23

両方を10倍します。連続する整数なのでこれ以上簡単にできません。

(3) 552

左の数と同じ倍数を右の数にもかけます。

(4) 528

右の数と同じ倍数を左の数にもかけます。

(5) 528

全体を比の和でわって1つ分を求めます。

(6) 1080

1つ分を求め、比の和をかけます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

比

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 比の両方の数に、同じ数をかけたり、同じ数でわったりしても比は変わりません。

例 赤：白＝2：3で全部が20個なら、赤は20÷(2+3)×2＝8個です。

(1) 575：600を最も簡単な整数の比にしましょう。

答え

(2) 2.3：2.4を最も簡単な整数の比にしましょう。

答え

(3) 23：24＝575：□。□はいくつですか。

答え

(4) 23：24＝□：600。□はいくつですか。

答え

(5) 1175を23：24に分けます。小さい方はいくつですか。

答え

(6) 23：24で左が575のとき、両方の合計はいくつですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

比 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 23:24

両方を25でわります。

(2) 23:24

両方を10倍します。連続する整数なのでこれ以上簡単にできません。

(3) 600

左の数と同じ倍数を右の数にもかけます。

(4) 575

右の数と同じ倍数を左の数にもかけます。

(5) 575

全体を比の和でわって1つ分を求めます。

(6) 1175

1つ分を求め、比の和をかけます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

比

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 比の両方の数に、同じ数をかけたり、同じ数でわったりしても比は変わりません。

例 赤：白＝2：3で全部が20個なら、赤は20÷(2+3)×2＝8個です。

(1) 624：650を最も簡単な整数の比にしましょう。

答え

(2) 2.4：2.5を最も簡単な整数の比にしましょう。

答え

(3) 24：25＝624：□。□はいくつですか。

答え

(4) 24：25＝□：650。□はいくつですか。

答え

(5) 1274を24：25に分けます。小さい方はいくつですか。

答え

(6) 24：25で左が624のとき、両方の合計はいくつですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

比 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 24:25

両方を26でわります。

(2) 24:25

両方を10倍します。連続する整数なのでこれ以上簡単にできません。

(3) 650

左の数と同じ倍数を右の数にもかけます。

(4) 624

右の数と同じ倍数を左の数にもかけます。

(5) 624

全体を比の和でわって1つ分を求めます。

(6) 1274

1つ分を求め、比の和をかけます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

比

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 比の両方の数に、同じ数をかけたり、同じ数でわったりしても比は変わりません。

例 赤：白＝2：3で全部が20個なら、赤は20÷(2+3)×2＝8個です。

(1) 675：702を最も簡単な整数の比にしましょう。

答え

(2) 2.5：2.6を最も簡単な整数の比にしましょう。

答え

(3) 25：26＝675：□。□はいくつですか。

答え

(4) 25：26＝□：702。□はいくつですか。

答え

(5) 1377を25：26に分けます。小さい方はいくつですか。

答え

(6) 25：26で左が675のとき、両方の合計はいくつですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

比 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 25:26

両方を27でわります。

(2) 25:26

両方を10倍します。連続する整数なのでこれ以上簡単にできません。

(3) 702

左の数と同じ倍数を右の数にもかけます。

(4) 675

右の数と同じ倍数を左の数にもかけます。

(5) 675

全体を比の和でわって1つ分を求めます。

(6) 1377

1つ分を求め、比の和をかけます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

比

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 比の両方の数に、同じ数をかけたり、同じ数でわったりしても比は変わりません。

例 赤：白＝2：3で全部が20個なら、赤は20÷(2+3)×2＝8個です。

(1) 赤と白の玉104個を6：7に分けます。赤は何個ですか。

答え

(2) 水と原液を6：7で混ぜます。原液が140mLのとき、水は何mLですか。

答え

(3) たて：横＝6：7の長方形で、たて48cmです。横は何cmですか。

答え

(4) AとBで104枚を6：7に分けます。BはAより何枚多いですか。

答え

(5) 兄と弟のお金の比は7：6で、弟が600円持っています。2人で何円ですか。

答え

(6) 6：7を両方2倍した比を答えましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

比 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 48個

全体÷比の和×赤の比。

(2) 120mL

原液÷原液の比で1つ分を求めます。

(3) 56cm

対応する長さと比から1つ分を求めます。

(4) 8枚

比の差に1つ分をかけます。

(5) 1300円

1つ分は100円。比の和をかけます。

(6) 12:14

同じ数をかけるので、比は変わりません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

比

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 比の両方の数に、同じ数をかけたり、同じ数でわったりしても比は変わりません。

例 赤：白＝2：3で全部が20個なら、赤は20÷(2+3)×2＝8個です。

(1) 赤と白の玉1484個を26：27に分けます。赤は何個ですか。

答え

(2) 水と原液を26：27で混ぜます。原液が540mLのとき、水は何mLですか。

答え

(3) たて：横＝26：27の長方形で、たて728cmです。横は何cmですか。

答え

(4) AとBで1484枚を26：27に分けます。BはAより何枚多いですか。

答え

(5) 兄と弟のお金の比は27：26で、弟が2600円持っています。2人で何円ですか。

答え

(6) 26：27を両方2倍した比を答えましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

比 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 728個

全体÷比の和×赤の比。

(2) 520mL

原液÷原液の比で1つ分を求めます。

(3) 756cm

対応する長さと比から1つ分を求めます。

(4) 28枚

比の差に1つ分をかけます。

(5) 5300円

1つ分は100円。比の和をかけます。

(6) 52:54

同じ数をかけるので、比は変わりません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号:_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

比

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 比の両方の数に、同じ数をかけたり、同じ数でわったりしても比は変わりません。

例 赤：白＝2：3で全部が20個なら、赤は20÷(2+3)×2＝8個です。

(1) 赤と白の玉1595個を27：28に分けます。赤は何個ですか。

答え

(2) 水と原液を27：28で混ぜます。原液が560mLのとき、水は何mLですか。

答え

(3) たて：横＝27：28の長方形で、たて783cmです。横は何cmですか。

答え

(4) AとBで1595枚を27：28に分けます。BはAより何枚多いですか。

答え

(5) 兄と弟のお金の比は28：27で、弟が2700円持っています。2人で何円ですか。

答え

(6) 27：28を両方2倍した比を答えましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

比 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 783個

全体÷比の和×赤の比。

(2) 540mL

原液÷原液の比で1つ分を求めます。

(3) 812cm

対応する長さと比から1つ分を求めます。

(4) 29枚

比の差に1つ分をかけます。

(5) 5500円

1つ分は100円。比の和をかけます。

(6) 54:56

同じ数をかけるので、比は変わりません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号:_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

比

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 比の両方の数に、同じ数をかけたり、同じ数でわったりしても比は変わりません。

例 赤：白＝2：3で全部が20個なら、赤は20÷(2+3)×2＝8個です。

(1) 赤と白の玉1710個を28：29に分けます。赤は何個ですか。

答え

(2) 水と原液を28：29で混ぜます。原液が580mLのとき、水は何mLですか。

答え

(3) たて：横＝28：29の長方形で、たて840cmです。横は何cmですか。

答え

(4) AとBで1710枚を28：29に分けます。BはAより何枚多いですか。

答え

(5) 兄と弟のお金の比は29：28で、弟が2800円持っています。2人で何円ですか。

答え

(6) 28：29を両方2倍した比を答えましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

比 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 840個

全体÷比の和×赤の比。

(2) 560mL

原液÷原液の比で1つ分を求めます。

(3) 870cm

対応する長さと比から1つ分を求めます。

(4) 30枚

比の差に1つ分をかけます。

(5) 5700円

1つ分は100円。比の和をかけます。

(6) 56:58

同じ数をかけるので、比は変わりません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号:_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

比

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 比の両方の数に、同じ数をかけたり、同じ数でわったりしても比は変わりません。

例 赤：白＝2：3で全部が20個なら、赤は20÷(2+3)×2＝8個です。

(1) 赤と白の玉1829個を29：30に分けます。赤は何個ですか。

答え

(2) 水と原液を29：30で混ぜます。原液が600mLのとき、水は何mLですか。

答え

(3) たて：横＝29：30の長方形で、たて899cmです。横は何cmですか。

答え

(4) AとBで1829枚を29：30に分けます。BはAより何枚多いですか。

答え

(5) 兄と弟のお金の比は30：29で、弟が2900円持っています。2人で何円ですか。

答え

(6) 29：30を両方2倍した比を答えましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

比 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 899個

全体÷比の和×赤の比。

(2) 580mL

原液÷原液の比で1つ分を求めます。

(3) 930cm

対応する長さと比から1つ分を求めます。

(4) 31枚

比の差に1つ分をかけます。

(5) 5900円

1つ分は100円。比の和をかけます。

(6) 58:60

同じ数をかけるので、比は変わりません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号:_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

比

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 比の両方の数に、同じ数をかけたり、同じ数でわったりしても比は変わりません。

例 赤：白＝2：3で全部が20個なら、赤は20÷(2+3)×2＝8個です。

(1) 赤と白の玉135個を7：8に分けます。赤は何個ですか。

答え

(2) 水と原液を7：8で混ぜます。原液が160mLのとき、水は何mLですか。

答え

(3) たて：横＝7：8の長方形で、たて63cmです。横は何cmですか。

答え

(4) AとBで135枚を7：8に分けます。BはAより何枚多いですか。

答え

(5) 兄と弟のお金の比は8：7で、弟が700円持っています。2人で何円ですか。

答え

(6) 7：8を両方2倍した比を答えましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6　できた問題に○を付けましょう。

比 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 63個

全体÷比の和×赤の比。

(2) 140mL

原液÷原液の比で1つ分を求めます。

(3) 72cm

対応する長さと比から1つ分を求めます。

(4) 9枚

比の差に1つ分をかけます。

(5) 1500円

1つ分は100円。比の和をかけます。

(6) 14:16

同じ数をかけるので、比は変わりません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号:_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

比

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 比の両方の数に、同じ数をかけたり、同じ数でわったりしても比は変わりません。

例 赤：白＝2：3で全部が20個なら、赤は20÷(2+3)×2＝8個です。

(1) 赤と白の玉1952個を30：31に分けます。赤は何個ですか。

答え

(2) 水と原液を30：31で混ぜます。原液が620mLのとき、水は何mLですか。

答え

(3) たて：横＝30：31の長方形で、たて960cmです。横は何cmですか。

答え

(4) AとBで1952枚を30：31に分けます。BはAより何枚多いですか。

答え

(5) 兄と弟のお金の比は31：30で、弟が3000円持っています。2人で何円ですか。

答え

(6) 30：31を両方2倍した比を答えましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

比 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 960個

全体÷比の和×赤の比。

(2) 600mL

原液÷原液の比で1つ分を求めます。

(3) 992cm

対応する長さと比から1つ分を求めます。

(4) 32枚

比の差に1つ分をかけます。

(5) 6100円

1つ分は100円。比の和をかけます。

(6) 60:62

同じ数をかけるので、比は変わりません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

比

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 比の両方の数に、同じ数をかけたり、同じ数でわったりしても比は変わりません。

例 赤：白＝2：3で全部が20個なら、赤は20÷(2+3)×2＝8個です。

(1) 赤と白の玉2079個を31：32に分けます。赤は何個ですか。

答え

(2) 水と原液を31：32で混ぜます。原液が640mLのとき、水は何mLですか。

答え

(3) たて：横＝31：32の長方形で、たて1023cmです。横は何cmですか。

答え

(4) AとBで2079枚を31：32に分けます。BはAより何枚多いですか。

答え

(5) 兄と弟のお金の比は32：31で、弟が3100円持っています。2人で何円ですか。

答え

(6) 31：32を両方2倍した比を答えましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

比 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 1023個

全体÷比の和×赤の比。

(2) 620mL

原液÷原液の比で1つ分を求めます。

(3) 1056cm

対応する長さと比から1つ分を求めます。

(4) 33枚

比の差に1つ分をかけます。

(5) 6300円

1つ分は100円。比の和をかけます。

(6) 62:64

同じ数をかけるので、比は変わりません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号:_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

比

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 比の両方の数に、同じ数をかけたり、同じ数でわったりしても比は変わりません。

例 赤：白＝2：3で全部が20個なら、赤は20÷(2+3)×2＝8個です。

(1) 赤と白の玉2210個を32：33に分けます。赤は何個ですか。

答え

(2) 水と原液を32：33で混ぜます。原液が660mLのとき、水は何mLですか。

答え

(3) たて：横＝32：33の長方形で、たて1088cmです。横は何cmですか。

答え

(4) AとBで2210枚を32：33に分けます。BはAより何枚多いですか。

答え

(5) 兄と弟のお金の比は33：32で、弟が3200円持っています。2人で何円ですか。

答え

(6) 32：33を両方2倍した比を答えましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

比 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 1088個

全体÷比の和×赤の比。

(2) 640mL

原液÷原液の比で1つ分を求めます。

(3) 1122cm

対応する長さと比から1つ分を求めます。

(4) 34枚

比の差に1つ分をかけます。

(5) 6500円

1つ分は100円。比の和をかけます。

(6) 64:66

同じ数をかけるので、比は変わりません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号:_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

比

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 比の両方の数に、同じ数をかけたり、同じ数でわったりしても比は変わりません。

例 赤：白＝2：3で全部が20個なら、赤は20÷(2+3)×2＝8個です。

(1) 赤と白の玉2345個を33：34に分けます。赤は何個ですか。

答え

(2) 水と原液を33：34で混ぜます。原液が680mLのとき、水は何mLですか。

答え

(3) たて：横＝33：34の長方形で、たて1155cmです。横は何cmですか。

答え

(4) AとBで2345枚を33：34に分けます。BはAより何枚多いですか。

答え

(5) 兄と弟のお金の比は34：33で、弟が3300円持っています。2人で何円ですか。

答え

(6) 33：34を両方2倍した比を答えましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

比 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 1155個

全体÷比の和×赤の比。

(2) 660mL

原液÷原液の比で1つ分を求めます。

(3) 1190cm

対応する長さと比から1つ分を求めます。

(4) 35枚

比の差に1つ分をかけます。

(5) 6700円

1つ分は100円。比の和をかけます。

(6) 66:68

同じ数をかけるので、比は変わりません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号:_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

比例と反比例

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 比例はy÷xが一定。反比例はx×yが一定です。ここではx、yは0より大きい数です。

例 1個30円なら代金y=30×個数x。12枚をx人で分けるなら1人分y=12÷x。

(1) y=4×xで、x=6のときのyを求めましょう。

答え

(2) y=7×xで、y=35のときのxを求めましょう。

答え

(3) xが1、2、3のとき、yが5、10、15になります。比例ですか、反比例ですか。

答え

(4) y=24÷xで、x=4のときのyを求めましょう。

答え

(5) y=36÷xで、y=9のときのxを求めましょう。

答え

(6) xが1、2、4のとき、yが20、10、5になります。比例ですか、反比例ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

比例と反比例 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 24

xの場所に6を入れます。

(2) 5

35÷7で個数をもとに戻します。

(3) 比例

どの組でもy÷x=5です。

(4) 6

xの場所に4を入れます。

(5) 4

x×y=36なので、x=36÷9。

(6) 反比例

どの組でもx×y=20です。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

比例と反比例

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 比例はy÷xが一定。反比例はx×yが一定です。ここではx、yは0より大きい数です。

例 1個30円なら代金y=30×個数x。12枚をx人で分けるなら1人分y=12÷x。

(1) y=11×xでx=13のときyは。

答え

(2) y=11×xでy=143のときxは。

答え

(3) y=143÷xでx=11のときyは。

答え

(4) y=143÷xでy=13のときxは。

答え

(5) y=11×xは比例ですか、反比例ですか。

答え

(6) y=143÷xは比例ですか、反比例ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

比例と反比例 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 143

xに値を入れます。

(2) 13

yを一定の数でわります。

(3) 13

積が一定です。

(4) 11

一定の積÷y。

(5) 比例

y÷x=11が一定です。

(6) 反比例

x×y=143が一定です。

間違い直し

☐ 式の選び方 ☐ 計算 ☐ 単位・読み取り

まちがえた番号:_____ もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

比例と反比例

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 比例はy÷xが一定。反比例はx×yが一定です。ここではx、yは0より大きい数です。

例 1個30円なら代金y=30×個数x。12枚をx人で分けるなら1人分y=12÷x。

(1) y=12×xでx=14のときyは。

答え

(2) y=12×xでy=168のときxは。

答え

(3) y=168÷xでx=12のときyは。

答え

(4) y=168÷xでy=14のときxは。

答え

(5) y=12×xは比例ですか、反比例ですか。

答え

(6) y=168÷xは比例ですか、反比例ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

比例と反比例 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 168

xに値を入れます。

(2) 14

yを一定の数でわります。

(3) 14

積が一定です。

(4) 12

一定の積÷y。

(5) 比例

y÷x=12が一定です。

(6) 反比例

x×y=168が一定です。

間違い直し

☐ 式の選び方 ☐ 計算 ☐ 単位・読み取り

まちがえた番号:_____ もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

比例と反比例

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 比例はy÷xが一定。反比例はx×yが一定です。ここではx、yは0より大きい数です。

例 1個30円なら代金y=30×個数x。12枚をx人で分けるなら1人分y=12÷x。

(1) y=13×xでx=15のときyは。

答え

(2) y=13×xでy=195のときxは。

答え

(3) y=195÷xでx=13のときyは。

答え

(4) y=195÷xでy=15のときxは。

答え

(5) y=13×xは比例ですか、反比例ですか。

答え

(6) y=195÷xは比例ですか、反比例ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

比例と反比例 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 195

xに値を入れます。

(2) 15

yを一定の数でわります。

(3) 15

積が一定です。

(4) 13

一定の積÷y。

(5) 比例

y÷x=13が一定です。

(6) 反比例

x×y=195が一定です。

間違い直し

☐ 式の選び方 ☐ 計算 ☐ 単位・読み取り

まちがえた番号:_____ もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

比例と反比例

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 比例はy÷xが一定。反比例はx×yが一定です。ここではx、yは0より大きい数です。

例 1個30円なら代金y=30×個数x。12枚をx人で分けるなら1人分y=12÷x。

(1) y=14×xでx=16のときyは。

答え

(2) y=14×xでy=224のときxは。

答え

(3) y=224÷xでx=14のときyは。

答え

(4) y=224÷xでy=16のときxは。

答え

(5) y=14×xは比例ですか、反比例ですか。

答え

(6) y=224÷xは比例ですか、反比例ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

比例と反比例 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 224

xに値を入れます。

(2) 16

yを一定の数でわります。

(3) 16

積が一定です。

(4) 14

一定の積÷y。

(5) 比例

y÷x=14が一定です。

(6) 反比例

x×y=224が一定です。

間違い直し

☐ 式の選び方 ☐ 計算 ☐ 単位・読み取り

まちがえた番号:_____ もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

比例と反比例

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 比例はy÷xが一定。反比例はx×yが一定です。ここではx、yは0より大きい数です。

例 1個30円なら代金y=30×個数x。12枚をx人で分けるなら1人分y=12÷x。

(1) 1冊80円のノートをx冊買うと代金はy円です。7冊の代金を求めましょう。

答え

(2) 同じ紙10枚の重さは40gです。75枚では何gですか。

答え

(3) 長方形の面積を48cm²に保ちます。たてが6cmのとき、横は何cmですか。

答え

(4) 24Lの水を同じ大きさの容器に等しく分けます。8個に分けると1個分は何Lですか。

答え

(5) y=x+3で「xが増えるとyも増えるので比例」と言いました。正しいですか。

答え

(6) 面積が一定の長方形で、たてを3倍にします。横は何倍になりますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

比例と反比例 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 560円

y=80×xにx=7を入れます。

(2) 300g

1枚は4g。枚数に比例するので、4×75。

(3) 8cm

たて×横=48が一定なので反比例です。

(4) 3L

容器の数×1個分=24。

(5) 正しくない

x=1ならy=4、x=2ならy=5。xが2倍でもyは2倍ではなく、y÷xも一定ではありません。

(6) $\frac{1}{3}$倍

たて×横を一定に保つので、横は3でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

比例と反比例

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 比例はy÷xが一定。反比例はx×yが一定です。ここではx、yは0より大きい数です。

例 1個30円なら代金y=30×個数x。12枚をx人で分けるなら1人分y=12÷x。

(1) 1本150円の鉛筆を17本買います。代金は何円ですか。

答え

(2) 紙15枚の重さが60gです。同じ紙170枚は何gですか。

答え

(3) 面積255cm²の長方形で、たてが15cmです。横は何cmですか。

答え

(4) 255Lの水を17個の容器に等しく分けます。1個分は何Lですか。

答え

(5) y=x+15は、xが増えるとyも増えます。比例といえますか。

答え

(6) 反比例する2つの量で、一方を15倍にすると他方は何倍ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

比例と反比例 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 2550円

代金は本数に比例します。

(2) 680g

1枚の重さを求め、枚数をかけます。

(3) 17cm

たてと横の積が一定です。

(4) 15L

全体の量÷容器の数。

(5) いえない

xが2倍になってもyは2倍になりません。商が一定かを確かめます。

(6) $\frac{1}{15}$倍

積を一定にするため、もう一方を同じ数でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

比例と反比例

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 比例はy÷xが一定。反比例はx×yが一定です。ここではx、yは0より大きい数です。

例 1個30円なら代金y=30×個数x。12枚をx人で分けるなら1人分y=12÷x。

(1) 1本160円の鉛筆を18本買います。代金は何円ですか。

答え

(2) 紙16枚の重さが64gです。同じ紙180枚は何gですか。

答え

(3) 面積288cm²の長方形で、たてが16cmです。横は何cmですか。

答え

(4) 288Lの水を18個の容器に等しく分けます。1個分は何Lですか。

答え

(5) y=x+16は、xが増えるとyも増えます。比例といえますか。

答え

(6) 反比例する2つの量で、一方を16倍にすると他方は何倍ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

比例と反比例 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 2880円

代金は本数に比例します。

(2) 720g

1枚の重さを求め、枚数をかけます。

(3) 18cm

たてと横の積が一定です。

(4) 16L

全体の量÷容器の数。

(5) いえない

xが2倍になってもyは2倍になりません。商が一定かを確かめます。

(6) $\frac{1}{16}$倍

積を一定にするため、もう一方を同じ数でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

比例と反比例

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 比例はy÷xが一定。反比例はx×yが一定です。ここではx、yは0より大きい数です。

例 1個30円なら代金y=30×個数x。12枚をx人で分けるなら1人分y=12÷x。

(1) 1本170円の鉛筆を19本買います。代金は何円ですか。

答え

(2) 紙17枚の重さが68gです。同じ紙190枚は何gですか。

答え

(3) 面積323cm²の長方形で、たてが17cmです。横は何cmですか。

答え

(4) 323Lの水を19個の容器に等しく分けます。1個分は何Lですか。

答え

(5) y=x+17は、xが増えるとyも増えます。比例といえますか。

答え

(6) 反比例する2つの量で、一方を17倍にすると他方は何倍ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

比例と反比例 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 3230円

代金は本数に比例します。

(2) 760g

1枚の重さを求め、枚数をかけます。

(3) 19cm

たてと横の積が一定です。

(4) 17L

全体の量÷容器の数。

(5) いえない

xが2倍になってもyは2倍になりません。商が一定かを確かめます。

(6) $\frac{1}{17}$倍

積を一定にするため、もう一方を同じ数でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

比例と反比例

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 比例はy÷xが一定。反比例はx×yが一定です。ここではx、yは0より大きい数です。

例 1個30円なら代金y=30×個数x。12枚をx人で分けるなら1人分y=12÷x。

(1) 1本180円の鉛筆を20本買います。代金は何円ですか。

答え

(2) 紙18枚の重さが72gです。同じ紙200枚は何gですか。

答え

(3) 面積360cm²の長方形で、たてが18cmです。横は何cmですか。

答え

(4) 360Lの水を20個の容器に等しく分けます。1個分は何Lですか。

答え

(5) y=x+18は、xが増えるとyも増えます。比例といえますか。

答え

(6) 反比例する2つの量で、一方を18倍にすると他方は何倍ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

比例と反比例 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 3600円

代金は本数に比例します。

(2) 800g

1枚の重さを求め、枚数をかけます。

(3) 20cm

たてと横の積が一定です。

(4) 18L

全体の量÷容器の数。

(5) いえない

xが2倍になってもyは2倍になりません。商が一定かを確かめます。

(6) $\frac{1}{18}$倍

積を一定にするため、もう一方を同じ数でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

比例と反比例

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 比例はy÷xが一定。反比例はx×yが一定です。ここではx、yは0より大きい数です。

例 1個30円なら代金y=30×個数x。12枚をx人で分けるなら1人分y=12÷x。

(1) y=5×xでx=7のときyは。

答え

(2) y=5×xでy=35のときxは。

答え

(3) y=35÷xでx=5のときyは。

答え

(4) y=35÷xでy=7のときxは。

答え

(5) y=5×xは比例ですか、反比例ですか。

答え

(6) y=35÷xは比例ですか、反比例ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6　できた問題に○を付けましょう。

比例と反比例 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 35

xに値を入れます。

(2) 7

yを一定の数でわります。

(3) 7

積が一定です。

(4) 5

一定の積÷y。

(5) 比例

y÷x=5が一定です。

(6) 反比例

x×y=35が一定です。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

比例と反比例

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 比例はy÷xが一定。反比例はx×yが一定です。ここではx、yは0より大きい数です。

例 1個30円なら代金y=30×個数x。12枚をx人で分けるなら1人分y=12÷x。

(1) y=19×xでx=21のときyは。

答え

(2) y=19×xでy=399のときxは。

答え

(3) y=399÷xでx=19のときyは。

答え

(4) y=399÷xでy=21のときxは。

答え

(5) y=19×xは比例ですか、反比例ですか。

答え

(6) y=399÷xは比例ですか、反比例ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

比例と反比例 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 399

xに値を入れます。

(2) 21

yを一定の数でわります。

(3) 21

積が一定です。

(4) 19

一定の積÷y。

(5) 比例

y÷x=19が一定です。

(6) 反比例

x×y=399が一定です。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号:_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

比例と反比例

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 比例はy÷xが一定。反比例はx×yが一定です。ここではx、yは0より大きい数です。

例 1個30円なら代金y=30×個数x。12枚をx人で分けるなら1人分y=12÷x。

(1) y=20×xでx=22のときyは。

答え

(2) y=20×xでy=440のときxは。

答え

(3) y=440÷xでx=20のときyは。

答え

(4) y=440÷xでy=22のときxは。

答え

(5) y=20×xは比例ですか、反比例ですか。

答え

(6) y=440÷xは比例ですか、反比例ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

比例と反比例 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 440

xに値を入れます。

(2) 22

yを一定の数でわります。

(3) 22

積が一定です。

(4) 20

一定の積÷y。

(5) 比例

y÷x=20が一定です。

(6) 反比例

x×y=440が一定です。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

比例と反比例

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 比例はy÷xが一定。反比例はx×yが一定です。ここではx、yは0より大きい数です。

例 1個30円なら代金y=30×個数x。12枚をx人で分けるなら1人分y=12÷x。

(1) y=21×xでx=23のときyは。

答え

(2) y=21×xでy=483のときxは。

答え

(3) y=483÷xでx=21のときyは。

答え

(4) y=483÷xでy=23のときxは。

答え

(5) y=21×xは比例ですか、反比例ですか。

答え

(6) y=483÷xは比例ですか、反比例ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

比例と反比例 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 483

xに値を入れます。

(2) 23

yを一定の数でわります。

(3) 23

積が一定です。

(4) 21

一定の積÷y。

(5) 比例

y÷x=21が一定です。

(6) 反比例

x×y=483が一定です。

間違い直し

☐ 式の選び方 ☐ 計算 ☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____ もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

比例と反比例

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 比例はy÷xが一定。反比例はx×yが一定です。ここではx、yは0より大きい数です。

例 1個30円なら代金y=30×個数x。12枚をx人で分けるなら1人分y=12÷x。

(1) y=22×xでx=24のときyは。

答え

(2) y=22×xでy=528のときxは。

答え

(3) y=528÷xでx=22のときyは。

答え

(4) y=528÷xでy=24のときxは。

答え

(5) y=22×xは比例ですか、反比例ですか。

答え

(6) y=528÷xは比例ですか、反比例ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

比例と反比例 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 528

xに値を入れます。

(2) 24

yを一定の数でわります。

(3) 24

積が一定です。

(4) 22

一定の積÷y。

(5) 比例

y÷x=22が一定です。

(6) 反比例

x×y=528が一定です。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

比例と反比例

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 比例はy÷xが一定。反比例はx×yが一定です。ここではx、yは0より大きい数です。

例 1個30円なら代金y=30×個数x。12枚をx人で分けるなら1人分y=12÷x。

(1) y=6×xでx=8のときyは。

答え

(2) y=6×xでy=48のときxは。

答え

(3) y=48÷xでx=6のときyは。

答え

(4) y=48÷xでy=8のときxは。

答え

(5) y=6×xは比例ですか、反比例ですか。

答え

(6) y=48÷xは比例ですか、反比例ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6　できた問題に○を付けましょう。

比例と反比例 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 48

xに値を入れます。

(2) 8

yを一定の数でわります。

(3) 8

積が一定です。

(4) 6

一定の積÷y。

(5) 比例

y÷x=6が一定です。

(6) 反比例

x×y=48が一定です。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

比例と反比例

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 比例はy÷xが一定。反比例はx×yが一定です。ここではx、yは0より大きい数です。

例 1個30円なら代金y=30×個数x。12枚をx人で分けるなら1人分y=12÷x。

(1) y=23×xでx=25のときyは。

答え

(2) y=23×xでy=575のときxは。

答え

(3) y=575÷xでx=23のときyは。

答え

(4) y=575÷xでy=25のときxは。

答え

(5) y=23×xは比例ですか、反比例ですか。

答え

(6) y=575÷xは比例ですか、反比例ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

比例と反比例 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 575

xに値を入れます。

(2) 25

yを一定の数でわります。

(3) 25

積が一定です。

(4) 23

一定の積÷y。

(5) 比例

y÷x=23が一定です。

(6) 反比例

x×y=575が一定です。

間違い直し

☐ 式の選び方 ☐ 計算 ☐ 単位・読み取り

まちがえた番号:_____ もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

比例と反比例

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 比例はy÷xが一定。反比例はx×yが一定です。ここではx、yは0より大きい数です。

例 1個30円なら代金y=30×個数x。12枚をx人で分けるなら1人分y=12÷x。

(1) y=24×xでx=26のときyは。

答え

(2) y=24×xでy=624のときxは。

答え

(3) y=624÷xでx=24のときyは。

答え

(4) y=624÷xでy=26のときxは。

答え

(5) y=24×xは比例ですか、反比例ですか。

答え

(6) y=624÷xは比例ですか、反比例ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

比例と反比例 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 624

xに値を入れます。

(2) 26

yを一定の数でわります。

(3) 26

積が一定です。

(4) 24

一定の積÷y。

(5) 比例

y÷x=24が一定です。

(6) 反比例

x×y=624が一定です。

間違い直し

☐ 式の選び方 ☐ 計算 ☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____ もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

比例と反比例

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 比例はy÷xが一定。反比例はx×yが一定です。ここではx、yは0より大きい数です。

例 1個30円なら代金y=30×個数x。12枚をx人で分けるなら1人分y=12÷x。

(1) y=25×xでx=27のときyは。

答え

(2) y=25×xでy=675のときxは。

答え

(3) y=675÷xでx=25のときyは。

答え

(4) y=675÷xでy=27のときxは。

答え

(5) y=25×xは比例ですか、反比例ですか。

答え

(6) y=675÷xは比例ですか、反比例ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

比例と反比例 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 675

xに値を入れます。

(2) 27

yを一定の数でわります。

(3) 27

積が一定です。

(4) 25

一定の積÷y。

(5) 比例

y÷x=25が一定です。

(6) 反比例

x×y=675が一定です。

間違い直し

☐ 式の選び方 ☐ 計算 ☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____ もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

比例と反比例

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 比例はy÷xが一定。反比例はx×yが一定です。ここではx、yは0より大きい数です。

例 1個30円なら代金y=30×個数x。12枚をx人で分けるなら1人分y=12÷x。

(1) y=26×xでx=28のときyは。

答え

(2) y=26×xでy=728のときxは。

答え

(3) y=728÷xでx=26のときyは。

答え

(4) y=728÷xでy=28のときxは。

答え

(5) y=26×xは比例ですか、反比例ですか。

答え

(6) y=728÷xは比例ですか、反比例ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

比例と反比例 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 728

xに値を入れます。

(2) 28

yを一定の数でわります。

(3) 28

積が一定です。

(4) 26

一定の積÷y。

(5) 比例

y÷x=26が一定です。

(6) 反比例

x×y=728が一定です。

間違い直し

☐ 式の選び方 ☐ 計算 ☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____ もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

比例と反比例

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 比例はy÷xが一定。反比例はx×yが一定です。ここではx、yは0より大きい数です。

例 1個30円なら代金y=30×個数x。12枚をx人で分けるなら1人分y=12÷x。

(1) 1本70円の鉛筆を9本買います。代金は何円ですか。

答え

(2) 紙7枚の重さが28gです。同じ紙90枚は何gですか。

答え

(3) 面積63cm²の長方形で、たてが7cmです。横は何cmですか。

答え

(4) 63Lの水を9個の容器に等しく分けます。1個分は何Lですか。

答え

(5) y=x+7は、xが増えるとyも増えます。比例といえますか。

答え

(6) 反比例する2つの量で、一方を7倍にすると他方は何倍ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6　できた問題に○を付けましょう。

比例と反比例 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 630円

代金は本数に比例します。

(2) 360g

1枚の重さを求め、枚数をかけます。

(3) 9cm

たてと横の積が一定です。

(4) 7L

全体の量÷容器の数。

(5) いえない

xが2倍になってもyは2倍になりません。商が一定かを確かめます。

(6) $\frac{1}{7}$倍

積を一定にするため、もう一方を同じ数でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

比例と反比例

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 比例はy÷xが一定。反比例はx×yが一定です。ここではx、yは0より大きい数です。

例 1個30円なら代金y=30×個数x。12枚をx人で分けるなら1人分y=12÷x。

(1) 1本270円の鉛筆を29本買います。代金は何円ですか。

答え

(2) 紙27枚の重さが108gです。同じ紙290枚は何gですか。

答え

(3) 面積783cm²の長方形で、たてが27cmです。横は何cmですか。

答え

(4) 783Lの水を29個の容器に等しく分けます。1個分は何Lですか。

答え

(5) y=x+27は、xが増えるとyも増えます。比例といえますか。

答え

(6) 反比例する2つの量で、一方を27倍にすると他方は何倍ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

比例と反比例 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 7830円

代金は本数に比例します。

(2) 1160g

1枚の重さを求め、枚数をかけます。

(3) 29cm

たてと横の積が一定です。

(4) 27L

全体の量÷容器の数。

(5) いえない

xが2倍になってもyは2倍になりません。商が一定かを確かめます。

(6) $\frac{1}{27}$倍

積を一定にするため、もう一方を同じ数でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

比例と反比例

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 比例はy÷xが一定。反比例はx×yが一定です。ここではx、yは0より大きい数です。

例 1個30円なら代金y=30×個数x。12枚をx人で分けるなら1人分y=12÷x。

(1) 1本280円の鉛筆を30本買います。代金は何円ですか。

答え

(2) 紙28枚の重さが112gです。同じ紙300枚は何gですか。

答え

(3) 面積840cm²の長方形で、たてが28cmです。横は何cmですか。

答え

(4) 840Lの水を30個の容器に等しく分けます。1個分は何Lですか。

答え

(5) y=x+28は、xが増えるとyも増えます。比例といえますか。

答え

(6) 反比例する2つの量で、一方を28倍にすると他方は何倍ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

比例と反比例 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 8400円

代金は本数に比例します。

(2) 1200g

1枚の重さを求め、枚数をかけます。

(3) 30cm

たてと横の積が一定です。

(4) 28L

全体の量÷容器の数。

(5) いえない

xが2倍になってもyは2倍になりません。商が一定かを確かめます。

(6) $\frac{1}{28}$倍

積を一定にするため、もう一方を同じ数でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

比例と反比例

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 比例はy÷xが一定。反比例はx×yが一定です。ここではx、yは0より大きい数です。

例 1個30円なら代金y=30×個数x。12枚をx人で分けるなら1人分y=12÷x。

(1) 1本290円の鉛筆を31本買います。代金は何円ですか。

答え

(2) 紙29枚の重さが116gです。同じ紙310枚は何gですか。

答え

(3) 面積899cm²の長方形で、たてが29cmです。横は何cmですか。

答え

(4) 899Lの水を31個の容器に等しく分けます。1個分は何Lですか。

答え

(5) y=x+29は、xが増えるとyも増えます。比例といえますか。

答え

(6) 反比例する2つの量で、一方を29倍にすると他方は何倍ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

比例と反比例 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 8990円

代金は本数に比例します。

(2) 1240g

1枚の重さを求め、枚数をかけます。

(3) 31cm

たてと横の積が一定です。

(4) 29L

全体の量÷容器の数。

(5) いえない

xが2倍になってもyは2倍になりません。商が一定かを確かめます。

(6) $\frac{1}{29}$倍

積を一定にするため、もう一方を同じ数でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

比例と反比例

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 比例はy÷xが一定。反比例はx×yが一定です。ここではx、yは0より大きい数です。

例 1個30円なら代金y=30×個数x。12枚をx人で分けるなら1人分y=12÷x。

(1) 1本300円の鉛筆を32本買います。代金は何円ですか。

答え

(2) 紙30枚の重さが120gです。同じ紙320枚は何gですか。

答え

(3) 面積960cm²の長方形で、たてが30cmです。横は何cmですか。

答え

(4) 960Lの水を32個の容器に等しく分けます。1個分は何Lですか。

答え

(5) y=x+30は、xが増えるとyも増えます。比例といえますか。

答え

(6) 反比例する2つの量で、一方を30倍にすると他方は何倍ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

比例と反比例 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 9600円

代金は本数に比例します。

(2) 1280g

1枚の重さを求め、枚数をかけます。

(3) 32cm

たてと横の積が一定です。

(4) 30L

全体の量÷容器の数。

(5) いえない

xが2倍になってもyは2倍になりません。商が一定かを確かめます。

(6) $\frac{1}{30}$倍

積を一定にするため、もう一方を同じ数でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

比例と反比例

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 比例はy÷xが一定。反比例はx×yが一定です。ここではx、yは0より大きい数です。

例 1個30円なら代金y=30×個数x。12枚をx人で分けるなら1人分y=12÷x。

(1) 1本80円の鉛筆を10本買います。代金は何円ですか。

答え

(2) 紙8枚の重さが32gです。同じ紙100枚は何gですか。

答え

(3) 面積80cm²の長方形で、たてが8cmです。横は何cmですか。

答え

(4) 80Lの水を10個の容器に等しく分けます。1個分は何Lですか。

答え

(5) y=x+8は、xが増えるとyも増えます。比例といえますか。

答え

(6) 反比例する2つの量で、一方を8倍にすると他方は何倍ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

比例と反比例 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 800円

代金は本数に比例します。

(2) 400g

1枚の重さを求め、枚数をかけます。

(3) 10cm

たてと横の積が一定です。

(4) 8L

全体の量÷容器の数。

(5) いえない

xが2倍になってもyは2倍になりません。商が一定かを確かめます。

(6) $\frac{1}{8}$倍

積を一定にするため、もう一方を同じ数でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

比例と反比例

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 比例はy÷xが一定。反比例はx×yが一定です。ここではx、yは0より大きい数です。

例 1個30円なら代金y=30×個数x。12枚をx人で分けるなら1人分y=12÷x。

(1) 1本310円の鉛筆を33本買います。代金は何円ですか。

答え

(2) 紙31枚の重さが124gです。同じ紙330枚は何gですか。

答え

(3) 面積1023cm²の長方形で、たてが31cmです。横は何cmですか。

答え

(4) 1023Lの水を33個の容器に等しく分けます。1個分は何Lですか。

答え

(5) y=x+31は、xが増えるとyも増えます。比例といえますか。

答え

(6) 反比例する2つの量で、一方を31倍にすると他方は何倍ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

比例と反比例 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 10230円

代金は本数に比例します。

(2) 1320g

1枚の重さを求め、枚数をかけます。

(3) 33cm

たてと横の積が一定です。

(4) 31L

全体の量÷容器の数。

(5) いえない

xが2倍になってもyは2倍になりません。商が一定かを確かめます。

(6) $\frac{1}{31}$倍

積を一定にするため、もう一方を同じ数でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

比例と反比例

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 比例はy÷xが一定。反比例はx×yが一定です。ここではx、yは0より大きい数です。

例 1個30円なら代金y=30×個数x。12枚をx人で分けるなら1人分y=12÷x。

(1) 1本320円の鉛筆を34本買います。代金は何円ですか。

答え

(2) 紙32枚の重さが128gです。同じ紙340枚は何gですか。

答え

(3) 面積1088cm²の長方形で、たてが32cmです。横は何cmですか。

答え

(4) 1088Lの水を34個の容器に等しく分けます。1個分は何Lですか。

答え

(5) y=x+32は、xが増えるとyも増えます。比例といえますか。

答え

(6) 反比例する2つの量で、一方を32倍にすると他方は何倍ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

比例と反比例 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 10880円

代金は本数に比例します。

(2) 1360g

1枚の重さを求め、枚数をかけます。

(3) 34cm

たてと横の積が一定です。

(4) 32L

全体の量÷容器の数。

(5) いえない

xが2倍になってもyは2倍になりません。商が一定かを確かめます。

(6) $\frac{1}{32}$倍

積を一定にするため、もう一方を同じ数でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

比例と反比例

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 比例はy÷xが一定。反比例はx×yが一定です。ここではx、yは0より大きい数です。

例 1個30円なら代金y=30×個数x。12枚をx人で分けるなら1人分y=12÷x。

(1) 1本330円の鉛筆を35本買います。代金は何円ですか。

答え

(2) 紙33枚の重さが132gです。同じ紙350枚は何gですか。

答え

(3) 面積1155cm²の長方形で、たてが33cmです。横は何cmですか。

答え

(4) 1155Lの水を35個の容器に等しく分けます。1個分は何Lですか。

答え

(5) y=x+33は、xが増えるとyも増えます。比例といえますか。

答え

(6) 反比例する2つの量で、一方を33倍にすると他方は何倍ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

比例と反比例 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 11550円

代金は本数に比例します。

(2) 1400g

1枚の重さを求め、枚数をかけます。

(3) 35cm

たてと横の積が一定です。

(4) 33L

全体の量÷容器の数。

(5) いえない

xが2倍になってもyは2倍になりません。商が一定かを確かめます。

(6) $\frac{1}{33}$倍

積を一定にするため、もう一方を同じ数でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

比例と反比例

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 比例はy÷xが一定。反比例はx×yが一定です。ここではx、yは0より大きい数です。

例 1個30円なら代金y=30×個数x。12枚をx人で分けるなら1人分y=12÷x。

(1) 1本340円の鉛筆を36本買います。代金は何円ですか。

答え

(2) 紙34枚の重さが136gです。同じ紙360枚は何gですか。

答え

(3) 面積1224cm²の長方形で、たてが34cmです。横は何cmですか。

答え

(4) 1224Lの水を36個の容器に等しく分けます。1個分は何Lですか。

答え

(5) y=x+34は、xが増えるとyも増えます。比例といえますか。

答え

(6) 反比例する2つの量で、一方を34倍にすると他方は何倍ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

比例と反比例 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 12240円

代金は本数に比例します。

(2) 1440g

1枚の重さを求め、枚数をかけます。

(3) 36cm

たてと横の積が一定です。

(4) 34L

全体の量÷容器の数。

(5) いえない

xが2倍になってもyは2倍になりません。商が一定かを確かめます。

(6) $\frac{1}{34}$倍

積を一定にするため、もう一方を同じ数でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

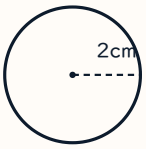
円の面積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 円の面積＝半径×半径×円周率。円周率は3.14とします。図は実際の長さではありません。

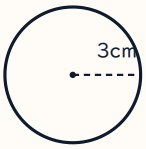
例 直径10cmなら半径は5cm。面積は5×5×3.14＝78.5cm²です。

(1) 半径2cmの円の面積を求めましょう。



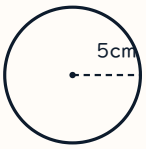
答え

(2) 半径3cmの円の面積を求めましょう。



答え

(3) 半径5cmの円の面積を求めましょう。



答え

(4) 直径8cmの円の面積を求めましょう。



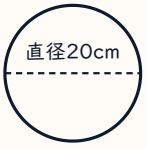
答え

(5) 直径12cmの円の面積を求めましょう。



答え

(6) 直径20cmの円の面積を求めましょう。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

円の面積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 12.56cm²

2×2×3.14。

(2) 28.26cm²

3×3×3.14。

(3) 78.5cm²

5×5×3.14。

(4) 50.24cm²

半径は8÷2=4cm。4×4×3.14。

(5) 113.04cm²

半径は12÷2=6cm。6×6×3.14。

(6) 314cm²

半径は20÷2=10cm。10×10×3.14。

間違い直し

☐ 式の選び方 ☐ 計算 ☐ 単位・読み取り

まちがえた番号:_____ もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

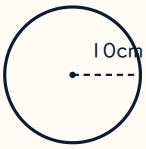
円の面積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 円の面積＝半径×半径×円周率。円周率は3.14とします。図は実際の長さではありません。

例 直径10cmなら半径は5cm。面積は5×5×3.14＝78.5cm²です。

(1) 半径10cmの円の面積を求めましょう。



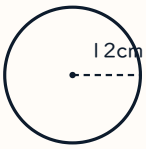
答え

(2) 直径22cmの円の面積を求めましょう。



答え

(3) 半径12cmの円の面積を求めましょう。



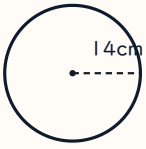
答え

(4) 直径26cmの円の面積を求めましょう。



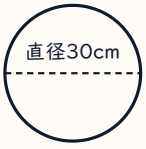
答え

(5) 半径14cmの円の面積を求めましょう。



答え

(6) 直径30cmの円の面積を求めましょう。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

円の面積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 314cm²

10×10×3.14。

(2) 379.94cm²

半径は22÷2=11cm。11×11×3.14。

(3) 452.16cm²

12×12×3.14。

(4) 530.66cm²

半径は26÷2=13cm。13×13×3.14。

(5) 615.44cm²

14×14×3.14。

(6) 706.5cm²

半径は30÷2=15cm。15×15×3.14。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号:_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

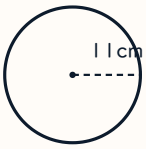
円の面積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 円の面積＝半径×半径×円周率。円周率は3.14とします。図は実際の長さではありません。

例 直径10cmなら半径は5cm。面積は5×5×3.14＝78.5cm²です。

(1) 半径11cmの円の面積を求めましょう。



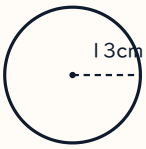
答え

(2) 直径24cmの円の面積を求めましょう。



答え

(3) 半径13cmの円の面積を求めましょう。



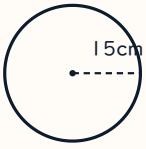
答え

(4) 直径28cmの円の面積を求めましょう。



答え

(5) 半径15cmの円の面積を求めましょう。



答え

(6) 直径32cmの円の面積を求めましょう。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

円の面積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 379.94cm²

11×11×3.14。

(2) 452.16cm²

半径は24÷2=12cm。12×12×3.14。

(3) 530.66cm²

13×13×3.14。

(4) 615.44cm²

半径は28÷2=14cm。14×14×3.14。

(5) 706.5cm²

15×15×3.14。

(6) 803.84cm²

半径は32÷2=16cm。16×16×3.14。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号:_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

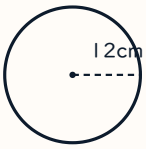
円の面積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 円の面積＝半径×半径×円周率。円周率は3.14とします。図は実際の長さではありません。

例 直径10cmなら半径は5cm。面積は5×5×3.14＝78.5cm²です。

(1) 半径12cmの円の面積を求めましょう。



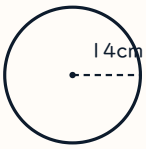
答え

(2) 直径26cmの円の面積を求めましょう。



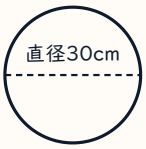
答え

(3) 半径14cmの円の面積を求めましょう。



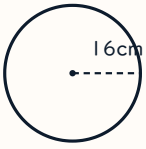
答え

(4) 直径30cmの円の面積を求めましょう。



答え

(5) 半径16cmの円の面積を求めましょう。



答え

(6) 直径34cmの円の面積を求めましょう。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

円の面積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 452.16cm²

12×12×3.14。

(2) 530.66cm²

半径は26÷2=13cm。13×13×3.14。

(3) 615.44cm²

14×14×3.14。

(4) 706.5cm²

半径は30÷2=15cm。15×15×3.14。

(5) 803.84cm²

16×16×3.14。

(6) 907.46cm²

半径は34÷2=17cm。17×17×3.14。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号:_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

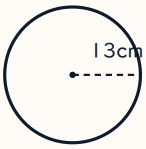
円の面積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 円の面積＝半径×半径×円周率。円周率は3.14とします。図は実際の長さではありません。

例 直径10cmなら半径は5cm。面積は5×5×3.14＝78.5cm²です。

(1) 半径13cmの円の面積を求めましょう。



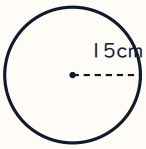
答え

(2) 直径28cmの円の面積を求めましょう。



答え

(3) 半径15cmの円の面積を求めましょう。



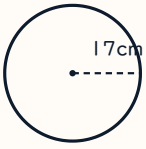
答え

(4) 直径32cmの円の面積を求めましょう。



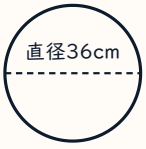
答え

(5) 半径17cmの円の面積を求めましょう。



答え

(6) 直径36cmの円の面積を求めましょう。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

円の面積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 530.66cm²

13×13×3.14。

(2) 615.44cm²

半径は28÷2=14cm。14×14×3.14。

(3) 706.5cm²

15×15×3.14。

(4) 803.84cm²

半径は32÷2=16cm。16×16×3.14。

(5) 907.46cm²

17×17×3.14。

(6) 1017.36cm²

半径は36÷2=18cm。18×18×3.14。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号:_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

円の面積

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 円の面積＝半径×半径×円周率。円周率は3.14とします。図は実際の長さではありません。

例 直径10cmなら半径は5cm。面積は5×5×3.14＝78.5cm²です。

(1) 半径4cmの半円の面積を求めましょう。

答え

(2) 半径6cmの円の$\frac{1}{4}$にあたる部分の面積を求めましょう。

答え

(3) 直径8cmの円で「8×8×3.14」としました。正しい式と面積を書きましょう。

答え

(4) 半径5cmの円から、同じ中心の半径3cmの円をくり抜きます。残る部分の面積を求めましょう。

答え

(5) 半径2cmの円の半径を2倍にします。面積はもとの何倍ですか。

答え

(6) 一辺10cmの正方形の中に、直径10cmの円がぴったり入っています。正方形の円の外側の面積を求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

円の面積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 25.12cm²

円全体の面積を2でわります。

(2) 28.26cm²

円全体の面積を4でわります。

(3) 4×4×3.14=50.24cm²

使うのは半径です。直径8cmの半分の4cmを使います。

(4) 50.24cm²

大きい円の78.5から、小さい円の28.26をひきます。

(5) 4倍

半径×半径の両方が2倍になるので、2×2倍です。

(6) 21.5cm²

正方形100cm²から円78.5cm²をひきます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

円の面積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 円の面積＝半径×半径×円周率。円周率は3.14とします。図は実際の長さではありません。

例 直径10cmなら半径は5cm。面積は5×5×3.14＝78.5cm²です。

(1) 半径14cmの半円の面積を求めましょう。

答え

(2) 半径15cmの円の$\frac{1}{4}$の面積を求めましょう。

答え

(3) 半径16cmの円から、同じ中心の半径14cmの円をくり抜きます。残りの面積を求めましょう。

答え

(4) 一辺28cmの正方形に直径28cmの円がぴったり入ります。円の外側の面積を求めましょう。

答え

(5) 半径14cmの円の半径を3倍にすると、面積は何倍ですか。

答え

(6) 直径28cmの円の面積に使う半径は何cmですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

円の面積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 307.72cm²

円全体の面積の半分。

(2) 176.625cm²

円全体の面積を4でわります。

(3) 188.4cm²

大きい円の面積−小さい円の面積。

(4) 168.56cm²

正方形の面積−円の面積。

(5) 9倍

半径を2回かけるので、3×3倍。

(6) 14cm

直径を2でわって半径にします。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

円の面積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 円の面積＝半径×半径×円周率。円周率は3.14とします。図は実際の長さではありません。

例 直径10cmなら半径は5cm。面積は5×5×3.14＝78.5cm²です。

(1) 半径15cmの半円の面積を求めましょう。

答え

(2) 半径16cmの円の$\frac{1}{4}$の面積を求めましょう。

答え

(3) 半径17cmの円から、同じ中心の半径15cmの円をくり抜きます。残りの面積を求めましょう。

答え

(4) 一辺30cmの正方形に直径30cmの円がぴったり入ります。円の外側の面積を求めましょう。

答え

(5) 半径15cmの円の半径を3倍にすると、面積は何倍ですか。

答え

(6) 直径30cmの円の面積に使う半径は何cmですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

円の面積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 353.25cm²

円全体の面積の半分。

(2) 200.96cm²

円全体の面積を4でわります。

(3) 200.96cm²

大きい円の面積−小さい円の面積。

(4) 193.5cm²

正方形の面積−円の面積。

(5) 9倍

半径を2回かけるので、3×3倍。

(6) 15cm

直径を2でわって半径にします。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

円の面積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 円の面積＝半径×半径×円周率。円周率は3.14とします。図は実際の長さではありません。

例 直径10cmなら半径は5cm。面積は5×5×3.14＝78.5cm²です。

(1) 半径16cmの半円の面積を求めましょう。

答え

(2) 半径17cmの円の$\frac{1}{4}$の面積を求めましょう。

答え

(3) 半径18cmの円から、同じ中心の半径16cmの円をくり抜きます。残りの面積を求めましょう。

答え

(4) 一辺32cmの正方形に直径32cmの円がぴったり入ります。円の外側の面積を求めましょう。

答え

(5) 半径16cmの円の半径を3倍にすると、面積は何倍ですか。

答え

(6) 直径32cmの円の面積に使う半径は何cmですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

円の面積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 401.92cm²

円全体の面積の半分。

(2) 226.865cm²

円全体の面積を4でわります。

(3) 213.52cm²

大きい円の面積−小さい円の面積。

(4) 220.16cm²

正方形の面積−円の面積。

(5) 9倍

半径を2回かけるので、3×3倍。

(6) 16cm

直径を2でわって半径にします。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

円の面積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 円の面積＝半径×半径×円周率。円周率は3.14とします。図は実際の長さではありません。

例 直径10cmなら半径は5cm。面積は5×5×3.14＝78.5cm²です。

(1) 半径17cmの半円の面積を求めましょう。

答え

(2) 半径18cmの円の$\frac{1}{4}$の面積を求めましょう。

答え

(3) 半径19cmの円から、同じ中心の半径17cmの円をくり抜きます。残りの面積を求めましょう。

答え

(4) 一辺34cmの正方形に直径34cmの円がぴったり入ります。円の外側の面積を求めましょう。

答え

(5) 半径17cmの円の半径を3倍にすると、面積は何倍ですか。

答え

(6) 直径34cmの円の面積に使う半径は何cmですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

円の面積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 453.73cm²

円全体の面積の半分。

(2) 254.34cm²

円全体の面積を4でわります。

(3) 226.08cm²

大きい円の面積−小さい円の面積。

(4) 248.54cm²

正方形の面積−円の面積。

(5) 9倍

半径を2回かけるので、3×3倍。

(6) 17cm

直径を2でわって半径にします。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

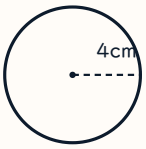
円の面積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 円の面積＝半径×半径×円周率。円周率は3.14とします。図は実際の長さではありません。

例 直径10cmなら半径は5cm。面積は5×5×3.14＝78.5cm²です。

(1) 半径4cmの円の面積を求めましょう。



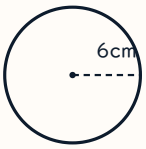
答え

(2) 直径10cmの円の面積を求めましょう。



答え

(3) 半径6cmの円の面積を求めましょう。



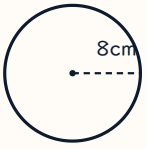
答え

(4) 直径14cmの円の面積を求めましょう。



答え

(5) 半径8cmの円の面積を求めましょう。



答え

(6) 直径18cmの円の面積を求めましょう。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

円の面積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 50.24cm²

4×4×3.14。

(2) 78.5cm²

半径は10÷2=5cm。5×5×3.14。

(3) 113.04cm²

6×6×3.14。

(4) 153.86cm²

半径は14÷2=7cm。7×7×3.14。

(5) 200.96cm²

8×8×3.14。

(6) 254.34cm²

半径は18÷2=9cm。9×9×3.14。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

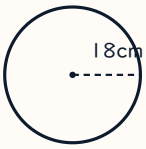
円の面積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 円の面積＝半径×半径×円周率。円周率は3.14とします。図は実際の長さではありません。

例 直径10cmなら半径は5cm。面積は5×5×3.14＝78.5cm²です。

(1) 半径18cmの円の面積を求めましょう。



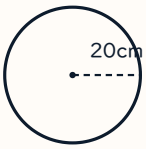
答え

(2) 直径38cmの円の面積を求めましょう。



答え

(3) 半径20cmの円の面積を求めましょう。



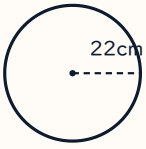
答え

(4) 直径42cmの円の面積を求めましょう。



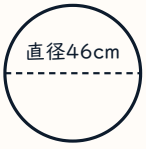
答え

(5) 半径22cmの円の面積を求めましょう。



答え

(6) 直径46cmの円の面積を求めましょう。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

円の面積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1)　1017.36cm²

18×18×3.14。

(2)　1133.54cm²

半径は38÷2=19cm。19×19×3.14。

(3)　1256cm²

20×20×3.14。

(4)　1384.74cm²

半径は42÷2=21cm。21×21×3.14。

(5)　1519.76cm²

22×22×3.14。

(6)　1661.06cm²

半径は46÷2=23cm。23×23×3.14。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号:_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

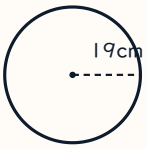
円の面積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 円の面積＝半径×半径×円周率。円周率は3.14とします。図は実際の長さではありません。

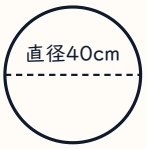
例 直径10cmなら半径は5cm。面積は5×5×3.14＝78.5cm²です。

(1) 半径19cmの円の面積を求めましょう。



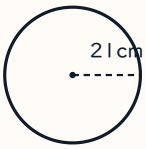
答え

(2) 直径40cmの円の面積を求めましょう。



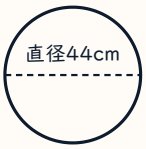
答え

(3) 半径21cmの円の面積を求めましょう。



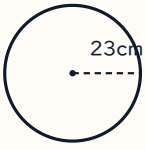
答え

(4) 直径44cmの円の面積を求めましょう。



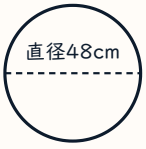
答え

(5) 半径23cmの円の面積を求めましょう。



答え

(6) 直径48cmの円の面積を求めましょう。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

円の面積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1)　1133.54cm²

19×19×3.14。

(2)　1256cm²

半径は40÷2=20cm。20×20×3.14。

(3)　1384.74cm²

21×21×3.14。

(4)　1519.76cm²

半径は44÷2=22cm。22×22×3.14。

(5)　1661.06cm²

23×23×3.14。

(6)　1808.64cm²

半径は48÷2=24cm。24×24×3.14。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号:_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

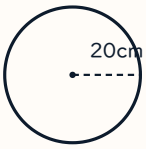
円の面積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 円の面積＝半径×半径×円周率。円周率は3.14とします。図は実際の長さではありません。

例 直径10cmなら半径は5cm。面積は5×5×3.14＝78.5cm²です。

(1) 半径20cmの円の面積を求めましょう。



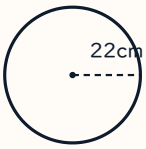
答え

(2) 直径42cmの円の面積を求めましょう。



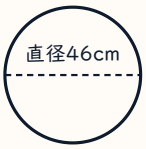
答え

(3) 半径22cmの円の面積を求めましょう。



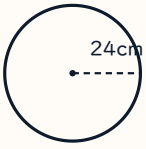
答え

(4) 直径46cmの円の面積を求めましょう。



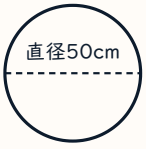
答え

(5) 半径24cmの円の面積を求めましょう。



答え

(6) 直径50cmの円の面積を求めましょう。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

円の面積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 1256cm²

20×20×3.14。

(2) 1384.74cm²

半径は42÷2=21cm。21×21×3.14。

(3) 1519.76cm²

22×22×3.14。

(4) 1661.06cm²

半径は46÷2=23cm。23×23×3.14。

(5) 1808.64cm²

24×24×3.14。

(6) 1962.5cm²

半径は50÷2=25cm。25×25×3.14。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

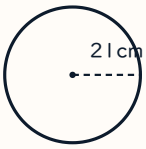
円の面積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 円の面積＝半径×半径×円周率。円周率は3.14とします。図は実際の長さではありません。

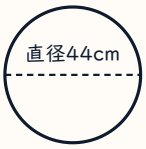
例 直径10cmなら半径は5cm。面積は5×5×3.14＝78.5cm²です。

(1) 半径21cmの円の面積を求めましょう。



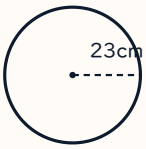
答え

(2) 直径44cmの円の面積を求めましょう。



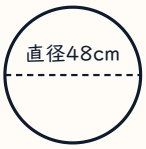
答え

(3) 半径23cmの円の面積を求めましょう。



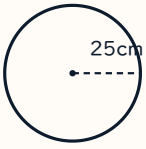
答え

(4) 直径48cmの円の面積を求めましょう。



答え

(5) 半径25cmの円の面積を求めましょう。



答え

(6) 直径52cmの円の面積を求めましょう。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

円の面積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 1384.74cm²

21×21×3.14。

(2) 1519.76cm²

半径は44÷2=22cm。22×22×3.14。

(3) 1661.06cm²

23×23×3.14。

(4) 1808.64cm²

半径は48÷2=24cm。24×24×3.14。

(5) 1962.5cm²

25×25×3.14。

(6) 2122.64cm²

半径は52÷2=26cm。26×26×3.14。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

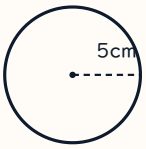
円の面積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 円の面積＝半径×半径×円周率。円周率は3.14とします。図は実際の長さではありません。

例 直径10cmなら半径は5cm。面積は5×5×3.14＝78.5cm²です。

(1) 半径5cmの円の面積を求めましょう。



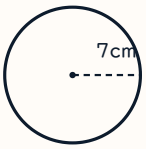
答え

(2) 直径12cmの円の面積を求めましょう。



答え

(3) 半径7cmの円の面積を求めましょう。



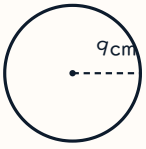
答え

(4) 直径16cmの円の面積を求めましょう。



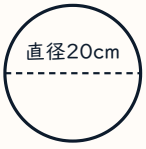
答え

(5) 半径9cmの円の面積を求めましょう。



答え

(6) 直径20cmの円の面積を求めましょう。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

円の面積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 78.5cm²

5×5×3.14。

(2) 113.04cm²

半径は12÷2=6cm。6×6×3.14。

(3) 153.86cm²

7×7×3.14。

(4) 200.96cm²

半径は16÷2=8cm。8×8×3.14。

(5) 254.34cm²

9×9×3.14。

(6) 314cm²

半径は20÷2=10cm。10×10×3.14。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

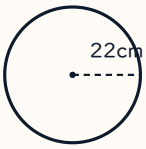
円の面積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 円の面積＝半径×半径×円周率。円周率は3.14とします。図は実際の長さではありません。

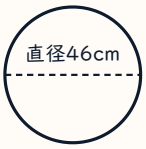
例 直径10cmなら半径は5cm。面積は5×5×3.14＝78.5cm²です。

(1) 半径22cmの円の面積を求めましょう。



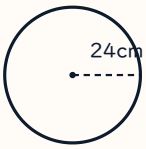
答え

(2) 直径46cmの円の面積を求めましょう。



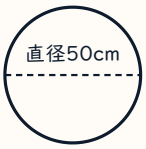
答え

(3) 半径24cmの円の面積を求めましょう。



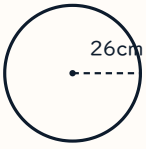
答え

(4) 直径50cmの円の面積を求めましょう。



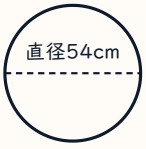
答え

(5) 半径26cmの円の面積を求めましょう。



答え

(6) 直径54cmの円の面積を求めましょう。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

円の面積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1)　1519.76cm²

22×22×3.14。

(2)　1661.06cm²

半径は46÷2=23cm。23×23×3.14。

(3)　1808.64cm²

24×24×3.14。

(4)　1962.5cm²

半径は50÷2=25cm。25×25×3.14。

(5)　2122.64cm²

26×26×3.14。

(6)　2289.06cm²

半径は54÷2=27cm。27×27×3.14。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

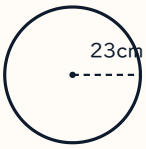
円の面積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 円の面積＝半径×半径×円周率。円周率は3.14とします。図は実際の長さではありません。

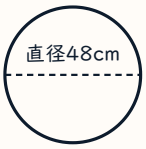
例 直径10cmなら半径は5cm。面積は5×5×3.14＝78.5cm²です。

(1) 半径23cmの円の面積を求めましょう。



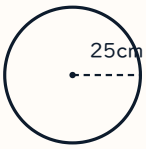
答え

(2) 直径48cmの円の面積を求めましょう。



答え

(3) 半径25cmの円の面積を求めましょう。



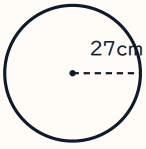
答え

(4) 直径52cmの円の面積を求めましょう。



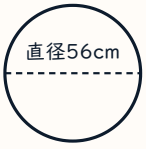
答え

(5) 半径27cmの円の面積を求めましょう。



答え

(6) 直径56cmの円の面積を求めましょう。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

円の面積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 1661.06cm²

23×23×3.14。

(2) 1808.64cm²

半径は48÷2=24cm。24×24×3.14。

(3) 1962.5cm²

25×25×3.14。

(4) 2122.64cm²

半径は52÷2=26cm。26×26×3.14。

(5) 2289.06cm²

27×27×3.14。

(6) 2461.76cm²

半径は56÷2=28cm。28×28×3.14。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

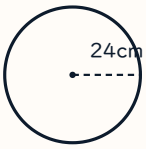
円の面積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 円の面積＝半径×半径×円周率。円周率は3.14とします。図は実際の長さではありません。

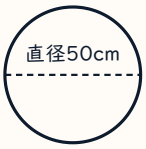
例 直径10cmなら半径は5cm。面積は5×5×3.14＝78.5cm²です。

(1) 半径24cmの円の面積を求めましょう。



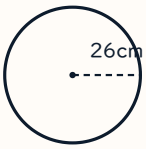
答え

(2) 直径50cmの円の面積を求めましょう。



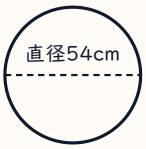
答え

(3) 半径26cmの円の面積を求めましょう。



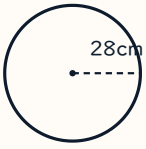
答え

(4) 直径54cmの円の面積を求めましょう。



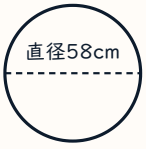
答え

(5) 半径28cmの円の面積を求めましょう。



答え

(6) 直径58cmの円の面積を求めましょう。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

円の面積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 1808.64cm²

24×24×3.14。

(2) 1962.5cm²

半径は50÷2=25cm。25×25×3.14。

(3) 2122.64cm²

26×26×3.14。

(4) 2289.06cm²

半径は54÷2=27cm。27×27×3.14。

(5) 2461.76cm²

28×28×3.14。

(6) 2640.74cm²

半径は58÷2=29cm。29×29×3.14。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

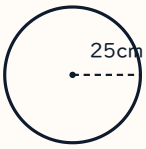
円の面積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 円の面積＝半径×半径×円周率。円周率は3.14とします。図は実際の長さではありません。

例 直径10cmなら半径は5cm。面積は5×5×3.14＝78.5cm²です。

(1) 半径25cmの円の面積を求めましょう。



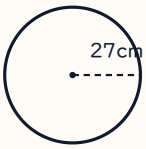
答え

(2) 直径52cmの円の面積を求めましょう。



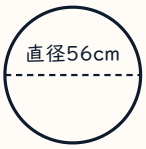
答え

(3) 半径27cmの円の面積を求めましょう。



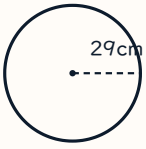
答え

(4) 直径56cmの円の面積を求めましょう。



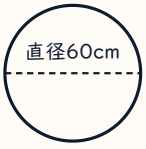
答え

(5) 半径29cmの円の面積を求めましょう。



答え

(6) 直径60cmの円の面積を求めましょう。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

円の面積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 1962.5cm²

25×25×3.14。

(2) 2122.64cm²

半径は52÷2=26cm。26×26×3.14。

(3) 2289.06cm²

27×27×3.14。

(4) 2461.76cm²

半径は56÷2=28cm。28×28×3.14。

(5) 2640.74cm²

29×29×3.14。

(6) 2826cm²

半径は60÷2=30cm。30×30×3.14。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

円の面積

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 円の面積＝半径×半径×円周率。円周率は3.14とします。図は実際の長さではありません。

例 直径10cmなら半径は5cm。面積は5×5×3.14＝78.5cm²です。

(1) 半径6cmの半円の面積を求めましょう。

答え

(2) 半径7cmの円の$\frac{1}{4}$の面積を求めましょう。

答え

(3) 半径8cmの円から、同じ中心の半径6cmの円をくり抜きます。残りの面積を求めましょう。

答え

(4) 一辺12cmの正方形に直径12cmの円がぴったり入ります。円の外側の面積を求めましょう。

答え

(5) 半径6cmの円の半径を3倍にすると、面積は何倍ですか。

答え

(6) 直径12cmの円の面積に使う半径は何cmですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

円の面積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 56.52cm²

円全体の面積の半分。

(2) 38.465cm²

円全体の面積を4でわります。

(3) 87.92cm²

大きい円の面積−小さい円の面積。

(4) 30.96cm²

正方形の面積−円の面積。

(5) 9倍

半径を2回かけるので、3×3倍。

(6) 6cm

直径を2でわって半径にします。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

円の面積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 円の面積＝半径×半径×円周率。円周率は3.14とします。図は実際の長さではありません。

例 直径10cmなら半径は5cm。面積は5×5×3.14＝78.5cm²です。

(1) 半径26cmの半円の面積を求めましょう。

答え

(2) 半径27cmの円の$\frac{1}{4}$の面積を求めましょう。

答え

(3) 半径28cmの円から、同じ中心の半径26cmの円をくり抜きます。残りの面積を求めましょう。

答え

(4) 一辺52cmの正方形に直径52cmの円がぴったり入ります。円の外側の面積を求めましょう。

答え

(5) 半径26cmの円の半径を3倍にすると、面積は何倍ですか。

答え

(6) 直径52cmの円の面積に使う半径は何cmですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

円の面積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 1061.32cm²

円全体の面積の半分。

(2) 572.265cm²

円全体の面積を4でわります。

(3) 339.12cm²

大きい円の面積−小さい円の面積。

(4) 581.36cm²

正方形の面積−円の面積。

(5) 9倍

半径を2回かけるので、3×3倍。

(6) 26cm

直径を2でわって半径にします。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

円の面積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 円の面積＝半径×半径×円周率。円周率は3.14とします。図は実際の長さではありません。

例 直径10cmなら半径は5cm。面積は5×5×3.14＝78.5cm²です。

(1) 半径27cmの半円の面積を求めましょう。

答え

(2) 半径28cmの円の$\frac{1}{4}$の面積を求めましょう。

答え

(3) 半径29cmの円から、同じ中心の半径27cmの円をくり抜きます。残りの面積を求めましょう。

答え

(4) 一辺54cmの正方形に直径54cmの円がぴったり入ります。円の外側の面積を求めましょう。

答え

(5) 半径27cmの円の半径を3倍にすると、面積は何倍ですか。

答え

(6) 直径54cmの円の面積に使う半径は何cmですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

円の面積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 1144.53cm²

円全体の面積の半分。

(2) 615.44cm²

円全体の面積を4でわります。

(3) 351.68cm²

大きい円の面積−小さい円の面積。

(4) 626.94cm²

正方形の面積−円の面積。

(5) 9倍

半径を2回かけるので、3×3倍。

(6) 27cm

直径を2でわって半径にします。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

円の面積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 円の面積＝半径×半径×円周率。円周率は3.14とします。図は実際の長さではありません。

例 直径10cmなら半径は5cm。面積は5×5×3.14＝78.5cm²です。

(1) 半径28cmの半円の面積を求めましょう。

答え

(2) 半径29cmの円の$\frac{1}{4}$の面積を求めましょう。

答え

(3) 半径30cmの円から、同じ中心の半径28cmの円をくり抜きます。残りの面積を求めましょう。

答え

(4) 一辺56cmの正方形に直径56cmの円がぴったり入ります。円の外側の面積を求めましょう。

答え

(5) 半径28cmの円の半径を3倍にすると、面積は何倍ですか。

答え

(6) 直径56cmの円の面積に使う半径は何cmですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

円の面積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 1230.88cm²

円全体の面積の半分。

(2) 660.185cm²

円全体の面積を4でわります。

(3) 364.24cm²

大きい円の面積−小さい円の面積。

(4) 674.24cm²

正方形の面積−円の面積。

(5) 9倍

半径を2回かけるので、3×3倍。

(6) 28cm

直径を2でわって半径にします。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

円の面積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 円の面積＝半径×半径×円周率。円周率は3.14とします。図は実際の長さではありません。

例 直径10cmなら半径は5cm。面積は5×5×3.14＝78.5cm²です。

(1) 半径29cmの半円の面積を求めましょう。

答え

(2) 半径30cmの円の$\frac{1}{4}$の面積を求めましょう。

答え

(3) 半径31cmの円から、同じ中心の半径29cmの円をくり抜きます。残りの面積を求めましょう。

答え

(4) 一辺58cmの正方形に直径58cmの円がぴったり入ります。円の外側の面積を求めましょう。

答え

(5) 半径29cmの円の半径を3倍にすると、面積は何倍ですか。

答え

(6) 直径58cmの円の面積に使う半径は何cmですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

円の面積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 1320.37cm²

円全体の面積の半分。

(2) 706.5cm²

円全体の面積を4でわります。

(3) 376.8cm²

大きい円の面積−小さい円の面積。

(4) 723.26cm²

正方形の面積−円の面積。

(5) 9倍

半径を2回かけるので、3×3倍。

(6) 29cm

直径を2でわって半径にします。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

円の面積

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 円の面積＝半径×半径×円周率。円周率は3.14とします。図は実際の長さではありません。

例 直径10cmなら半径は5cm。面積は5×5×3.14＝78.5cm²です。

(1) 半径7cmの半円の面積を求めましょう。

答え

(2) 半径8cmの円の$\frac{1}{4}$の面積を求めましょう。

答え

(3) 半径9cmの円から、同じ中心の半径7cmの円をくり抜きます。残りの面積を求めましょう。

答え

(4) 一辺14cmの正方形に直径14cmの円がぴったり入ります。円の外側の面積を求めましょう。

答え

(5) 半径7cmの円の半径を3倍にすると、面積は何倍ですか。

答え

(6) 直径14cmの円の面積に使う半径は何cmですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

円の面積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 76.93cm²

円全体の面積の半分。

(2) 50.24cm²

円全体の面積を4でわります。

(3) 100.48cm²

大きい円の面積−小さい円の面積。

(4) 42.14cm²

正方形の面積−円の面積。

(5) 9倍

半径を2回かけるので、3×3倍。

(6) 7cm

直径を2でわって半径にします。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

円の面積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 円の面積＝半径×半径×円周率。円周率は3.14とします。図は実際の長さではありません。

例 直径10cmなら半径は5cm。面積は5×5×3.14＝78.5cm²です。

(1) 半径30cmの半円の面積を求めましょう。

答え

(2) 半径31cmの円の$\frac{1}{4}$の面積を求めましょう。

答え

(3) 半径32cmの円から、同じ中心の半径30cmの円をくり抜きます。残りの面積を求めましょう。

答え

(4) 一辺60cmの正方形に直径60cmの円がぴったり入ります。円の外側の面積を求めましょう。

答え

(5) 半径30cmの円の半径を3倍にすると、面積は何倍ですか。

答え

(6) 直径60cmの円の面積に使う半径は何cmですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

円の面積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 1413cm²

円全体の面積の半分。

(2) 754.385cm²

円全体の面積を4でわります。

(3) 389.36cm²

大きい円の面積−小さい円の面積。

(4) 774cm²

正方形の面積−円の面積。

(5) 9倍

半径を2回かけるので、3×3倍。

(6) 30cm

直径を2でわって半径にします。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

円の面積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 円の面積＝半径×半径×円周率。円周率は3.14とします。図は実際の長さではありません。

例 直径10cmなら半径は5cm。面積は5×5×3.14＝78.5cm²です。

(1) 半径31cmの半円の面積を求めましょう。

答え

(2) 半径32cmの円の$\frac{1}{4}$の面積を求めましょう。

答え

(3) 半径33cmの円から、同じ中心の半径31cmの円をくり抜きます。残りの面積を求めましょう。

答え

(4) 一辺62cmの正方形に直径62cmの円がぴったり入ります。円の外側の面積を求めましょう。

答え

(5) 半径31cmの円の半径を3倍にすると、面積は何倍ですか。

答え

(6) 直径62cmの円の面積に使う半径は何cmですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

円の面積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 1508.77cm²

円全体の面積の半分。

(2) 803.84cm²

円全体の面積を4でわります。

(3) 401.92cm²

大きい円の面積−小さい円の面積。

(4) 826.46cm²

正方形の面積−円の面積。

(5) 9倍

半径を2回かけるので、3×3倍。

(6) 31cm

直径を2でわって半径にします。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

円の面積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 円の面積＝半径×半径×円周率。円周率は3.14とします。図は実際の長さではありません。

例 直径10cmなら半径は5cm。面積は5×5×3.14＝78.5cm²です。

(1) 半径32cmの半円の面積を求めましょう。

答え

(2) 半径33cmの円の$\frac{1}{4}$の面積を求めましょう。

答え

(3) 半径34cmの円から、同じ中心の半径32cmの円をくり抜きます。残りの面積を求めましょう。

答え

(4) 一辺64cmの正方形に直径64cmの円がぴったり入ります。円の外側の面積を求めましょう。

答え

(5) 半径32cmの円の半径を3倍にすると、面積は何倍ですか。

答え

(6) 直径64cmの円の面積に使う半径は何cmですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

円の面積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 1607.68cm²

円全体の面積の半分。

(2) 854.865cm²

円全体の面積を4でわります。

(3) 414.48cm²

大きい円の面積−小さい円の面積。

(4) 880.64cm²

正方形の面積−円の面積。

(5) 9倍

半径を2回かけるので、3×3倍。

(6) 32cm

直径を2でわって半径にします。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

円の面積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 円の面積＝半径×半径×円周率。円周率は3.14とします。図は実際の長さではありません。

例 直径10cmなら半径は5cm。面積は5×5×3.14＝78.5cm²です。

(1) 半径33cmの半円の面積を求めましょう。

答え

(2) 半径34cmの円の$\frac{1}{4}$の面積を求めましょう。

答え

(3) 半径35cmの円から、同じ中心の半径33cmの円をくり抜きます。残りの面積を求めましょう。

答え

(4) 一辺66cmの正方形に直径66cmの円がぴったり入ります。円の外側の面積を求めましょう。

答え

(5) 半径33cmの円の半径を3倍にすると、面積は何倍ですか。

答え

(6) 直径66cmの円の面積に使う半径は何cmですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

円の面積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 1709.73cm²

円全体の面積の半分。

(2) 907.46cm²

円全体の面積を4でわります。

(3) 427.04cm²

大きい円の面積−小さい円の面積。

(4) 936.54cm²

正方形の面積−円の面積。

(5) 9倍

半径を2回かけるので、3×3倍。

(6) 33cm

直径を2でわって半径にします。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

角柱と円柱の体積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 角柱・円柱の体積＝底面積×高さ。円周率は3.14。図は実際の長さではありません。

例 底面が底辺6cm、高さ4cmの三角形、柱の高さが10cmなら、(6×4÷2)×10＝120cm³。

(1) 底面積12cm²、高さ5cmの角柱の体積を求めましょう。

答え

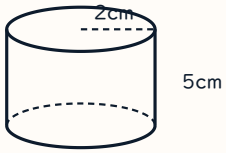
(2) 底面積35cm²、高さ8cmの角柱の体積を求めましょう。

答え

(3) 底面は底辺6cm、高さ4cmの三角形です。柱の高さが9cmの三角柱の体積を求めましょう。

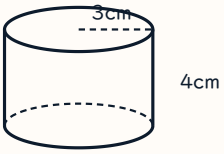
答え

(4) 底面の半径2cm、高さ5cmの円柱の体積を求めましょう。



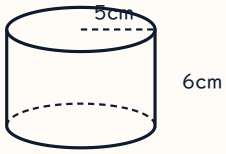
答え

(5) 底面の半径3cm、高さ4cmの円柱の体積を求めましょう。



答え

(6) 底面の半径5cm、高さ6cmの円柱の体積を求めましょう。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

角柱と円柱の体積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 60cm³

底面積×高さ。

(2) 280cm³

底面積×高さ。

(3) 108cm³

三角形の底面積は12cm²。これに柱の高さ9cmをかけます。

(4) 62.8cm³

底面積2×2×3.14に、高さ5をかけます。

(5) 113.04cm³

底面積3×3×3.14に、高さ4をかけます。

(6) 471cm³

底面積5×5×3.14に、高さ6をかけます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

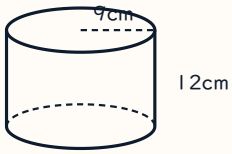
角柱と円柱の体積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 角柱・円柱の体積＝底面積×高さ。円周率は3.14。図は実際の長さではありません。

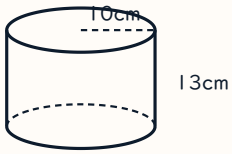
例 底面が底辺6cm、高さ4cmの三角形、柱の高さが10cmなら、(6×4÷2)×10＝120cm³。

(1) 底面の半径9cm、高さ12cmの円柱の体積を求めましょう。



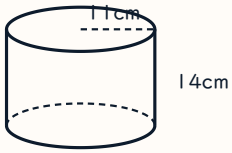
答え

(2) 底面の半径10cm、高さ13cmの円柱の体積を求めましょう。



答え

(3) 底面の半径11cm、高さ14cmの円柱の体積を求めましょう。



答え

(4) 底面積45cm²、高さ12cmの角柱の体積を求めましょう。

答え

(5) 底面の三角形の底辺18cm、高さ3cm、柱の高さ12cmの体積を求めましょう。

答え

(6) 体積432cm³、底面積36cm²の角柱の高さを求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

角柱と円柱の体積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 3052.08cm³

底面積9×9×3.14に、高さ12をかけます。

(2) 4082cm³

底面積10×10×3.14に、高さ13をかけます。

(3) 5319.16cm³

底面積11×11×3.14に、高さ14をかけます。

(4) 540cm³

底面積×高さ。

(5) 324cm³

三角形の面積を求めてから、柱の高さをかけます。

(6) 12cm

体積÷底面積。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

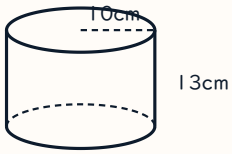
角柱と円柱の体積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 角柱・円柱の体積＝底面積×高さ。円周率は3.14。図は実際の長さではありません。

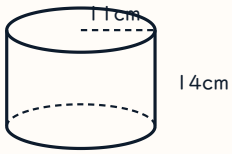
例 底面が底辺6cm、高さ4cmの三角形、柱の高さが10cmなら、(6×4÷2)×10＝120cm³。

(1) 底面の半径10cm、高さ13cmの円柱の体積を求めましょう。



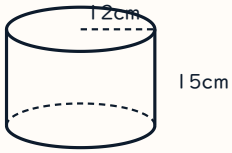
答え

(2) 底面の半径11cm、高さ14cmの円柱の体積を求めましょう。



答え

(3) 底面の半径12cm、高さ15cmの円柱の体積を求めましょう。



答え

(4) 底面積50cm²、高さ13cmの角柱の体積を求めましょう。

答え

(5) 底面の三角形の底辺20cm、高さ3cm、柱の高さ13cmの体積を求めましょう。

答え

(6) 体積520cm³、底面積40cm²の角柱の高さを求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

角柱と円柱の体積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 4082cm³

底面積10×10×3.14に、高さ13をかけます。

(2) 5319.16cm³

底面積11×11×3.14に、高さ14をかけます。

(3) 6782.4cm³

底面積12×12×3.14に、高さ15をかけます。

(4) 650cm³

底面積×高さ。

(5) 390cm³

三角形の面積を求めてから、柱の高さをかけます。

(6) 13cm

体積÷底面積。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

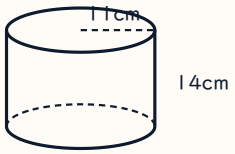
角柱と円柱の体積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 角柱・円柱の体積＝底面積×高さ。円周率は3.14。図は実際の長さではありません。

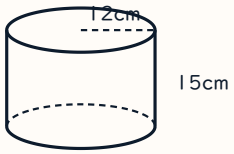
例 底面が底辺6cm、高さ4cmの三角形、柱の高さが10cmなら、(6×4÷2)×10＝120cm³。

(1) 底面の半径11cm、高さ14cmの円柱の体積を求めましょう。



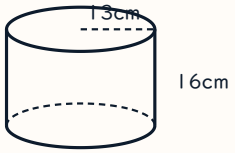
答え

(2) 底面の半径12cm、高さ15cmの円柱の体積を求めましょう。



答え

(3) 底面の半径13cm、高さ16cmの円柱の体積を求めましょう。



答え

(4) 底面積55cm²、高さ14cmの角柱の体積を求めましょう。

答え

(5) 底面の三角形の底辺22cm、高さ3cm、柱の高さ14cmの体積を求めましょう。

答え

(6) 体積616cm³、底面積44cm²の角柱の高さを求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

角柱と円柱の体積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 5319.16cm³

底面積11×11×3.14に、高さ14をかけます。

(2) 6782.4cm³

底面積12×12×3.14に、高さ15をかけます。

(3) 8490.56cm³

底面積13×13×3.14に、高さ16をかけます。

(4) 770cm³

底面積×高さ。

(5) 462cm³

三角形の面積を求めてから、柱の高さをかけます。

(6) 14cm

体積÷底面積。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

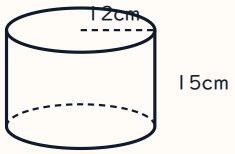
角柱と円柱の体積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 角柱・円柱の体積＝底面積×高さ。円周率は3.14。図は実際の長さではありません。

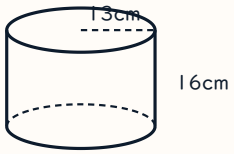
例 底面が底辺6cm、高さ4cmの三角形、柱の高さが10cmなら、(6×4÷2)×10＝120cm³。

(1) 底面の半径12cm、高さ15cmの円柱の体積を求めましょう。



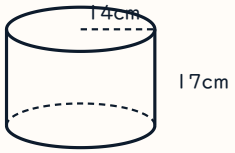
答え

(2) 底面の半径13cm、高さ16cmの円柱の体積を求めましょう。



答え

(3) 底面の半径14cm、高さ17cmの円柱の体積を求めましょう。



答え

(4) 底面積60cm²、高さ15cmの角柱の体積を求めましょう。

答え

(5) 底面の三角形の底辺24cm、高さ3cm、柱の高さ15cmの体積を求めましょう。

答え

(6) 体積720cm³、底面積48cm²の角柱の高さを求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

角柱と円柱の体積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 6782.4cm³

底面積12×12×3.14に、高さ15をかけます。

(2) 8490.56cm³

底面積13×13×3.14に、高さ16をかけます。

(3) 10462.48cm³

底面積14×14×3.14に、高さ17をかけます。

(4) 900cm³

底面積×高さ。

(5) 540cm³

三角形の面積を求めてから、柱の高さをかけます。

(6) 15cm

体積÷底面積。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

角柱と円柱の体積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 角柱・円柱の体積＝底面積×高さ。円周率は3.14。図は実際の長さではありません。

例 底面が底辺6cm、高さ4cmの三角形、柱の高さが10cmなら、(6×4÷2)×10＝120cm³。

(1) 体積180cm³、底面積30cm²の角柱の高さは何cmですか。

答え

(2) 円柱の底面の直径は8cm、高さは10cmです。体積を求めましょう。

答え

(3) 底面が三角形の柱で、底辺6cm、底面の三角形の高さ4cm、柱の高さ8cmです。「6×4×8」でよいですか。正しく求めましょう。

答え

(4) 底面積が20cm²の角柱を、高さ3cmと高さ7cmに切り分けます。2つの体積の合計は何cm³ですか。

答え

(5) 半径2cm、高さ5cmの円柱の高さだけを3倍にします。体積はもとの何倍ですか。

答え

(6) 底面積50cm²の容器に300cm³の水を入れます。底面に垂直な側面で、水の深さは何cmですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

角柱と円柱の体積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 6cm

高さ＝体積÷底面積。

(2) 502.4cm³

直径の半分の4cmを半径として使います。

(3) 96cm³

三角形の底面積には÷2が必要。(6×4÷2)×8＝96。

(4) 200cm³

同じ底面積なので、20×3+20×7、または20×10。

(5) 3倍

底面積は同じで、高さだけが3倍なので体積も3倍。

(6) 6cm

水の体積＝底面積×深さ。300÷50。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

角柱と円柱の体積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 角柱・円柱の体積＝底面積×高さ。円周率は3.14。図は実際の長さではありません。

例 底面が底辺6cm、高さ4cmの三角形、柱の高さが10cmなら、(6×4÷2)×10＝120cm³。

(1) 底面の半径13cmの円柱形の容器に、深さ16cmまで水を入れます。水の体積を求めましょう。

答え

(2) 体積2080cm³、底面積130cm²の箱の高さを求めましょう。

答え

(3) 円柱の底面の直径26cm、高さ18cmです。体積を求めましょう。

答え

(4) 底面積78cm²の角柱を高さ3cmと16cmに分けます。体積の合計を求めましょう。

答え

(5) 半径13cm、高さ16cmの円柱の高さだけを2倍にすると、体積は何倍ですか。

答え

(6) 底面が三角形の柱で、底辺26cm、高さ3cmをかけた数は底面積ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

角柱と円柱の体積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 8490.56cm³

底面積×水の深さ。

(2) 16cm

体積÷底面積。

(3) 9551.88cm³

直径の半分を半径として底面積を求めます。

(4) 1482cm³

同じ底面積に高さの合計をかけます。

(5) 2倍

底面積は変わらず、高さだけが2倍になります。

(6) まだ底面積ではない

三角形の面積には、さらに÷2が必要です。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

角柱と円柱の体積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 角柱・円柱の体積＝底面積×高さ。円周率は3.14。図は実際の長さではありません。

例 底面が底辺6cm、高さ4cmの三角形、柱の高さが10cmなら、(6×4÷2)×10＝120cm³。

(1) 底面の半径14cmの円柱形の容器に、深さ17cmまで水を入れます。水の体積を求めましょう。

答え

(2) 体積2380cm³、底面積140cm²の箱の高さを求めましょう。

答え

(3) 円柱の底面の直径28cm、高さ19cmです。体積を求めましょう。

答え

(4) 底面積84cm²の角柱を高さ3cmと17cmに分けます。体積の合計を求めましょう。

答え

(5) 半径14cm、高さ17cmの円柱の高さだけを2倍にすると、体積は何倍ですか。

答え

(6) 底面が三角形の柱で、底辺28cm、高さ3cmをかけた数は底面積ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

角柱と円柱の体積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 10462.48cm³

底面積×水の深さ。

(2) 17cm

体積÷底面積。

(3) 11693.36cm³

直径の半分を半径として底面積を求めます。

(4) 1680cm³

同じ底面積に高さの合計をかけます。

(5) 2倍

底面積は変わらず、高さだけが2倍になります。

(6) まだ底面積ではない

三角形の面積には、さらに÷2が必要です。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

角柱と円柱の体積

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 角柱・円柱の体積＝底面積×高さ。円周率は3.14。図は実際の長さではありません。

例 底面が底辺6cm、高さ4cmの三角形、柱の高さが10cmなら、(6×4÷2)×10＝120cm³。

(1) 底面の半径15cmの円柱形の容器に、深さ18cmまで水を入れます。水の体積を求めましょう。

答え

(2) 体積2700cm³、底面積150cm²の箱の高さを求めましょう。

答え

(3) 円柱の底面の直径30cm、高さ20cmです。体積を求めましょう。

答え

(4) 底面積90cm²の角柱を高さ3cmと18cmに分けます。体積の合計を求めましょう。

答え

(5) 半径15cm、高さ18cmの円柱の高さだけを2倍にすると、体積は何倍ですか。

答え

(6) 底面が三角形の柱で、底辺30cm、高さ3cmをかけた数は底面積ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6　できた問題に○を付けましょう。

角柱と円柱の体積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 12717cm³

底面積×水の深さ。

(2) 18cm

体積÷底面積。

(3) 14130cm³

直径の半分を半径として底面積を求めます。

(4) 1890cm³

同じ底面積に高さの合計をかけます。

(5) 2倍

底面積は変わらず、高さだけが2倍になります。

(6) まだ底面積ではない

三角形の面積には、さらに÷2が必要です。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

角柱と円柱の体積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 角柱・円柱の体積＝底面積×高さ。円周率は3.14。図は実際の長さではありません。

例 底面が底辺6cm、高さ4cmの三角形、柱の高さが10cmなら、(6×4÷2)×10＝120cm³。

(1) 底面の半径16cmの円柱形の容器に、深さ19cmまで水を入れます。水の体積を求めましょう。

答え

(2) 体積3040cm³、底面積160cm²の箱の高さを求めましょう。

答え

(3) 円柱の底面の直径32cm、高さ21cmです。体積を求めましょう。

答え

(4) 底面積96cm²の角柱を高さ3cmと19cmに分けます。体積の合計を求めましょう。

答え

(5) 半径16cm、高さ19cmの円柱の高さだけを2倍にすると、体積は何倍ですか。

答え

(6) 底面が三角形の柱で、底辺32cm、高さ3cmをかけた数は底面積ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

角柱と円柱の体積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 15272.96cm³

底面積×水の深さ。

(2) 19cm

体積÷底面積。

(3) 16880.64cm³

直径の半分を半径として底面積を求めます。

(4) 2112cm³

同じ底面積に高さの合計をかけます。

(5) 2倍

底面積は変わらず、高さだけが2倍になります。

(6) まだ底面積ではない

三角形の面積には、さらに÷2が必要です。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

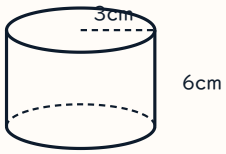
角柱と円柱の体積

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 角柱・円柱の体積＝底面積×高さ。円周率は3.14。図は実際の長さではありません。

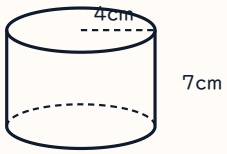
例 底面が底辺6cm、高さ4cmの三角形、柱の高さが10cmなら、(6×4÷2)×10＝120cm³。

(1) 底面の半径3cm、高さ6cmの円柱の体積を求めましょう。



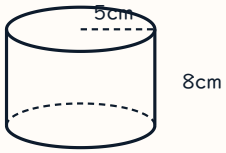
答え

(2) 底面の半径4cm、高さ7cmの円柱の体積を求めましょう。



答え

(3) 底面の半径5cm、高さ8cmの円柱の体積を求めましょう。



答え

(4) 底面積15cm²、高さ6cmの角柱の体積を求めましょう。

答え

(5) 底面の三角形の底辺6cm、高さ3cm、柱の高さ6cmの体積を求めましょう。

答え

(6) 体積72cm³、底面積12cm²の角柱の高さを求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6　できた問題に○を付けましょう。

角柱と円柱の体積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 169.56cm³

底面積3×3×3.14に、高さ6をかけます。

(2) 351.68cm³

底面積4×4×3.14に、高さ7をかけます。

(3) 628cm³

底面積5×5×3.14に、高さ8をかけます。

(4) 90cm³

底面積×高さ。

(5) 54cm³

三角形の面積を求めてから、柱の高さをかけます。

(6) 6cm

体積÷底面積。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

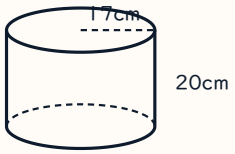
角柱と円柱の体積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 角柱・円柱の体積＝底面積×高さ。円周率は3.14。図は実際の長さではありません。

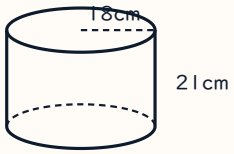
例 底面が底辺6cm、高さ4cmの三角形、柱の高さが10cmなら、(6×4÷2)×10＝120cm³。

(1) 底面の半径17cm、高さ20cmの円柱の体積を求めましょう。



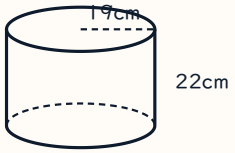
答え

(2) 底面の半径18cm、高さ21cmの円柱の体積を求めましょう。



答え

(3) 底面の半径19cm、高さ22cmの円柱の体積を求めましょう。



答え

(4) 底面積85cm²、高さ20cmの角柱の体積を求めましょう。

答え

(5) 底面の三角形の底辺34cm、高さ3cm、柱の高さ20cmの体積を求めましょう。

答え

(6) 体積1360cm³、底面積68cm²の角柱の高さを求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

角柱と円柱の体積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 18149.2cm³

底面積17×17×3.14に、高さ20をかけます。

(2) 21364.56cm³

底面積18×18×3.14に、高さ21をかけます。

(3) 24937.88cm³

底面積19×19×3.14に、高さ22をかけます。

(4) 1700cm³

底面積×高さ。

(5) 1020cm³

三角形の面積を求めてから、柱の高さをかけます。

(6) 20cm

体積÷底面積。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

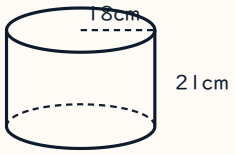
角柱と円柱の体積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 角柱・円柱の体積＝底面積×高さ。円周率は3.14。図は実際の長さではありません。

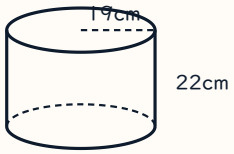
例 底面が底辺6cm、高さ4cmの三角形、柱の高さが10cmなら、(6×4÷2)×10＝120cm³。

(1) 底面の半径18cm、高さ21cmの円柱の体積を求めましょう。



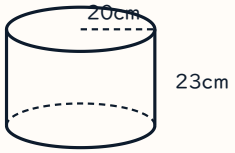
答え

(2) 底面の半径19cm、高さ22cmの円柱の体積を求めましょう。



答え

(3) 底面の半径20cm、高さ23cmの円柱の体積を求めましょう。



答え

(4) 底面積90cm²、高さ21cmの角柱の体積を求めましょう。

答え

(5) 底面の三角形の底辺36cm、高さ3cm、柱の高さ21cmの体積を求めましょう。

答え

(6) 体積1512cm³、底面積72cm²の角柱の高さを求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

角柱と円柱の体積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 21364.56cm³

底面積18×18×3.14に、高さ21をかけます。

(2) 24937.88cm³

底面積19×19×3.14に、高さ22をかけます。

(3) 28888cm³

底面積20×20×3.14に、高さ23をかけます。

(4) 1890cm³

底面積×高さ。

(5) 1134cm³

三角形の面積を求めてから、柱の高さをかけます。

(6) 21cm

体積÷底面積。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

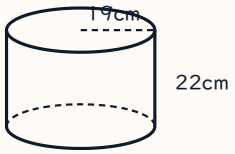
角柱と円柱の体積

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 角柱・円柱の体積＝底面積×高さ。円周率は3.14。図は実際の長さではありません。

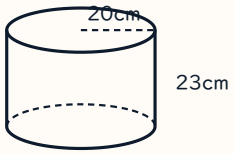
例 底面が底辺6cm、高さ4cmの三角形、柱の高さが10cmなら、(6×4÷2)×10＝120cm³。

(1) 底面の半径19cm、高さ22cmの円柱の体積を求めましょう。



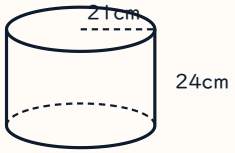
答え

(2) 底面の半径20cm、高さ23cmの円柱の体積を求めましょう。



答え

(3) 底面の半径21cm、高さ24cmの円柱の体積を求めましょう。



答え

(4) 底面積95cm²、高さ22cmの角柱の体積を求めましょう。

答え

(5) 底面の三角形の底辺38cm、高さ3cm、柱の高さ22cmの体積を求めましょう。

答え

(6) 体積1672cm³、底面積76cm²の角柱の高さを求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

角柱と円柱の体積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 24937.88cm³

底面積19×19×3.14に、高さ22をかけます。

(2) 28888cm³

底面積20×20×3.14に、高さ23をかけます。

(3) 33233.76cm³

底面積21×21×3.14に、高さ24をかけます。

(4) 2090cm³

底面積×高さ。

(5) 1254cm³

三角形の面積を求めてから、柱の高さをかけます。

(6) 22cm

体積÷底面積。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

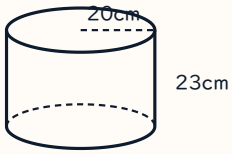
角柱と円柱の体積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 角柱・円柱の体積＝底面積×高さ。円周率は3.14。図は実際の長さではありません。

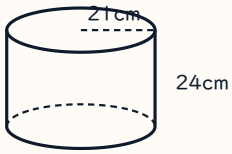
例 底面が底辺6cm、高さ4cmの三角形、柱の高さが10cmなら、(6×4÷2)×10＝120cm³。

(1) 底面の半径20cm、高さ23cmの円柱の体積を求めましょう。



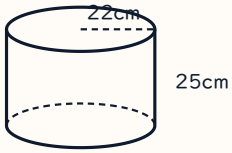
答え

(2) 底面の半径21cm、高さ24cmの円柱の体積を求めましょう。



答え

(3) 底面の半径22cm、高さ25cmの円柱の体積を求めましょう。



答え

(4) 底面積100cm²、高さ23cmの角柱の体積を求めましょう。

答え

(5) 底面の三角形の底辺40cm、高さ3cm、柱の高さ23cmの体積を求めましょう。

答え

(6) 体積1840cm³、底面積80cm²の角柱の高さを求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

角柱と円柱の体積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 28888cm³

底面積20×20×3.14に、高さ23をかけます。

(2) 33233.76cm³

底面積21×21×3.14に、高さ24をかけます。

(3) 37994cm³

底面積22×22×3.14に、高さ25をかけます。

(4) 2300cm³

底面積×高さ。

(5) 1380cm³

三角形の面積を求めてから、柱の高さをかけます。

(6) 23cm

体積÷底面積。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

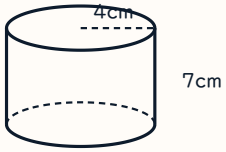
角柱と円柱の体積

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 角柱・円柱の体積＝底面積×高さ。円周率は3.14。図は実際の長さではありません。

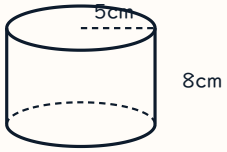
例 底面が底辺6cm、高さ4cmの三角形、柱の高さが10cmなら、(6×4÷2)×10＝120cm³。

(1) 底面の半径4cm、高さ7cmの円柱の体積を求めましょう。



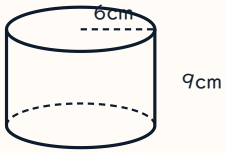
答え

(2) 底面の半径5cm、高さ8cmの円柱の体積を求めましょう。



答え

(3) 底面の半径6cm、高さ9cmの円柱の体積を求めましょう。



答え

(4) 底面積20cm²、高さ7cmの角柱の体積を求めましょう。

答え

(5) 底面の三角形の底辺8cm、高さ3cm、柱の高さ7cmの体積を求めましょう。

答え

(6) 体積112cm³、底面積16cm²の角柱の高さを求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6　できた問題に○を付けましょう。

角柱と円柱の体積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 351.68cm³

底面積4×4×3.14に、高さ7をかけます。

(2) 628cm³

底面積5×5×3.14に、高さ8をかけます。

(3) 1017.36cm³

底面積6×6×3.14に、高さ9をかけます。

(4) 140cm³

底面積×高さ。

(5) 84cm³

三角形の面積を求めてから、柱の高さをかけます。

(6) 7cm

体積÷底面積。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

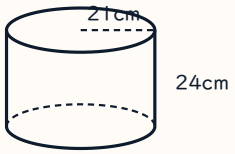
角柱と円柱の体積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 角柱・円柱の体積＝底面積×高さ。円周率は3.14。図は実際の長さではありません。

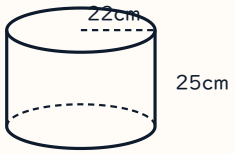
例 底面が底辺6cm、高さ4cmの三角形、柱の高さが10cmなら、(6×4÷2)×10＝120cm³。

(1) 底面の半径21cm、高さ24cmの円柱の体積を求めましょう。



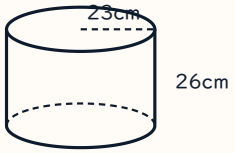
答え

(2) 底面の半径22cm、高さ25cmの円柱の体積を求めましょう。



答え

(3) 底面の半径23cm、高さ26cmの円柱の体積を求めましょう。



答え

(4) 底面積105cm²、高さ24cmの角柱の体積を求めましょう。

答え

(5) 底面の三角形の底辺42cm、高さ3cm、柱の高さ24cmの体積を求めましょう。

答え

(6) 体積2016cm³、底面積84cm²の角柱の高さを求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

角柱と円柱の体積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 33233.76cm³

底面積21×21×3.14に、高さ24をかけます。

(2) 37994cm³

底面積22×22×3.14に、高さ25をかけます。

(3) 43187.56cm³

底面積23×23×3.14に、高さ26をかけます。

(4) 2520cm³

底面積×高さ。

(5) 1512cm³

三角形の面積を求めてから、柱の高さをかけます。

(6) 24cm

体積÷底面積。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

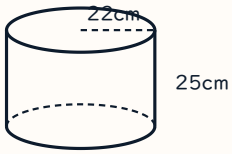
角柱と円柱の体積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 角柱・円柱の体積＝底面積×高さ。円周率は3.14。図は実際の長さではありません。

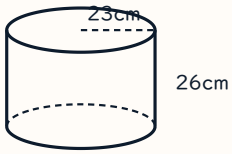
例 底面が底辺6cm、高さ4cmの三角形、柱の高さが10cmなら、(6×4÷2)×10＝120cm³。

(1) 底面の半径22cm、高さ25cmの円柱の体積を求めましょう。



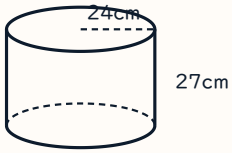
答え

(2) 底面の半径23cm、高さ26cmの円柱の体積を求めましょう。



答え

(3) 底面の半径24cm、高さ27cmの円柱の体積を求めましょう。



答え

(4) 底面積110cm²、高さ25cmの角柱の体積を求めましょう。

答え

(5) 底面の三角形の底辺44cm、高さ3cm、柱の高さ25cmの体積を求めましょう。

答え

(6) 体積2200cm³、底面積88cm²の角柱の高さを求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

角柱と円柱の体積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 37994cm³

底面積22×22×3.14に、高さ25をかけます。

(2) 43187.56cm³

底面積23×23×3.14に、高さ26をかけます。

(3) 48833.28cm³

底面積24×24×3.14に、高さ27をかけます。

(4) 2750cm³

底面積×高さ。

(5) 1650cm³

三角形の面積を求めてから、柱の高さをかけます。

(6) 25cm

体積÷底面積。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

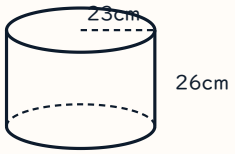
角柱と円柱の体積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 角柱・円柱の体積＝底面積×高さ。円周率は3.14。図は実際の長さではありません。

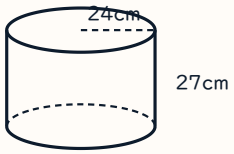
例 底面が底辺6cm、高さ4cmの三角形、柱の高さが10cmなら、(6×4÷2)×10＝120cm³。

(1) 底面の半径23cm、高さ26cmの円柱の体積を求めましょう。



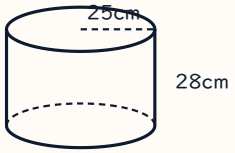
答え

(2) 底面の半径24cm、高さ27cmの円柱の体積を求めましょう。



答え

(3) 底面の半径25cm、高さ28cmの円柱の体積を求めましょう。



答え

(4) 底面積115cm²、高さ26cmの角柱の体積を求めましょう。

答え

(5) 底面の三角形の底辺46cm、高さ3cm、柱の高さ26cmの体積を求めましょう。

答え

(6) 体積2392cm³、底面積92cm²の角柱の高さを求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

角柱と円柱の体積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 43187.56cm³

底面積23×23×3.14に、高さ26をかけます。

(2) 48833.28cm³

底面積24×24×3.14に、高さ27をかけます。

(3) 54950cm³

底面積25×25×3.14に、高さ28をかけます。

(4) 2990cm³

底面積×高さ。

(5) 1794cm³

三角形の面積を求めてから、柱の高さをかけます。

(6) 26cm

体積÷底面積。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

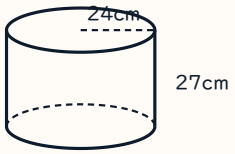
角柱と円柱の体積

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 角柱・円柱の体積＝底面積×高さ。円周率は3.14。図は実際の長さではありません。

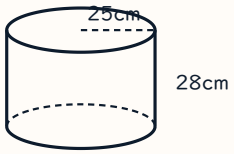
例 底面が底辺6cm、高さ4cmの三角形、柱の高さが10cmなら、(6×4÷2)×10＝120cm³。

(1) 底面の半径24cm、高さ27cmの円柱の体積を求めましょう。



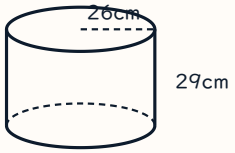
答え

(2) 底面の半径25cm、高さ28cmの円柱の体積を求めましょう。



答え

(3) 底面の半径26cm、高さ29cmの円柱の体積を求めましょう。



答え

(4) 底面積120cm²、高さ27cmの角柱の体積を求めましょう。

答え

(5) 底面の三角形の底辺48cm、高さ3cm、柱の高さ27cmの体積を求めましょう。

答え

(6) 体積2592cm³、底面積96cm²の角柱の高さを求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

角柱と円柱の体積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 48833.28cm³

底面積24×24×3.14に、高さ27をかけます。

(2) 54950cm³

底面積25×25×3.14に、高さ28をかけます。

(3) 61556.56cm³

底面積26×26×3.14に、高さ29をかけます。

(4) 3240cm³

底面積×高さ。

(5) 1944cm³

三角形の面積を求めてから、柱の高さをかけます。

(6) 27cm

体積÷底面積。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

角柱と円柱の体積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 角柱・円柱の体積＝底面積×高さ。円周率は3.14。図は実際の長さではありません。

例 底面が底辺6cm、高さ4cmの三角形、柱の高さが10cmなら、(6×4÷2)×10＝120cm³。

(1) 底面の半径5cmの円柱形の容器に、深さ8cmまで水を入れます。水の体積を求めましょう。

答え

(2) 体積400cm³、底面積50cm²の箱の高さを求めましょう。

答え

(3) 円柱の底面の直径10cm、高さ10cmです。体積を求めましょう。

答え

(4) 底面積30cm²の角柱を高さ3cmと8cmに分けます。体積の合計を求めましょう。

答え

(5) 半径5cm、高さ8cmの円柱の高さだけを2倍にすると、体積は何倍ですか。

答え

(6) 底面が三角形の柱で、底辺10cm、高さ3cmをかけた数は底面積ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

角柱と円柱の体積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 628cm³

底面積×水の深さ。

(2) 8cm

体積÷底面積。

(3) 785cm³

直径の半分を半径として底面積を求めます。

(4) 330cm³

同じ底面積に高さの合計をかけます。

(5) 2倍

底面積は変わらず、高さだけが2倍になります。

(6) まだ底面積ではない

三角形の面積には、さらに÷2が必要です。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

角柱と円柱の体積

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 角柱・円柱の体積＝底面積×高さ。円周率は3.14。図は実際の長さではありません。

例 底面が底辺6cm、高さ4cmの三角形、柱の高さが10cmなら、(6×4÷2)×10＝120cm³。

(1) 底面の半径25cmの円柱形の容器に、深さ28cmまで水を入れます。水の体積を求めましょう。

答え

(2) 体積7000cm³、底面積250cm²の箱の高さを求めましょう。

答え

(3) 円柱の底面の直径50cm、高さ30cmです。体積を求めましょう。

答え

(4) 底面積150cm²の角柱を高さ3cmと28cmに分けます。体積の合計を求めましょう。

答え

(5) 半径25cm、高さ28cmの円柱の高さだけを2倍にすると、体積は何倍ですか。

答え

(6) 底面が三角形の柱で、底辺50cm、高さ3cmをかけた数は底面積ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

角柱と円柱の体積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 54950cm³

底面積×水の深さ。

(2) 28cm

体積÷底面積。

(3) 58875cm³

直径の半分を半径として底面積を求めます。

(4) 4650cm³

同じ底面積に高さの合計をかけます。

(5) 2倍

底面積は変わらず、高さだけが2倍になります。

(6) まだ底面積ではない

三角形の面積には、さらに÷2が必要です。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

角柱と円柱の体積

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 角柱・円柱の体積＝底面積×高さ。円周率は3.14。図は実際の長さではありません。

例 底面が底辺6cm、高さ4cmの三角形、柱の高さが10cmなら、(6×4÷2)×10＝120cm³。

(1) 底面の半径26cmの円柱形の容器に、深さ29cmまで水を入れます。水の体積を求めましょう。

答え

(2) 体積7540cm³、底面積260cm²の箱の高さを求めましょう。

答え

(3) 円柱の底面の直径52cm、高さ31cmです。体積を求めましょう。

答え

(4) 底面積156cm²の角柱を高さ3cmと29cmに分けます。体積の合計を求めましょう。

答え

(5) 半径26cm、高さ29cmの円柱の高さだけを2倍にすると、体積は何倍ですか。

答え

(6) 底面が三角形の柱で、底辺52cm、高さ3cmをかけた数は底面積ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6　できた問題に○を付けましょう。

角柱と円柱の体積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 61556.56cm³

底面積×水の深さ。

(2) 29cm

体積÷底面積。

(3) 65801.84cm³

直径の半分を半径として底面積を求めます。

(4) 4992cm³

同じ底面積に高さの合計をかけます。

(5) 2倍

底面積は変わらず、高さだけが2倍になります。

(6) まだ底面積ではない

三角形の面積には、さらに÷2が必要です。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

角柱と円柱の体積

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 角柱・円柱の体積＝底面積×高さ。円周率は3.14。図は実際の長さではありません。

例 底面が底辺6cm、高さ4cmの三角形、柱の高さが10cmなら、(6×4÷2)×10＝120cm³。

(1) 底面の半径27cmの円柱形の容器に、深さ30cmまで水を入れます。水の体積を求めましょう。

答え

(2) 体積8100cm³、底面積270cm²の箱の高さを求めましょう。

答え

(3) 円柱の底面の直径54cm、高さ32cmです。体積を求めましょう。

答え

(4) 底面積162cm²の角柱を高さ3cmと30cmに分けます。体積の合計を求めましょう。

答え

(5) 半径27cm、高さ30cmの円柱の高さだけを2倍にすると、体積は何倍ですか。

答え

(6) 底面が三角形の柱で、底辺54cm、高さ3cmをかけた数は底面積ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6　できた問題に○を付けましょう。

角柱と円柱の体積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 68671.8cm³

底面積×水の深さ。

(2) 30cm

体積÷底面積。

(3) 73249.92cm³

直径の半分を半径として底面積を求めます。

(4) 5346cm³

同じ底面積に高さの合計をかけます。

(5) 2倍

底面積は変わらず、高さだけが2倍になります。

(6) まだ底面積ではない

三角形の面積には、さらに÷2が必要です。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

角柱と円柱の体積

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 角柱・円柱の体積＝底面積×高さ。円周率は3.14。図は実際の長さではありません。

例 底面が底辺6cm、高さ4cmの三角形、柱の高さが10cmなら、(6×4÷2)×10＝120cm³。

(1) 底面の半径28cmの円柱形の容器に、深さ31cmまで水を入れます。水の体積を求めましょう。

答え

(2) 体積8680cm³、底面積280cm²の箱の高さを求めましょう。

答え

(3) 円柱の底面の直径56cm、高さ33cmです。体積を求めましょう。

答え

(4) 底面積168cm²の角柱を高さ3cmと31cmに分けます。体積の合計を求めましょう。

答え

(5) 半径28cm、高さ31cmの円柱の高さだけを2倍にすると、体積は何倍ですか。

答え

(6) 底面が三角形の柱で、底辺56cm、高さ3cmをかけた数は底面積ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6　できた問題に○を付けましょう。

角柱と円柱の体積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 76314.56cm³

底面積×水の深さ。

(2) 31cm

体積÷底面積。

(3) 81238.08cm³

直径の半分を半径として底面積を求めます。

(4) 5712cm³

同じ底面積に高さの合計をかけます。

(5) 2倍

底面積は変わらず、高さだけが2倍になります。

(6) まだ底面積ではない

三角形の面積には、さらに÷2が必要です。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

角柱と円柱の体積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 角柱・円柱の体積＝底面積×高さ。円周率は3.14。図は実際の長さではありません。

例 底面が底辺6cm、高さ4cmの三角形、柱の高さが10cmなら、(6×4÷2)×10＝120cm³。

(1) 底面の半径6cmの円柱形の容器に、深さ9cmまで水を入れます。水の体積を求めましょう。

答え

(2) 体積540cm³、底面積60cm²の箱の高さを求めましょう。

答え

(3) 円柱の底面の直径12cm、高さ11cmです。体積を求めましょう。

答え

(4) 底面積36cm²の角柱を高さ3cmと9cmに分けます。体積の合計を求めましょう。

答え

(5) 半径6cm、高さ9cmの円柱の高さだけを2倍にすると、体積は何倍ですか。

答え

(6) 底面が三角形の柱で、底辺12cm、高さ3cmをかけた数は底面積ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

角柱と円柱の体積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 1017.36cm³

底面積×水の深さ。

(2) 9cm

体積÷底面積。

(3) 1243.44cm³

直径の半分を半径として底面積を求めます。

(4) 432cm³

同じ底面積に高さの合計をかけます。

(5) 2倍

底面積は変わらず、高さだけが2倍になります。

(6) まだ底面積ではない

三角形の面積には、さらに÷2が必要です。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

角柱と円柱の体積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 角柱・円柱の体積＝底面積×高さ。円周率は3.14。図は実際の長さではありません。

例 底面が底辺6cm、高さ4cmの三角形、柱の高さが10cmなら、(6×4÷2)×10＝120cm³。

(1) 底面の半径29cmの円柱形の容器に、深さ32cmまで水を入れます。水の体積を求めましょう。

答え

(2) 体積9280cm³、底面積290cm²の箱の高さを求めましょう。

答え

(3) 円柱の底面の直径58cm、高さ34cmです。体積を求めましょう。

答え

(4) 底面積174cm²の角柱を高さ3cmと32cmに分けます。体積の合計を求めましょう。

答え

(5) 半径29cm、高さ32cmの円柱の高さだけを2倍にすると、体積は何倍ですか。

答え

(6) 底面が三角形の柱で、底辺58cm、高さ3cmをかけた数は底面積ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

角柱と円柱の体積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 84503.68cm³

底面積×水の深さ。

(2) 32cm

体積÷底面積。

(3) 89785.16cm³

直径の半分を半径として底面積を求めます。

(4) 6090cm³

同じ底面積に高さの合計をかけます。

(5) 2倍

底面積は変わらず、高さだけが2倍になります。

(6) まだ底面積ではない

三角形の面積には、さらに÷2が必要です。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

角柱と円柱の体積

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 角柱・円柱の体積＝底面積×高さ。円周率は3.14。図は実際の長さではありません。

例 底面が底辺6cm、高さ4cmの三角形、柱の高さが10cmなら、(6×4÷2)×10＝120cm³。

(1) 底面の半径30cmの円柱形の容器に、深さ33cmまで水を入れます。水の体積を求めましょう。

答え

(2) 体積9900cm³、底面積300cm²の箱の高さを求めましょう。

答え

(3) 円柱の底面の直径60cm、高さ35cmです。体積を求めましょう。

答え

(4) 底面積180cm²の角柱を高さ3cmと33cmに分けます。体積の合計を求めましょう。

答え

(5) 半径30cm、高さ33cmの円柱の高さだけを2倍にすると、体積は何倍ですか。

答え

(6) 底面が三角形の柱で、底辺60cm、高さ3cmをかけた数は底面積ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6　できた問題に○を付けましょう。

角柱と円柱の体積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 93258cm³

底面積×水の深さ。

(2) 33cm

体積÷底面積。

(3) 98910cm³

直径の半分を半径として底面積を求めます。

(4) 6480cm³

同じ底面積に高さの合計をかけます。

(5) 2倍

底面積は変わらず、高さだけが2倍になります。

(6) まだ底面積ではない

三角形の面積には、さらに÷2が必要です。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

角柱と円柱の体積

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 角柱・円柱の体積＝底面積×高さ。円周率は3.14。図は実際の長さではありません。

例 底面が底辺6cm、高さ4cmの三角形、柱の高さが10cmなら、(6×4÷2)×10＝120cm³。

(1) 底面の半径31cmの円柱形の容器に、深さ34cmまで水を入れます。水の体積を求めましょう。

答え

(2) 体積10540cm³、底面積310cm²の箱の高さを求めましょう。

答え

(3) 円柱の底面の直径62cm、高さ36cmです。体積を求めましょう。

答え

(4) 底面積186cm²の角柱を高さ3cmと34cmに分けます。体積の合計を求めましょう。

答え

(5) 半径31cm、高さ34cmの円柱の高さだけを2倍にすると、体積は何倍ですか。

答え

(6) 底面が三角形の柱で、底辺62cm、高さ3cmをかけた数は底面積ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

角柱と円柱の体積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 102596.36cm³

底面積×水の深さ。

(2) 34cm

体積÷底面積。

(3) 108631.44cm³

直径の半分を半径として底面積を求めます。

(4) 6882cm³

同じ底面積に高さの合計をかけます。

(5) 2倍

底面積は変わらず、高さだけが2倍になります。

(6) まだ底面積ではない

三角形の面積には、さらに÷2が必要です。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

角柱と円柱の体積

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 角柱・円柱の体積＝底面積×高さ。円周率は3.14。図は実際の長さではありません。

例 底面が底辺6cm、高さ4cmの三角形、柱の高さが10cmなら、(6×4÷2)×10＝120cm³。

(1) 底面の半径32cmの円柱形の容器に、深さ35cmまで水を入れます。水の体積を求めましょう。

答え

(2) 体積11200cm³、底面積320cm²の箱の高さを求めましょう。

答え

(3) 円柱の底面の直径64cm、高さ37cmです。体積を求めましょう。

答え

(4) 底面積192cm²の角柱を高さ3cmと35cmに分けます。体積の合計を求めましょう。

答え

(5) 半径32cm、高さ35cmの円柱の高さだけを2倍にすると、体積は何倍ですか。

答え

(6) 底面が三角形の柱で、底辺64cm、高さ3cmをかけた数は底面積ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

角柱と円柱の体積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 112537.6cm³

底面積×水の深さ。

(2) 35cm

体積÷底面積。

(3) 118968.32cm³

直径の半分を半径として底面積を求めます。

(4) 7296cm³

同じ底面積に高さの合計をかけます。

(5) 2倍

底面積は変わらず、高さだけが2倍になります。

(6) まだ底面積ではない

三角形の面積には、さらに÷2が必要です。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

中央値と最頻値

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 中央値は小さい順で真ん中の値。偶数個なら中央2つの平均。最頻値は最も多く現れる値です。

例 4、7、5、5、9を並べると4、5、5、7、9。中央値も最頻値も5です。

(1) 3、8、5、6、4 の中央値を求めましょう。

答え

(2) 12、8、10、14 の中央値を求めましょう。

答え

(3) 2、3、3、4、5 の最頻値を求めましょう。

答え

(4) 6、8、6、9、8、6 の最頻値を求めましょう。

答え

(5) 20、10、30、15、25 の中央値を求めましょう。

答え

(6) 4、6、4、6、8 の最頻値をすべて求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

中央値と最頻値 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 5

3、4、5、6、8と並べると、中央の3番目は5。

(2) 11

8、10、12、14。中央2つの10と12の平均は11。

(3) 3

3が2回で、最も多く出ています。

(4) 6

6が3回、8が2回、9が1回です。

(5) 20

10、15、20、25、30と並べ、中央の値を選びます。

(6) 4と6

4も6も2回で最多です。最頻値は一つとは限りません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

中央値と最頻値

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 中央値は小さい順で真ん中の値。偶数個なら中央2つの平均。最頻値は最も多く現れる値です。

例 4、7、5、5、9を並べると4、5、5、7、9。中央値も最頻値も5です。

(1) データが20、15、18、17、16です。中央値を求めましょう。

答え

(2) データが21、15、17、19です。中央値を求めましょう。

答え

(3) データが15、16、15、17、15です。最頻値をすべて求めましょう。

答え

(4) データが17、15、17、15、19です。最頻値をすべて求めましょう。

答え

(5) データが24、15、16です。中央値を求めましょう。

答え

(6) データが16、20、18、22です。中央値を求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

中央値と最頻値 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 17

小さい順は15、16、17、18、20。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(2) 18

小さい順は15、17、19、21。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(3) 15

小さい順は15、15、15、16、17。最も多く現れる値をすべて選びます。

(4) 15と17

小さい順は15、15、17、17、19。最も多く現れる値をすべて選びます。

(5) 16

小さい順は15、16、24。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(6) 19

小さい順は16、18、20、22。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

中央値と最頻値

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 中央値は小さい順で真ん中の値。偶数個なら中央2つの平均。最頻値は最も多く現れる値です。

例 4、7、5、5、9を並べると4、5、5、7、9。中央値も最頻値も5です。

(1) データが21、16、19、18、17です。中央値を求めましょう。

答え

(2) データが22、16、18、20です。中央値を求めましょう。

答え

(3) データが16、17、16、18、16です。最頻値をすべて求めましょう。

答え

(4) データが18、16、18、16、20です。最頻値をすべて求めましょう。

答え

(5) データが25、16、17です。中央値を求めましょう。

答え

(6) データが17、21、19、23です。中央値を求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

中央値と最頻値 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 18

小さい順は16、17、18、19、21。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(2) 19

小さい順は16、18、20、22。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(3) 16

小さい順は16、16、16、17、18。最も多く現れる値をすべて選びます。

(4) 16と18

小さい順は16、16、18、18、20。最も多く現れる値をすべて選びます。

(5) 17

小さい順は16、17、25。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(6) 20

小さい順は17、19、21、23。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

中央値と最頻値

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 中央値は小さい順で真ん中の値。偶数個なら中央2つの平均。最頻値は最も多く現れる値です。

例 4、7、5、5、9を並べると4、5、5、7、9。中央値も最頻値も5です。

(1) データが22、17、20、19、18です。中央値を求めましょう。

答え

(2) データが23、17、19、21です。中央値を求めましょう。

答え

(3) データが17、18、17、19、17です。最頻値をすべて求めましょう。

答え

(4) データが19、17、19、17、21です。最頻値をすべて求めましょう。

答え

(5) データが26、17、18です。中央値を求めましょう。

答え

(6) データが18、22、20、24です。中央値を求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

中央値と最頻値 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 19

小さい順は17、18、19、20、22。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(2) 20

小さい順は17、19、21、23。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(3) 17

小さい順は17、17、17、18、19。最も多く現れる値をすべて選びます。

(4) 17と19

小さい順は17、17、19、19、21。最も多く現れる値をすべて選びます。

(5) 18

小さい順は17、18、26。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(6) 21

小さい順は18、20、22、24。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

中央値と最頻値

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 中央値は小さい順で真ん中の値。偶数個なら中央2つの平均。最頻値は最も多く現れる値です。

例 4、7、5、5、9を並べると4、5、5、7、9。中央値も最頻値も5です。

(1) データが23、18、21、20、19です。中央値を求めましょう。

答え

(2) データが24、18、20、22です。中央値を求めましょう。

答え

(3) データが18、19、18、20、18です。最頻値をすべて求めましょう。

答え

(4) データが20、18、20、18、22です。最頻値をすべて求めましょう。

答え

(5) データが27、18、19です。中央値を求めましょう。

答え

(6) データが19、23、21、25です。中央値を求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

中央値と最頻値 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 20

小さい順は18、19、20、21、23。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(2) 21

小さい順は18、20、22、24。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(3) 18

小さい順は18、18、18、19、20。最も多く現れる値をすべて選びます。

(4) 18と20

小さい順は18、18、20、20、22。最も多く現れる値をすべて選びます。

(5) 19

小さい順は18、19、27。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(6) 22

小さい順は19、21、23、25。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

中央値と最頻値

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 中央値は小さい順で真ん中の値。偶数個なら中央2つの平均。最頻値は最も多く現れる値です。

例 4、7、5、5、9を並べると4、5、5、7、9。中央値も最頻値も5です。

(1) 読書時間は10、20、15、20、60分でした。中央値を求めましょう。

答え

(2) テストの点数が50、70、80、90点でした。中央値を求めましょう。

答え

(3) くつのサイズが22、23、22、24、23、22cmでした。最頻値は何cmですか。

答え

(4) 「9、1、6の中央値は、書かれた順で真ん中の1」としました。正しく直しましょう。

答え

(5) 読書時間が5、5、5、5、30分でした。平均と中央値を求めましょう。

答え

(6) 平均が同じなら、どのグループも値のばらつきは同じですか。0、10と5、5を例に説明しましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

中央値と最頻値 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 20分

10、15、20、20、60。大きい値が一つあっても、中央の値を選びます。

(2) 75点

データは4個。中央の70と80の平均、(70+80)÷2=75。

(3) 22cm

22cmが3人で最も多いです。

(4) 6

小さい順の1、6、9に並べてから真ん中を見ます。

(5) 平均10分、中央値5分

平均は(5+5+5+5+30)÷5=10。中央値は並べた中央の5。

(6) 同じではない

どちらも平均は5ですが、0、10は値に差があり、5、5は差がありません。平均だけではわかりません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

中央値と最頻値

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 中央値は小さい順で真ん中の値。偶数個なら中央2つの平均。最頻値は最も多く現れる値です。

例 4、7、5、5、9を並べると4、5、5、7、9。中央値も最頻値も5です。

(1) 読書時間（分）が24、19、22、21、20です。中央値を求めましょう。

答え

(2) 読書時間（分）が25、19、21、23です。中央値を求めましょう。

答え

(3) 読書時間（分）が19、20、19、21、19です。最頻値をすべて求めましょう。

答え

(4) 読書時間（分）が21、19、21、19、23です。最頻値をすべて求めましょう。

答え

(5) 読書時間（分）が28、19、20です。中央値を求めましょう。

答え

(6) 読書時間（分）が20、24、22、26です。中央値を求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

中央値と最頻値 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 21分

小さい順は19、20、21、22、24。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(2) 22分

小さい順は19、21、23、25。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(3) 19分

小さい順は19、19、19、20、21。最も多く現れる値をすべて選びます。

(4) 19と21分

小さい順は19、19、21、21、23。最も多く現れる値をすべて選びます。

(5) 20分

小さい順は19、20、28。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(6) 23分

小さい順は20、22、24、26。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

中央値と最頻値

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 中央値は小さい順で真ん中の値。偶数個なら中央2つの平均。最頻値は最も多く現れる値です。

例 4、7、5、5、9を並べると4、5、5、7、9。中央値も最頻値も5です。

(1) 読書時間（分）が25、20、23、22、21です。中央値を求めましょう。

答え

(2) 読書時間（分）が26、20、22、24です。中央値を求めましょう。

答え

(3) 読書時間（分）が20、21、20、22、20です。最頻値をすべて求めましょう。

答え

(4) 読書時間（分）が22、20、22、20、24です。最頻値をすべて求めましょう。

答え

(5) 読書時間（分）が29、20、21です。中央値を求めましょう。

答え

(6) 読書時間（分）が21、25、23、27です。中央値を求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

中央値と最頻値 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 22分

小さい順は20、21、22、23、25。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(2) 23分

小さい順は20、22、24、26。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(3) 20分

小さい順は20、20、20、21、22。最も多く現れる値をすべて選びます。

(4) 20と22分

小さい順は20、20、22、22、24。最も多く現れる値をすべて選びます。

(5) 21分

小さい順は20、21、29。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(6) 24分

小さい順は21、23、25、27。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

中央値と最頻値

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 中央値は小さい順で真ん中の値。偶数個なら中央2つの平均。最頻値は最も多く現れる値です。

例 4、7、5、5、9を並べると4、5、5、7、9。中央値も最頻値も5です。

(1) 読書時間（分）が26、21、24、23、22です。中央値を求めましょう。

答え

(2) 読書時間（分）が27、21、23、25です。中央値を求めましょう。

答え

(3) 読書時間（分）が21、22、21、23、21です。最頻値をすべて求めましょう。

答え

(4) 読書時間（分）が23、21、23、21、25です。最頻値をすべて求めましょう。

答え

(5) 読書時間（分）が30、21、22です。中央値を求めましょう。

答え

(6) 読書時間（分）が22、26、24、28です。中央値を求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

中央値と最頻値 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 23分

小さい順は21、22、23、24、26。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(2) 24分

小さい順は21、23、25、27。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(3) 21分

小さい順は21、21、21、22、23。最も多く現れる値をすべて選びます。

(4) 21と23分

小さい順は21、21、23、23、25。最も多く現れる値をすべて選びます。

(5) 22分

小さい順は21、22、30。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(6) 25分

小さい順は22、24、26、28。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

中央値と最頻値

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 中央値は小さい順で真ん中の値。偶数個なら中央2つの平均。最頻値は最も多く現れる値です。

例 4、7、5、5、9を並べると4、5、5、7、9。中央値も最頻値も5です。

(1) 読書時間（分）が27、22、25、24、23です。中央値を求めましょう。

答え

(2) 読書時間（分）が28、22、24、26です。中央値を求めましょう。

答え

(3) 読書時間（分）が22、23、22、24、22です。最頻値をすべて求めましょう。

答え

(4) 読書時間（分）が24、22、24、22、26です。最頻値をすべて求めましょう。

答え

(5) 読書時間（分）が31、22、23です。中央値を求めましょう。

答え

(6) 読書時間（分）が23、27、25、29です。中央値を求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

中央値と最頻値 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 24分

小さい順は22、23、24、25、27。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(2) 25分

小さい順は22、24、26、28。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(3) 22分

小さい順は22、22、22、23、24。最も多く現れる値をすべて選びます。

(4) 22と24分

小さい順は22、22、24、24、26。最も多く現れる値をすべて選びます。

(5) 23分

小さい順は22、23、31。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(6) 26分

小さい順は23、25、27、29。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

中央値と最頻値

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 中央値は小さい順で真ん中の値。偶数個なら中央2つの平均。最頻値は最も多く現れる値です。

例 4、7、5、5、9を並べると4、5、5、7、9。中央値も最頻値も5です。

(1) データが14、9、12、11、10です。中央値を求めましょう。

答え

(2) データが15、9、11、13です。中央値を求めましょう。

答え

(3) データが9、10、9、11、9です。最頻値をすべて求めましょう。

答え

(4) データが11、9、11、9、13です。最頻値をすべて求めましょう。

答え

(5) データが18、9、10です。中央値を求めましょう。

答え

(6) データが10、14、12、16です。中央値を求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

中央値と最頻値 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 11

小さい順は9、10、11、12、14。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(2) 12

小さい順は9、11、13、15。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(3) 9

小さい順は9、9、9、10、11。最も多く現れる値をすべて選びます。

(4) 9と11

小さい順は9、9、11、11、13。最も多く現れる値をすべて選びます。

(5) 10

小さい順は9、10、18。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(6) 13

小さい順は10、12、14、16。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

中央値と最頻値

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 中央値は小さい順で真ん中の値。偶数個なら中央2つの平均。最頻値は最も多く現れる値です。

例 4、7、5、5、9を並べると4、5、5、7、9。中央値も最頻値も5です。

(1) データが28、23、26、25、24です。中央値を求めましょう。

答え

(2) データが29、23、25、27です。中央値を求めましょう。

答え

(3) データが23、24、23、25、23です。最頻値をすべて求めましょう。

答え

(4) データが25、23、25、23、27です。最頻値をすべて求めましょう。

答え

(5) データが32、23、24です。中央値を求めましょう。

答え

(6) データが24、28、26、30です。中央値を求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

中央値と最頻値 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 25

小さい順は23、24、25、26、28。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(2) 26

小さい順は23、25、27、29。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(3) 23

小さい順は23、23、23、24、25。最も多く現れる値をすべて選びます。

(4) 23と25

小さい順は23、23、25、25、27。最も多く現れる値をすべて選びます。

(5) 24

小さい順は23、24、32。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(6) 27

小さい順は24、26、28、30。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

中央値と最頻値

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 中央値は小さい順で真ん中の値。偶数個なら中央2つの平均。最頻値は最も多く現れる値です。

例 4、7、5、5、9を並べると4、5、5、7、9。中央値も最頻値も5です。

(1) データが29、24、27、26、25です。中央値を求めましょう。

答え

(2) データが30、24、26、28です。中央値を求めましょう。

答え

(3) データが24、25、24、26、24です。最頻値をすべて求めましょう。

答え

(4) データが26、24、26、24、28です。最頻値をすべて求めましょう。

答え

(5) データが33、24、25です。中央値を求めましょう。

答え

(6) データが25、29、27、31です。中央値を求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

中央値と最頻値 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 26

小さい順は24、25、26、27、29。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(2) 27

小さい順は24、26、28、30。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(3) 24

小さい順は24、24、24、25、26。最も多く現れる値をすべて選びます。

(4) 24と26

小さい順は24、24、26、26、28。最も多く現れる値をすべて選びます。

(5) 25

小さい順は24、25、33。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(6) 28

小さい順は25、27、29、31。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

中央値と最頻値

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 中央値は小さい順で真ん中の値。偶数個なら中央2つの平均。最頻値は最も多く現れる値です。

例 4、7、5、5、9を並べると4、5、5、7、9。中央値も最頻値も5です。

(1) データが30、25、28、27、26です。中央値を求めましょう。

答え

(2) データが31、25、27、29です。中央値を求めましょう。

答え

(3) データが25、26、25、27、25です。最頻値をすべて求めましょう。

答え

(4) データが27、25、27、25、29です。最頻値をすべて求めましょう。

答え

(5) データが34、25、26です。中央値を求めましょう。

答え

(6) データが26、30、28、32です。中央値を求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

中央値と最頻値 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 27

小さい順は25、26、27、28、30。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(2) 28

小さい順は25、27、29、31。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(3) 25

小さい順は25、25、25、26、27。最も多く現れる値をすべて選びます。

(4) 25と27

小さい順は25、25、27、27、29。最も多く現れる値をすべて選びます。

(5) 26

小さい順は25、26、34。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(6) 29

小さい順は26、28、30、32。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

中央値と最頻値

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 中央値は小さい順で真ん中の値。偶数個なら中央2つの平均。最頻値は最も多く現れる値です。

例 4、7、5、5、9を並べると4、5、5、7、9。中央値も最頻値も5です。

(1) データが31、26、29、28、27です。中央値を求めましょう。

答え

(2) データが32、26、28、30です。中央値を求めましょう。

答え

(3) データが26、27、26、28、26です。最頻値をすべて求めましょう。

答え

(4) データが28、26、28、26、30です。最頻値をすべて求めましょう。

答え

(5) データが35、26、27です。中央値を求めましょう。

答え

(6) データが27、31、29、33です。中央値を求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

中央値と最頻値 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 28

小さい順は26、27、28、29、31。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(2) 29

小さい順は26、28、30、32。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(3) 26

小さい順は26、26、26、27、28。最も多く現れる値をすべて選びます。

(4) 26と28

小さい順は26、26、28、28、30。最も多く現れる値をすべて選びます。

(5) 27

小さい順は26、27、35。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(6) 30

小さい順は27、29、31、33。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

中央値と最頻値

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 中央値は小さい順で真ん中の値。偶数個なら中央2つの平均。最頻値は最も多く現れる値です。

例 4、7、5、5、9を並べると4、5、5、7、9。中央値も最頻値も5です。

(1) データが15、10、13、12、11です。中央値を求めましょう。

答え

(2) データが16、10、12、14です。中央値を求めましょう。

答え

(3) データが10、11、10、12、10です。最頻値をすべて求めましょう。

答え

(4) データが12、10、12、10、14です。最頻値をすべて求めましょう。

答え

(5) データが19、10、11です。中央値を求めましょう。

答え

(6) データが11、15、13、17です。中央値を求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

中央値と最頻値 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1)　12

小さい順は10、11、12、13、15。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(2)　13

小さい順は10、12、14、16。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(3)　10

小さい順は10、10、10、11、12。最も多く現れる値をすべて選びます。

(4)　10と12

小さい順は10、10、12、12、14。最も多く現れる値をすべて選びます。

(5)　11

小さい順は10、11、19。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(6)　14

小さい順は11、13、15、17。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

中央値と最頻値

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 中央値は小さい順で真ん中の値。偶数個なら中央2つの平均。最頻値は最も多く現れる値です。

例 4、7、5、5、9を並べると4、5、5、7、9。中央値も最頻値も5です。

(1) データが32、27、30、29、28です。中央値を求めましょう。

答え

(2) データが33、27、29、31です。中央値を求めましょう。

答え

(3) データが27、28、27、29、27です。最頻値をすべて求めましょう。

答え

(4) データが29、27、29、27、31です。最頻値をすべて求めましょう。

答え

(5) データが36、27、28です。中央値を求めましょう。

答え

(6) データが28、32、30、34です。中央値を求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

中央値と最頻値 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 29

小さい順は27、28、29、30、32。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(2) 30

小さい順は27、29、31、33。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(3) 27

小さい順は27、27、27、28、29。最も多く現れる値をすべて選びます。

(4) 27と29

小さい順は27、27、29、29、31。最も多く現れる値をすべて選びます。

(5) 28

小さい順は27、28、36。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(6) 31

小さい順は28、30、32、34。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

中央値と最頻値

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 中央値は小さい順で真ん中の値。偶数個なら中央2つの平均。最頻値は最も多く現れる値です。

例 4、7、5、5、9を並べると4、5、5、7、9。中央値も最頻値も5です。

(1) データが33、28、31、30、29です。中央値を求めましょう。

答え

(2) データが34、28、30、32です。中央値を求めましょう。

答え

(3) データが28、29、28、30、28です。最頻値をすべて求めましょう。

答え

(4) データが30、28、30、28、32です。最頻値をすべて求めましょう。

答え

(5) データが37、28、29です。中央値を求めましょう。

答え

(6) データが29、33、31、35です。中央値を求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

中央値と最頻値 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 30

小さい順は28、29、30、31、33。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(2) 31

小さい順は28、30、32、34。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(3) 28

小さい順は28、28、28、29、30。最も多く現れる値をすべて選びます。

(4) 28と30

小さい順は28、28、30、30、32。最も多く現れる値をすべて選びます。

(5) 29

小さい順は28、29、37。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(6) 32

小さい順は29、31、33、35。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

中央値と最頻値

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 中央値は小さい順で真ん中の値。偶数個なら中央2つの平均。最頻値は最も多く現れる値です。

例 4、7、5、5、9を並べると4、5、5、7、9。中央値も最頻値も5です。

(1) データが34、29、32、31、30です。中央値を求めましょう。

答え

(2) データが35、29、31、33です。中央値を求めましょう。

答え

(3) データが29、30、29、31、29です。最頻値をすべて求めましょう。

答え

(4) データが31、29、31、29、33です。最頻値をすべて求めましょう。

答え

(5) データが38、29、30です。中央値を求めましょう。

答え

(6) データが30、34、32、36です。中央値を求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

中央値と最頻値 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 31

小さい順は29、30、31、32、34。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(2) 32

小さい順は29、31、33、35。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(3) 29

小さい順は29、29、29、30、31。最も多く現れる値をすべて選びます。

(4) 29と31

小さい順は29、29、31、31、33。最も多く現れる値をすべて選びます。

(5) 30

小さい順は29、30、38。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(6) 33

小さい順は30、32、34、36。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

中央値と最頻値

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 中央値は小さい順で真ん中の値。偶数個なら中央2つの平均。最頻値は最も多く現れる値です。

例 4、7、5、5、9を並べると4、5、5、7、9。中央値も最頻値も5です。

(1) データが35、30、33、32、31です。中央値を求めましょう。

答え

(2) データが36、30、32、34です。中央値を求めましょう。

答え

(3) データが30、31、30、32、30です。最頻値をすべて求めましょう。

答え

(4) データが32、30、32、30、34です。最頻値をすべて求めましょう。

答え

(5) データが39、30、31です。中央値を求めましょう。

答え

(6) データが31、35、33、37です。中央値を求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

中央値と最頻値 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 32

小さい順は30、31、32、33、35。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(2) 33

小さい順は30、32、34、36。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(3) 30

小さい順は30、30、30、31、32。最も多く現れる値をすべて選びます。

(4) 30と32

小さい順は30、30、32、32、34。最も多く現れる値をすべて選びます。

(5) 31

小さい順は30、31、39。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(6) 34

小さい順は31、33、35、37。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

中央値と最頻値

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 中央値は小さい順で真ん中の値。偶数個なら中央2つの平均。最頻値は最も多く現れる値です。

例 4、7、5、5、9を並べると4、5、5、7、9。中央値も最頻値も5です。

(1) 読書時間（分）が16、11、14、13、12です。中央値を求めましょう。

答え

(2) 読書時間（分）が17、11、13、15です。中央値を求めましょう。

答え

(3) 読書時間（分）が11、12、11、13、11です。最頻値をすべて求めましょう。

答え

(4) 読書時間（分）が13、11、13、11、15です。最頻値をすべて求めましょう。

答え

(5) 読書時間（分）が20、11、12です。中央値を求めましょう。

答え

(6) 読書時間（分）が12、16、14、18です。中央値を求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

中央値と最頻値 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1)　13分

小さい順は11、12、13、14、16。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(2)　14分

小さい順は11、13、15、17。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(3)　11分

小さい順は11、11、11、12、13。最も多く現れる値をすべて選びます。

(4)　11と13分

小さい順は11、11、13、13、15。最も多く現れる値をすべて選びます。

(5)　12分

小さい順は11、12、20。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(6)　15分

小さい順は12、14、16、18。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

中央値と最頻値

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 中央値は小さい順で真ん中の値。偶数個なら中央2つの平均。最頻値は最も多く現れる値です。

例 4、7、5、5、9を並べると4、5、5、7、9。中央値も最頻値も5です。

(1) 読書時間（分）が36、31、34、33、32です。中央値を求めましょう。

答え

(2) 読書時間（分）が37、31、33、35です。中央値を求めましょう。

答え

(3) 読書時間（分）が31、32、31、33、31です。最頻値をすべて求めましょう。

答え

(4) 読書時間（分）が33、31、33、31、35です。最頻値をすべて求めましょう。

答え

(5) 読書時間（分）が40、31、32です。中央値を求めましょう。

答え

(6) 読書時間（分）が32、36、34、38です。中央値を求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

中央値と最頻値 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 33分

小さい順は31、32、33、34、36。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(2) 34分

小さい順は31、33、35、37。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(3) 31分

小さい順は31、31、31、32、33。最も多く現れる値をすべて選びます。

(4) 31と33分

小さい順は31、31、33、33、35。最も多く現れる値をすべて選びます。

(5) 32分

小さい順は31、32、40。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(6) 35分

小さい順は32、34、36、38。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

中央値と最頻値

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 中央値は小さい順で真ん中の値。偶数個なら中央2つの平均。最頻値は最も多く現れる値です。

例 4、7、5、5、9を並べると4、5、5、7、9。中央値も最頻値も5です。

(1) 読書時間（分）が37、32、35、34、33です。中央値を求めましょう。

答え

(2) 読書時間（分）が38、32、34、36です。中央値を求めましょう。

答え

(3) 読書時間（分）が32、33、32、34、32です。最頻値をすべて求めましょう。

答え

(4) 読書時間（分）が34、32、34、32、36です。最頻値をすべて求めましょう。

答え

(5) 読書時間（分）が41、32、33です。中央値を求めましょう。

答え

(6) 読書時間（分）が33、37、35、39です。中央値を求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

中央値と最頻値 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 34分

小さい順は32、33、34、35、37。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(2) 35分

小さい順は32、34、36、38。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(3) 32分

小さい順は32、32、32、33、34。最も多く現れる値をすべて選びます。

(4) 32と34分

小さい順は32、32、34、34、36。最も多く現れる値をすべて選びます。

(5) 33分

小さい順は32、33、41。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(6) 36分

小さい順は33、35、37、39。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

中央値と最頻値

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 中央値は小さい順で真ん中の値。偶数個なら中央2つの平均。最頻値は最も多く現れる値です。

例 4、7、5、5、9を並べると4、5、5、7、9。中央値も最頻値も5です。

(1) 読書時間（分）が38、33、36、35、34です。中央値を求めましょう。

答え

(2) 読書時間（分）が39、33、35、37です。中央値を求めましょう。

答え

(3) 読書時間（分）が33、34、33、35、33です。最頻値をすべて求めましょう。

答え

(4) 読書時間（分）が35、33、35、33、37です。最頻値をすべて求めましょう。

答え

(5) 読書時間（分）が42、33、34です。中央値を求めましょう。

答え

(6) 読書時間（分）が34、38、36、40です。中央値を求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

中央値と最頻値 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 35分

小さい順は33、34、35、36、38。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(2) 36分

小さい順は33、35、37、39。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(3) 33分

小さい順は33、33、33、34、35。最も多く現れる値をすべて選びます。

(4) 33と35分

小さい順は33、33、35、35、37。最も多く現れる値をすべて選びます。

(5) 34分

小さい順は33、34、42。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(6) 37分

小さい順は34、36、38、40。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

中央値と最頻値

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 中央値は小さい順で真ん中の値。偶数個なら中央2つの平均。最頻値は最も多く現れる値です。

例 4、7、5、5、9を並べると4、5、5、7、9。中央値も最頻値も5です。

(1) 読書時間（分）が39、34、37、36、35です。中央値を求めましょう。

答え

(2) 読書時間（分）が40、34、36、38です。中央値を求めましょう。

答え

(3) 読書時間（分）が34、35、34、36、34です。最頻値をすべて求めましょう。

答え

(4) 読書時間（分）が36、34、36、34、38です。最頻値をすべて求めましょう。

答え

(5) 読書時間（分）が43、34、35です。中央値を求めましょう。

答え

(6) 読書時間（分）が35、39、37、41です。中央値を求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

中央値と最頻値 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 36分

小さい順は34、35、36、37、39。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(2) 37分

小さい順は34、36、38、40。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(3) 34分

小さい順は34、34、34、35、36。最も多く現れる値をすべて選びます。

(4) 34と36分

小さい順は34、34、36、36、38。最も多く現れる値をすべて選びます。

(5) 35分

小さい順は34、35、43。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(6) 38分

小さい順は35、37、39、41。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

中央値と最頻値

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 中央値は小さい順で真ん中の値。偶数個なら中央2つの平均。最頻値は最も多く現れる値です。

例 4、7、5、5、9を並べると4、5、5、7、9。中央値も最頻値も5です。

(1) 読書時間（分）が17、12、15、14、13です。中央値を求めましょう。

答え

(2) 読書時間（分）が18、12、14、16です。中央値を求めましょう。

答え

(3) 読書時間（分）が12、13、12、14、12です。最頻値をすべて求めましょう。

答え

(4) 読書時間（分）が14、12、14、12、16です。最頻値をすべて求めましょう。

答え

(5) 読書時間（分）が21、12、13です。中央値を求めましょう。

答え

(6) 読書時間（分）が13、17、15、19です。中央値を求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

中央値と最頻値 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1)　14分

小さい順は12、13、14、15、17。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(2)　15分

小さい順は12、14、16、18。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(3)　12分

小さい順は12、12、12、13、14。最も多く現れる値をすべて選びます。

(4)　12と14分

小さい順は12、12、14、14、16。最も多く現れる値をすべて選びます。

(5)　13分

小さい順は12、13、21。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(6)　16分

小さい順は13、15、17、19。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

中央値と最頻値

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 中央値は小さい順で真ん中の値。偶数個なら中央2つの平均。最頻値は最も多く現れる値です。

例 4、7、5、5、9を並べると4、5、5、7、9。中央値も最頻値も5です。

(1) 読書時間（分）が40、35、38、37、36です。中央値を求めましょう。

答え

(2) 読書時間（分）が41、35、37、39です。中央値を求めましょう。

答え

(3) 読書時間（分）が35、36、35、37、35です。最頻値をすべて求めましょう。

答え

(4) 読書時間（分）が37、35、37、35、39です。最頻値をすべて求めましょう。

答え

(5) 読書時間（分）が44、35、36です。中央値を求めましょう。

答え

(6) 読書時間（分）が36、40、38、42です。中央値を求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

中央値と最頻値 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 37分

小さい順は35、36、37、38、40。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(2) 38分

小さい順は35、37、39、41。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(3) 35分

小さい順は35、35、35、36、37。最も多く現れる値をすべて選びます。

(4) 35と37分

小さい順は35、35、37、37、39。最も多く現れる値をすべて選びます。

(5) 36分

小さい順は35、36、44。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(6) 39分

小さい順は36、38、40、42。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

中央値と最頻値

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 中央値は小さい順で真ん中の値。偶数個なら中央2つの平均。最頻値は最も多く現れる値です。

例 4、7、5、5、9を並べると4、5、5、7、9。中央値も最頻値も5です。

(1) 読書時間（分）が41、36、39、38、37です。中央値を求めましょう。

答え

(2) 読書時間（分）が42、36、38、40です。中央値を求めましょう。

答え

(3) 読書時間（分）が36、37、36、38、36です。最頻値をすべて求めましょう。

答え

(4) 読書時間（分）が38、36、38、36、40です。最頻値をすべて求めましょう。

答え

(5) 読書時間（分）が45、36、37です。中央値を求めましょう。

答え

(6) 読書時間（分）が37、41、39、43です。中央値を求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

中央値と最頻値 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 38分

小さい順は36、37、38、39、41。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(2) 39分

小さい順は36、38、40、42。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(3) 36分

小さい順は36、36、36、37、38。最も多く現れる値をすべて選びます。

(4) 36と38分

小さい順は36、36、38、38、40。最も多く現れる値をすべて選びます。

(5) 37分

小さい順は36、37、45。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(6) 40分

小さい順は37、39、41、43。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

中央値と最頻値

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 中央値は小さい順で真ん中の値。偶数個なら中央2つの平均。最頻値は最も多く現れる値です。

例 4、7、5、5、9を並べると4、5、5、7、9。中央値も最頻値も5です。

(1) 読書時間（分）が42、37、40、39、38です。中央値を求めましょう。

答え

(2) 読書時間（分）が43、37、39、41です。中央値を求めましょう。

答え

(3) 読書時間（分）が37、38、37、39、37です。最頻値をすべて求めましょう。

答え

(4) 読書時間（分）が39、37、39、37、41です。最頻値をすべて求めましょう。

答え

(5) 読書時間（分）が46、37、38です。中央値を求めましょう。

答え

(6) 読書時間（分）が38、42、40、44です。中央値を求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

中央値と最頻値 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 39分

小さい順は37、38、39、40、42。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(2) 40分

小さい順は37、39、41、43。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(3) 37分

小さい順は37、37、37、38、39。最も多く現れる値をすべて選びます。

(4) 37と39分

小さい順は37、37、39、39、41。最も多く現れる値をすべて選びます。

(5) 38分

小さい順は37、38、46。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(6) 41分

小さい順は38、40、42、44。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

中央値と最頻値

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 中央値は小さい順で真ん中の値。偶数個なら中央2つの平均。最頻値は最も多く現れる値です。

例 4、7、5、5、9を並べると4、5、5、7、9。中央値も最頻値も5です。

(1) 読書時間（分）が43、38、41、40、39です。中央値を求めましょう。

答え

(2) 読書時間（分）が44、38、40、42です。中央値を求めましょう。

答え

(3) 読書時間（分）が38、39、38、40、38です。最頻値をすべて求めましょう。

答え

(4) 読書時間（分）が40、38、40、38、42です。最頻値をすべて求めましょう。

答え

(5) 読書時間（分）が47、38、39です。中央値を求めましょう。

答え

(6) 読書時間（分）が39、43、41、45です。中央値を求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

中央値と最頻値 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 40分

小さい順は38、39、40、41、43。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(2) 41分

小さい順は38、40、42、44。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(3) 38分

小さい順は38、38、38、39、40。最も多く現れる値をすべて選びます。

(4) 38と40分

小さい順は38、38、40、40、42。最も多く現れる値をすべて選びます。

(5) 39分

小さい順は38、39、47。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

(6) 42分

小さい順は39、41、43、45。中央の値（偶数個なら中央2つの平均）を選びます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

文字を使った式

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント xなどの文字は、変わる数やまだわからない数を表します。

例 1本80円の鉛筆x本の代金は80×x。x=3なら240円です。

(1) x=4のとき、6×xの値を求めましょう。

答え

(2) x=6のとき、x+4の値を求めましょう。

答え

(3) x=24のとき、x÷4の値を求めましょう。

答え

(4) 1冊60円のノートをx冊買う代金を、式で表しましょう。

答え

(5) 600円持っていて、x円の品物を買います。残金を式で表しましょう。

答え

(6) 6×x=24のとき、xを求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

文字を使った式 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 24

xに決まった数を入れて計算します。

(2) 10

xを数に置きかえます。

(3) 6

わる順序に注意します。

(4) 60×x

1冊の代金×冊数。

(5) 600−x

もとの金額−使った金額。

(6) 4

積を、かけた数でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

文字を使った式

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント xなどの文字は、変わる数やまだわからない数を表します。

例 1本80円の鉛筆x本の代金は80×x。x=3なら240円です。

(1) x=10のとき、12×xの値を求めましょう。

答え

(2) x=12のとき、x+10の値を求めましょう。

答え

(3) x=120のとき、x÷10の値を求めましょう。

答え

(4) 1冊120円のノートをx冊買う代金を、式で表しましょう。

答え

(5) 1200円持っていて、x円の品物を買います。残金を式で表しましょう。

答え

(6) 12×x=120のとき、xを求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

文字を使った式 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 120

xに決まった数を入れて計算します。

(2) 22

xを数に置きかえます。

(3) 12

わる順序に注意します。

(4) 120×x

1冊の代金×冊数。

(5) 1200−x

もとの金額−使った金額。

(6) 10

積を、かけた数でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

文字を使った式

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント xなどの文字は、変わる数やまだわからない数を表します。

例 1本80円の鉛筆x本の代金は80×x。x=3なら240円です。

(1) x=11のとき、13×xの値を求めましょう。

答え

(2) x=13のとき、x+11の値を求めましょう。

答え

(3) x=143のとき、x÷11の値を求めましょう。

答え

(4) 1冊130円のノートをx冊買う代金を、式で表しましょう。

答え

(5) 1300円持っていて、x円の品物を買います。残金を式で表しましょう。

答え

(6) 13×x=143のとき、xを求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

文字を使った式 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 143

xに決まった数を入れて計算します。

(2) 24

xを数に置きかえます。

(3) 13

わる順序に注意します。

(4) 130×x

1冊の代金×冊数。

(5) 1300−x

もとの金額−使った金額。

(6) 11

積を、かけた数でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

文字を使った式

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント xなどの文字は、変わる数やまだわからない数を表します。

例 1本80円の鉛筆x本の代金は80×x。x=3なら240円です。

(1) x=12のとき、14×xの値を求めましょう。

答え

(2) x=14のとき、x+12の値を求めましょう。

答え

(3) x=168のとき、x÷12の値を求めましょう。

答え

(4) 1冊140円のノートをx冊買う代金を、式で表しましょう。

答え

(5) 1400円持っていて、x円の品物を買います。残金を式で表しましょう。

答え

(6) 14×x=168のとき、xを求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

文字を使った式 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 168

xに決まった数を入れて計算します。

(2) 26

xを数に置きかえます。

(3) 14

わる順序に注意します。

(4) 140×x

1冊の代金×冊数。

(5) 1400−x

もとの金額−使った金額。

(6) 12

積を、かけた数でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

文字を使った式

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント xなどの文字は、変わる数やまだわからない数を表します。

例 1本80円の鉛筆x本の代金は80×x。x=3なら240円です。

(1) x=13のとき、15×xの値を求めましょう。

答え

(2) x=15のとき、x+13の値を求めましょう。

答え

(3) x=195のとき、x÷13の値を求めましょう。

答え

(4) 1冊150円のノートをx冊買う代金を、式で表しましょう。

答え

(5) 1500円持っていて、x円の品物を買います。残金を式で表しましょう。

答え

(6) 15×x=195のとき、xを求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

文字を使った式 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 195

xに決まった数を入れて計算します。

(2) 28

xを数に置きかえます。

(3) 15

わる順序に注意します。

(4) 150×x

1冊の代金×冊数。

(5) 1500−x

もとの金額−使った金額。

(6) 13

積を、かけた数でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

文字を使った式

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント xなどの文字は、変わる数やまだわからない数を表します。

例 1本80円の鉛筆x本の代金は80×x。x=3なら240円です。

(1) x=5のとき、7×xの値を求めましょう。

答え

(2) x=7のとき、x+5の値を求めましょう。

答え

(3) x=35のとき、x÷5の値を求めましょう。

答え

(4) 1冊70円のノートをx冊買う代金を、式で表しましょう。

答え

(5) 700円持っていて、x円の品物を買います。残金を式で表しましょう。

答え

(6) 7×x=35のとき、xを求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

文字を使った式 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 35

xに決まった数を入れて計算します。

(2) 12

xを数に置きかえます。

(3) 7

わる順序に注意します。

(4) 70×x

1冊の代金×冊数。

(5) 700−x

もとの金額−使った金額。

(6) 5

積を、かけた数でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

文字を使った式

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント xなどの文字は、変わる数やまだわからない数を表します。

例 1本80円の鉛筆x本の代金は80×x。x=3なら240円です。

(1) x=14のとき、16×xの値を求めましょう。

答え

(2) x=16のとき、x+14の値を求めましょう。

答え

(3) x=224のとき、x÷14の値を求めましょう。

答え

(4) 1冊160円のノートをx冊買う代金を、式で表しましょう。

答え

(5) 1600円持っていて、x円の品物を買います。残金を式で表しましょう。

答え

(6) 16×x=224のとき、xを求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

文字を使った式 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 224

xに決まった数を入れて計算します。

(2) 30

xを数に置きかえます。

(3) 16

わる順序に注意します。

(4) 160×x

1冊の代金×冊数。

(5) 1600−x

もとの金額−使った金額。

(6) 14

積を、かけた数でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

文字を使った式

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント xなどの文字は、変わる数やまだわからない数を表します。

例 1本80円の鉛筆x本の代金は80×x。x=3なら240円です。

(1) x=15のとき、17×xの値を求めましょう。

答え

(2) x=17のとき、x+15の値を求めましょう。

答え

(3) x=255のとき、x÷15の値を求めましょう。

答え

(4) 1冊170円のノートをx冊買う代金を、式で表しましょう。

答え

(5) 1700円持っていて、x円の品物を買います。残金を式で表しましょう。

答え

(6) 17×x=255のとき、xを求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

文字を使った式 / 解答と考え方

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　答え合わせ

(1) 255

xに決まった数を入れて計算します。

(2) 32

xを数に置きかえます。

(3) 17

わる順序に注意します。

(4) 170×x

1冊の代金×冊数。

(5) 1700−x

もとの金額−使った金額。

(6) 15

積を、かけた数でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：＿＿＿＿＿＿　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

文字を使った式

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント xなどの文字は、変わる数やまだわからない数を表します。

例 1本80円の鉛筆x本の代金は80×x。x=3なら240円です。

(1) x=16のとき、18×xの値を求めましょう。

答え

(2) x=18のとき、x+16の値を求めましょう。

答え

(3) x=288のとき、x÷16の値を求めましょう。

答え

(4) 1冊180円のノートをx冊買う代金を、式で表しましょう。

答え

(5) 1800円持っていて、x円の品物を買います。残金を式で表しましょう。

答え

(6) 18×x=288のとき、xを求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

文字を使った式 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 288

xに決まった数を入れて計算します。

(2) 34

xを数に置きかえます。

(3) 18

わる順序に注意します。

(4) 180×x

1冊の代金×冊数。

(5) 1800−x

もとの金額−使った金額。

(6) 16

積を、かけた数でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

文字を使った式

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント xなどの文字は、変わる数やまだわからない数を表します。

例 1本80円の鉛筆x本の代金は80×x。x=3なら240円です。

(1) x=17のとき、19×xの値を求めましょう。

答え

(2) x=19のとき、x+17の値を求めましょう。

答え

(3) x=323のとき、x÷17の値を求めましょう。

答え

(4) 1冊190円のノートをx冊買う代金を、式で表しましょう。

答え

(5) 1900円持っていて、x円の品物を買います。残金を式で表しましょう。

答え

(6) 19×x=323のとき、xを求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

文字を使った式 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 323

xに決まった数を入れて計算します。

(2) 36

xを数に置きかえます。

(3) 19

わる順序に注意します。

(4) 190×x

1冊の代金×冊数。

(5) 1900−x

もとの金額−使った金額。

(6) 17

積を、かけた数でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

文字を使った式

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント xなどの文字は、変わる数やまだわからない数を表します。

例 1本80円の鉛筆x本の代金は80×x。x=3なら240円です。

(1) x=6のとき、8×xの値を求めましょう。

答え

(2) x=8のとき、x+6の値を求めましょう。

答え

(3) x=48のとき、x÷6の値を求めましょう。

答え

(4) 1冊80円のノートをx冊買う代金を、式で表しましょう。

答え

(5) 800円持っていて、x円の品物を買います。残金を式で表しましょう。

答え

(6) 8×x=48のとき、xを求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

文字を使った式 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 48

xに決まった数を入れて計算します。

(2) 14

xを数に置きかえます。

(3) 8

わる順序に注意します。

(4) 80×x

1冊の代金×冊数。

(5) 800−x

もとの金額−使った金額。

(6) 6

積を、かけた数でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

文字を使った式

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント xなどの文字は、変わる数やまだわからない数を表します。

例 1本80円の鉛筆x本の代金は80×x。x=3なら240円です。

(1) x=18のとき、20×xの値を求めましょう。

答え

(2) x=20のとき、x+18の値を求めましょう。

答え

(3) x=360のとき、x÷18の値を求めましょう。

答え

(4) 1冊200円のノートをx冊買う代金を、式で表しましょう。

答え

(5) 2000円持っていて、x円の品物を買います。残金を式で表しましょう。

答え

(6) 20×x=360のとき、xを求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

文字を使った式 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 360

xに決まった数を入れて計算します。

(2) 38

xを数に置きかえます。

(3) 20

わる順序に注意します。

(4) 200×x

1冊の代金×冊数。

(5) 2000−x

もとの金額−使った金額。

(6) 18

積を、かけた数でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

文字を使った式

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント xなどの文字は、変わる数やまだわからない数を表します。

例 1本80円の鉛筆x本の代金は80×x。x=3なら240円です。

(1) x=19のとき、21×xの値を求めましょう。

答え

(2) x=21のとき、x+19の値を求めましょう。

答え

(3) x=399のとき、x÷19の値を求めましょう。

答え

(4) 1冊210円のノートをx冊買う代金を、式で表しましょう。

答え

(5) 2100円持っていて、x円の品物を買います。残金を式で表しましょう。

答え

(6) 21×x=399のとき、xを求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

文字を使った式 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 399

xに決まった数を入れて計算します。

(2) 40

xを数に置きかえます。

(3) 21

わる順序に注意します。

(4) 210×x

1冊の代金×冊数。

(5) 2100−x

もとの金額−使った金額。

(6) 19

積を、かけた数でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

文字を使った式

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント xなどの文字は、変わる数やまだわからない数を表します。

例 1本80円の鉛筆x本の代金は80×x。x=3なら240円です。

(1) x=20のとき、22×xの値を求めましょう。

答え

(2) x=22のとき、x+20の値を求めましょう。

答え

(3) x=440のとき、x÷20の値を求めましょう。

答え

(4) 1冊220円のノートをx冊買う代金を、式で表しましょう。

答え

(5) 2200円持っていて、x円の品物を買います。残金を式で表しましょう。

答え

(6) 22×x=440のとき、xを求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

文字を使った式 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 440

xに決まった数を入れて計算します。

(2) 42

xを数に置きかえます。

(3) 22

わる順序に注意します。

(4) 220×x

1冊の代金×冊数。

(5) 2200−x

もとの金額−使った金額。

(6) 20

積を、かけた数でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

文字を使った式

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント xなどの文字は、変わる数やまだわからない数を表します。

例 1本80円の鉛筆x本の代金は80×x。x=3なら240円です。

(1) x=21のとき、23×xの値を求めましょう。

答え

(2) x=23のとき、x+21の値を求めましょう。

答え

(3) x=483のとき、x÷21の値を求めましょう。

答え

(4) 1冊230円のノートをx冊買う代金を、式で表しましょう。

答え

(5) 2300円持っていて、x円の品物を買います。残金を式で表しましょう。

答え

(6) 23×x=483のとき、xを求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

文字を使った式 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 483

xに決まった数を入れて計算します。

(2) 44

xを数に置きかえます。

(3) 23

わる順序に注意します。

(4) 230×x

1冊の代金×冊数。

(5) 2300−x

もとの金額−使った金額。

(6) 21

積を、かけた数でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

文字を使った式

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント xなどの文字は、変わる数やまだわからない数を表します。

例 1本80円の鉛筆x本の代金は80×x。x=3なら240円です。

(1) x=7のとき、9×xの値を求めましょう。

答え

(2) x=9のとき、x+7の値を求めましょう。

答え

(3) x=63のとき、x÷7の値を求めましょう。

答え

(4) 1冊90円のノートをx冊買う代金を、式で表しましょう。

答え

(5) 900円持っていて、x円の品物を買います。残金を式で表しましょう。

答え

(6) 9×x=63のとき、xを求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

文字を使った式 / 解答と考え方

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　答え合わせ

(1) 63

xに決まった数を入れて計算します。

(2) 16

xを数に置きかえます。

(3) 9

わる順序に注意します。

(4) 90×x

1冊の代金×冊数。

(5) 900−x

もとの金額−使った金額。

(6) 7

積を、かけた数でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：＿＿＿＿＿＿　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

文字を使った式

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント xなどの文字は、変わる数やまだわからない数を表します。

例 1本80円の鉛筆x本の代金は80×x。x=3なら240円です。

(1) x=22のとき、24×xの値を求めましょう。

答え

(2) x=24のとき、x+22の値を求めましょう。

答え

(3) x=528のとき、x÷22の値を求めましょう。

答え

(4) 1冊240円のノートをx冊買う代金を、式で表しましょう。

答え

(5) 2400円持っていて、x円の品物を買います。残金を式で表しましょう。

答え

(6) 24×x=528のとき、xを求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

文字を使った式 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 528

xに決まった数を入れて計算します。

(2) 46

xを数に置きかえます。

(3) 24

わる順序に注意します。

(4) 240×x

1冊の代金×冊数。

(5) 2400−x

もとの金額−使った金額。

(6) 22

積を、かけた数でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

文字を使った式

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント xなどの文字は、変わる数やまだわからない数を表します。

例 1本80円の鉛筆x本の代金は80×x。x=3なら240円です。

(1) x=23のとき、25×xの値を求めましょう。

答え

(2) x=25のとき、x+23の値を求めましょう。

答え

(3) x=575のとき、x÷23の値を求めましょう。

答え

(4) 1冊250円のノートをx冊買う代金を、式で表しましょう。

答え

(5) 2500円持っていて、x円の品物を買います。残金を式で表しましょう。

答え

(6) 25×x=575のとき、xを求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

文字を使った式 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 575

xに決まった数を入れて計算します。

(2) 48

xを数に置きかえます。

(3) 25

わる順序に注意します。

(4) 250×x

1冊の代金×冊数。

(5) 2500−x

もとの金額−使った金額。

(6) 23

積を、かけた数でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

文字を使った式

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント xなどの文字は、変わる数やまだわからない数を表します。

例 1本80円の鉛筆x本の代金は80×x。x=3なら240円です。

(1) x=24のとき、26×xの値を求めましょう。

答え

(2) x=26のとき、x+24の値を求めましょう。

答え

(3) x=624のとき、x÷24の値を求めましょう。

答え

(4) 1冊260円のノートをx冊買う代金を、式で表しましょう。

答え

(5) 2600円持っていて、x円の品物を買います。残金を式で表しましょう。

答え

(6) 26×x=624のとき、xを求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

文字を使った式 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 624

xに決まった数を入れて計算します。

(2) 50

xを数に置きかえます。

(3) 26

わる順序に注意します。

(4) 260×x

1冊の代金×冊数。

(5) 2600−x

もとの金額−使った金額。

(6) 24

積を、かけた数でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

文字を使った式

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント xなどの文字は、変わる数やまだわからない数を表します。

例 1本80円の鉛筆x本の代金は80×x。x=3なら240円です。

(1) x=25のとき、27×xの値を求めましょう。

答え

(2) x=27のとき、x+25の値を求めましょう。

答え

(3) x=675のとき、x÷25の値を求めましょう。

答え

(4) 1冊270円のノートをx冊買う代金を、式で表しましょう。

答え

(5) 2700円持っていて、x円の品物を買います。残金を式で表しましょう。

答え

(6) 27×x=675のとき、xを求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

文字を使った式 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 675

xに決まった数を入れて計算します。

(2) 52

xを数に置きかえます。

(3) 27

わる順序に注意します。

(4) 270×x

1冊の代金×冊数。

(5) 2700−x

もとの金額−使った金額。

(6) 25

積を、かけた数でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

文字を使った式

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント xなどの文字は、変わる数やまだわからない数を表します。

例 1本80円の鉛筆x本の代金は80×x。x=3なら240円です。

(1) x=8のとき、10×xの値を求めましょう。

答え

(2) x=10のとき、x+8の値を求めましょう。

答え

(3) x=80のとき、x÷8の値を求めましょう。

答え

(4) 1冊100円のノートをx冊買う代金を、式で表しましょう。

答え

(5) 1000円持っていて、x円の品物を買います。残金を式で表しましょう。

答え

(6) 10×x=80のとき、xを求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

文字を使った式 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 80

xに決まった数を入れて計算します。

(2) 18

xを数に置きかえます。

(3) 10

わる順序に注意します。

(4) 100×x

1冊の代金×冊数。

(5) 1000−x

もとの金額−使った金額。

(6) 8

積を、かけた数でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

文字を使った式

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント xなどの文字は、変わる数やまだわからない数を表します。

例 1本80円の鉛筆x本の代金は80×x。x=3なら240円です。

(1) x=26のとき、28×xの値を求めましょう。

答え

(2) x=28のとき、x+26の値を求めましょう。

答え

(3) x=728のとき、x÷26の値を求めましょう。

答え

(4) 1冊280円のノートをx冊買う代金を、式で表しましょう。

答え

(5) 2800円持っていて、x円の品物を買います。残金を式で表しましょう。

答え

(6) 28×x=728のとき、xを求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

文字を使った式 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 728

xに決まった数を入れて計算します。

(2) 54

xを数に置きかえます。

(3) 28

わる順序に注意します。

(4) 280×x

1冊の代金×冊数。

(5) 2800−x

もとの金額−使った金額。

(6) 26

積を、かけた数でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

文字を使った式

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント xなどの文字は、変わる数やまだわからない数を表します。

例 1本80円の鉛筆x本の代金は80×x。x=3なら240円です。

(1) x=27のとき、29×xの値を求めましょう。

答え

(2) x=29のとき、x+27の値を求めましょう。

答え

(3) x=783のとき、x÷27の値を求めましょう。

答え

(4) 1冊290円のノートをx冊買う代金を、式で表しましょう。

答え

(5) 2900円持っていて、x円の品物を買います。残金を式で表しましょう。

答え

(6) 29×x=783のとき、xを求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

文字を使った式 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 783

xに決まった数を入れて計算します。

(2) 56

xを数に置きかえます。

(3) 29

わる順序に注意します。

(4) 290×x

1冊の代金×冊数。

(5) 2900−x

もとの金額−使った金額。

(6) 27

積を、かけた数でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

文字を使った式

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント xなどの文字は、変わる数やまだわからない数を表します。

例 1本80円の鉛筆x本の代金は80×x。x=3なら240円です。

(1) x=28のとき、30×xの値を求めましょう。

答え

(2) x=30のとき、x+28の値を求めましょう。

答え

(3) x=840のとき、x÷28の値を求めましょう。

答え

(4) 1冊300円のノートをx冊買う代金を、式で表しましょう。

答え

(5) 3000円持っていて、x円の品物を買います。残金を式で表しましょう。

答え

(6) 30×x=840のとき、xを求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

文字を使った式 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 840

xに決まった数を入れて計算します。

(2) 58

xを数に置きかえます。

(3) 30

わる順序に注意します。

(4) 300×x

1冊の代金×冊数。

(5) 3000−x

もとの金額−使った金額。

(6) 28

積を、かけた数でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

文字を使った式

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント xなどの文字は、変わる数やまだわからない数を表します。

例 1本80円の鉛筆x本の代金は80×x。x=3なら240円です。

(1) x=29のとき、31×xの値を求めましょう。

答え

(2) x=31のとき、x+29の値を求めましょう。

答え

(3) x=899のとき、x÷29の値を求めましょう。

答え

(4) 1冊310円のノートをx冊買う代金を、式で表しましょう。

答え

(5) 3100円持っていて、x円の品物を買います。残金を式で表しましょう。

答え

(6) 31×x=899のとき、xを求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

文字を使った式 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 899

xに決まった数を入れて計算します。

(2) 60

xを数に置きかえます。

(3) 31

わる順序に注意します。

(4) 310×x

1冊の代金×冊数。

(5) 3100−x

もとの金額−使った金額。

(6) 29

積を、かけた数でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

文字を使った式

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント xなどの文字は、変わる数やまだわからない数を表します。

例 1本80円の鉛筆x本の代金は80×x。x=3なら240円です。

(1) x=9のとき、11×xの値を求めましょう。

答え

(2) x=11のとき、x+9の値を求めましょう。

答え

(3) x=99のとき、x÷9の値を求めましょう。

答え

(4) 1冊110円のノートをx冊買う代金を、式で表しましょう。

答え

(5) 1100円持っていて、x円の品物を買います。残金を式で表しましょう。

答え

(6) 11×x=99のとき、xを求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

文字を使った式 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 99

xに決まった数を入れて計算します。

(2) 20

xを数に置きかえます。

(3) 11

わる順序に注意します。

(4) 110×x

1冊の代金×冊数。

(5) 1100−x

もとの金額−使った金額。

(6) 9

積を、かけた数でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

文字を使った式

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント xなどの文字は、変わる数やまだわからない数を表します。

例 1本80円の鉛筆x本の代金は80×x。x=3なら240円です。

(1) x=30のとき、32×xの値を求めましょう。

答え

(2) x=32のとき、x+30の値を求めましょう。

答え

(3) x=960のとき、x÷30の値を求めましょう。

答え

(4) 1冊320円のノートをx冊買う代金を、式で表しましょう。

答え

(5) 3200円持っていて、x円の品物を買います。残金を式で表しましょう。

答え

(6) 32×x=960のとき、xを求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

文字を使った式 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 960

xに決まった数を入れて計算します。

(2) 62

xを数に置きかえます。

(3) 32

わる順序に注意します。

(4) 320×x

1冊の代金×冊数。

(5) 3200−x

もとの金額−使った金額。

(6) 30

積を、かけた数でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

文字を使った式

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント xなどの文字は、変わる数やまだわからない数を表します。

例 1本80円の鉛筆x本の代金は80×x。x=3なら240円です。

(1) x=31のとき、33×xの値を求めましょう。

答え

(2) x=33のとき、x+31の値を求めましょう。

答え

(3) x=1023のとき、x÷31の値を求めましょう。

答え

(4) 1冊330円のノートをx冊買う代金を、式で表しましょう。

答え

(5) 3300円持っていて、x円の品物を買います。残金を式で表しましょう。

答え

(6) 33×x=1023のとき、xを求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

文字を使った式 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 1023

xに決まった数を入れて計算します。

(2) 64

xを数に置きかえます。

(3) 33

わる順序に注意します。

(4) 330×x

1冊の代金×冊数。

(5) 3300−x

もとの金額−使った金額。

(6) 31

積を、かけた数でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

文字を使った式

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント xなどの文字は、変わる数やまだわからない数を表します。

例 1本80円の鉛筆x本の代金は80×x。x=3なら240円です。

(1) x=32のとき、34×xの値を求めましょう。

答え

(2) x=34のとき、x+32の値を求めましょう。

答え

(3) x=1088のとき、x÷32の値を求めましょう。

答え

(4) 1冊340円のノートをx冊買う代金を、式で表しましょう。

答え

(5) 3400円持っていて、x円の品物を買います。残金を式で表しましょう。

答え

(6) 34×x=1088のとき、xを求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

文字を使った式 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 1088

xに決まった数を入れて計算します。

(2) 66

xを数に置きかえます。

(3) 34

わる順序に注意します。

(4) 340×x

1冊の代金×冊数。

(5) 3400−x

もとの金額−使った金額。

(6) 32

積を、かけた数でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

文字を使った式

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント xなどの文字は、変わる数やまだわからない数を表します。

例 1本80円の鉛筆x本の代金は80×x。x=3なら240円です。

(1) x=33のとき、35×xの値を求めましょう。

答え

(2) x=35のとき、x+33の値を求めましょう。

答え

(3) x=1155のとき、x÷33の値を求めましょう。

答え

(4) 1冊350円のノートをx冊買う代金を、式で表しましょう。

答え

(5) 3500円持っていて、x円の品物を買います。残金を式で表しましょう。

答え

(6) 35×x=1155のとき、xを求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

文字を使った式 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 1155

xに決まった数を入れて計算します。

(2) 68

xを数に置きかえます。

(3) 35

わる順序に注意します。

(4) 350×x

1冊の代金×冊数。

(5) 3500−x

もとの金額−使った金額。

(6) 33

積を、かけた数でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

線対称と点対称

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 線対称は軸で折ると重なる図形。点対称は中心のまわりに180°回すと重なる図形です。

例 正方形の対称の軸は4本。対角線の交点を中心とする点対称でもあります。

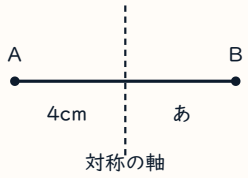
(1) 正3角形の対称の軸は何本ですか。

答え

(2) 横6cm、たて4cmの長方形（正方形ではない）は点対称ですか。

答え

(3) 線対称の図形で、点Aは対称の軸から4cm離れています。対応する点Bは軸から何cmですか。



答え

(4) 点対称の図形で、対応する点AとBの距離は12cm。対称の中心OとAの距離は何cmですか。

答え

(5) 線対称の図形で、長さ10cmの辺に対応する辺の長さは何cmですか。

答え

(6) 正3角形は点対称ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

線対称と点対称 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 3本

正多角形では、辺の数と対称の軸の本数が同じです。

(2) 点対称

対角線の交点を中心に180°回すと重なります。

(3) 4cm

対応する2点は、軸から同じ距離です。

(4) 6cm

対称の中心は、対応する2点を結ぶ線分の真ん中です。

(5) 10cm

折り重なる辺どうしの長さは等しくなります。

(6) 点対称ではない

中心のまわりに180°回して重なるかを調べます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

線対称と点対称

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 線対称は軸で折ると重なる図形。点対称は中心のまわりに180°回すと重なる図形です。

例 正方形の対称の軸は4本。対角線の交点を中心とする点対称でもあります。

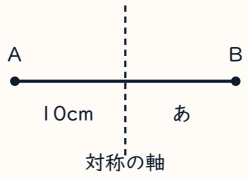
(1) 正3角形の対称の軸は何本ですか。

答え

(2) 横12cm、たて10cmの長方形（正方形ではない）は点対称ですか。

答え

(3) 線対称の図形で、点Aは対称の軸から10cm離れています。対応する点Bは軸から何cmですか。



答え

(4) 点対称の図形で、対応する点AとBの距離は24cm。対称の中心OとAの距離は何cmですか。

答え

(5) 線対称の図形で、長さ22cmの辺に対応する辺の長さは何cmですか。

答え

(6) 正3角形は点対称ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

線対称と点対称 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 3本

正多角形では、辺の数と対称の軸の本数が同じです。

(2) 点対称

対角線の交点を中心に180°回すと重なります。

(3) 10cm

対応する2点は、軸から同じ距離です。

(4) 12cm

対称の中心は、対応する2点を結ぶ線分の真ん中です。

(5) 22cm

折り重なる辺どうしの長さは等しくなります。

(6) 点対称ではない

中心のまわりに180°回して重なるかを調べます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

線対称と点対称

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 線対称は軸で折ると重なる図形。点対称は中心のまわりに180°回すと重なる図形です。

例 正方形の対称の軸は4本。対角線の交点を中心とする点対称でもあります。

(1) 正3角形の対称の軸は何本ですか。

答え

(2) 横13cm、たて11cmの長方形（正方形ではない）は点対称ですか。

答え

(3) 線対称の図形で、点Aは対称の軸から11cm離れています。対応する点Bは軸から何cmですか。



答え

(4) 点対称の図形で、対応する点AとBの距離は26cm。対称の中心OとAの距離は何cmですか。

答え

(5) 線対称の図形で、長さ24cmの辺に対応する辺の長さは何cmですか。

答え

(6) 正3角形は点対称ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

線対称と点対称 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 3本

正多角形では、辺の数と対称の軸の本数が同じです。

(2) 点対称

対角線の交点を中心に180°回すと重なります。

(3) 11cm

対応する2点は、軸から同じ距離です。

(4) 13cm

対称の中心は、対応する2点を結ぶ線分の真ん中です。

(5) 24cm

折り重なる辺どうしの長さは等しくなります。

(6) 点対称ではない

中心のまわりに180°回して重なるかを調べます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

線対称と点対称

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 線対称は軸で折ると重なる図形。点対称は中心のまわりに180°回すと重なる図形です。

例 正方形の対称の軸は4本。対角線の交点を中心とする点対称でもあります。

(1) 正3角形の対称の軸は何本ですか。

答え

(2) 横14cm、たて12cmの長方形（正方形ではない）は点対称ですか。

答え

(3) 線対称の図形で、点Aは対称の軸から12cm離れています。対応する点Bは軸から何cmですか。



答え

(4) 点対称の図形で、対応する点AとBの距離は28cm。対称の中心OとAの距離は何cmですか。

答え

(5) 線対称の図形で、長さ26cmの辺に対応する辺の長さは何cmですか。

答え

(6) 正3角形は点対称ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

線対称と点対称 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 3本

正多角形では、辺の数と対称の軸の本数が同じです。

(2) 点対称

対角線の交点を中心に180°回すと重なります。

(3) 12cm

対応する2点は、軸から同じ距離です。

(4) 14cm

対称の中心は、対応する2点を結ぶ線分の真ん中です。

(5) 26cm

折り重なる辺どうしの長さは等しくなります。

(6) 点対称ではない

中心のまわりに180°回して重なるかを調べます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

線対称と点対称

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 線対称は軸で折ると重なる図形。点対称は中心のまわりに180°回すと重なる図形です。

例 正方形の対称の軸は4本。対角線の交点を中心とする点対称でもあります。

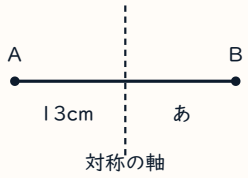
(1) 正3角形の対称の軸は何本ですか。

答え

(2) 横15cm、たて13cmの長方形（正方形ではない）は点対称ですか。

答え

(3) 線対称の図形で、点Aは対称の軸から13cm離れています。対応する点Bは軸から何cmですか。



答え

(4) 点対称の図形で、対応する点AとBの距離は30cm。対称の中心OとAの距離は何cmですか。

答え

(5) 線対称の図形で、長さ28cmの辺に対応する辺の長さは何cmですか。

答え

(6) 正3角形は点対称ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

線対称と点対称 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 3本

正多角形では、辺の数と対称の軸の本数が同じです。

(2) 点対称

対角線の交点を中心に180°回すと重なります。

(3) 13cm

対応する2点は、軸から同じ距離です。

(4) 15cm

対称の中心は、対応する2点を結ぶ線分の真ん中です。

(5) 28cm

折り重なる辺どうしの長さは等しくなります。

(6) 点対称ではない

中心のまわりに180°回して重なるかを調べます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

線対称と点対称

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 線対称は軸で折ると重なる図形。点対称は中心のまわりに180°回すと重なる図形です。

例 正方形の対称の軸は4本。対角線の交点を中心とする点対称でもあります。

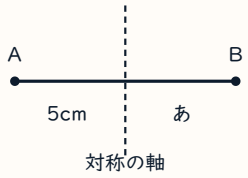
(1) 正4角形の対称の軸は何本ですか。

答え

(2) 横7cm、たて5cmの長方形（正方形ではない）は点対称ですか。

答え

(3) 線対称の図形で、点Aは対称の軸から5cm離れています。対応する点Bは軸から何cmですか。



答え

(4) 点対称の図形で、対応する点AとBの距離は14cm。対称の中心OとAの距離は何cmですか。

答え

(5) 線対称の図形で、長さ12cmの辺に対応する辺の長さは何cmですか。

答え

(6) 正4角形は点対称ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

線対称と点対称 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 4本

正多角形では、辺の数と対称の軸の本数が同じです。

(2) 点対称

対角線の交点を中心に180°回すと重なります。

(3) 5cm

対応する2点は、軸から同じ距離です。

(4) 7cm

対称の中心は、対応する2点を結ぶ線分の真ん中です。

(5) 12cm

折り重なる辺どうしの長さは等しくなります。

(6) 点対称

中心のまわりに180°回して重なるかを調べます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

線対称と点対称

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 線対称は軸で折ると重なる図形。点対称は中心のまわりに180°回すと重なる図形です。

例 正方形の対称の軸は4本。対角線の交点を中心とする点対称でもあります。

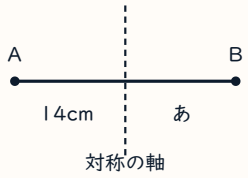
(1) 正4角形の対称の軸は何本ですか。

答え

(2) 横16cm、たて14cmの長方形（正方形ではない）は点対称ですか。

答え

(3) 線対称の図形で、点Aは対称の軸から14cm離れています。対応する点Bは軸から何cmですか。



答え

(4) 点対称の図形で、対応する点AとBの距離は32cm。対称の中心OとAの距離は何cmですか。

答え

(5) 線対称の図形で、長さ30cmの辺に対応する辺の長さは何cmですか。

答え

(6) 正4角形は点対称ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

線対称と点対称 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 4本

正多角形では、辺の数と対称の軸の本数が同じです。

(2) 点対称

対角線の交点を中心に180°回すと重なります。

(3) 14cm

対応する2点は、軸から同じ距離です。

(4) 16cm

対称の中心は、対応する2点を結ぶ線分の真ん中です。

(5) 30cm

折り重なる辺どうしの長さは等しくなります。

(6) 点対称

中心のまわりに180°回して重なるかを調べます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

線対称と点対称

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 線対称は軸で折ると重なる図形。点対称は中心のまわりに180°回すと重なる図形です。

例 正方形の対称の軸は4本。対角線の交点を中心とする点対称でもあります。

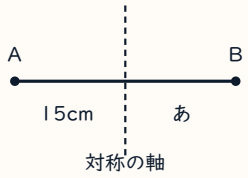
(1) 正4角形の対称の軸は何本ですか。

答え

(2) 横17cm、たて15cmの長方形（正方形ではない）は点対称ですか。

答え

(3) 線対称の図形で、点Aは対称の軸から15cm離れています。対応する点Bは軸から何cmですか。



答え

(4) 点対称の図形で、対応する点AとBの距離は34cm。対称の中心OとAの距離は何cmですか。

答え

(5) 線対称の図形で、長さ32cmの辺に対応する辺の長さは何cmですか。

答え

(6) 正4角形は点対称ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

線対称と点対称 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 4本

正多角形では、辺の数と対称の軸の本数が同じです。

(2) 点対称

対角線の交点を中心に180°回すと重なります。

(3) 15cm

対応する2点は、軸から同じ距離です。

(4) 17cm

対称の中心は、対応する2点を結ぶ線分の真ん中です。

(5) 32cm

折り重なる辺どうしの長さは等しくなります。

(6) 点対称

中心のまわりに180°回して重なるかを調べます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

線対称と点対称

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 線対称は軸で折ると重なる図形。点対称は中心のまわりに180°回すと重なる図形です。

例 正方形の対称の軸は4本。対角線の交点を中心とする点対称でもあります。

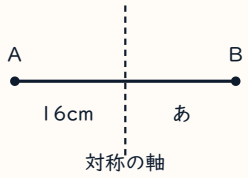
(1) 正4角形の対称の軸は何本ですか。

答え

(2) 横18cm、たて16cmの長方形（正方形ではない）は点対称ですか。

答え

(3) 線対称の図形で、点Aは対称の軸から16cm離れています。対応する点Bは軸から何cmですか。



答え

(4) 点対称の図形で、対応する点AとBの距離は36cm。対称の中心OとAの距離は何cmですか。

答え

(5) 線対称の図形で、長さ34cmの辺に対応する辺の長さは何cmですか。

答え

(6) 正4角形は点対称ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

線対称と点対称 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 4本

正多角形では、辺の数と対称の軸の本数が同じです。

(2) 点対称

対角線の交点を中心に180°回すと重なります。

(3) 16cm

対応する2点は、軸から同じ距離です。

(4) 18cm

対称の中心は、対応する2点を結ぶ線分の真ん中です。

(5) 34cm

折り重なる辺どうしの長さは等しくなります。

(6) 点対称

中心のまわりに180°回して重なるかを調べます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

線対称と点対称

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 線対称は軸で折ると重なる図形。点対称は中心のまわりに180°回すと重なる図形です。

例 正方形の対称の軸は4本。対角線の交点を中心とする点対称でもあります。

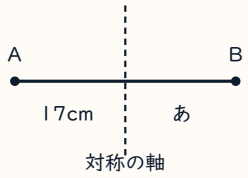
(1) 正4角形の対称の軸は何本ですか。

答え

(2) 横19cm、たて17cmの長方形（正方形ではない）は点対称ですか。

答え

(3) 線対称の図形で、点Aは対称の軸から17cm離れています。対応する点Bは軸から何cmですか。



答え

(4) 点対称の図形で、対応する点AとBの距離は38cm。対称の中心OとAの距離は何cmですか。

答え

(5) 線対称の図形で、長さ36cmの辺に対応する辺の長さは何cmですか。

答え

(6) 正4角形は点対称ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

線対称と点対称 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 4本

正多角形では、辺の数と対称の軸の本数が同じです。

(2) 点対称

対角線の交点を中心に180°回すと重なります。

(3) 17cm

対応する2点は、軸から同じ距離です。

(4) 19cm

対称の中心は、対応する2点を結ぶ線分の真ん中です。

(5) 36cm

折り重なる辺どうしの長さは等しくなります。

(6) 点対称

中心のまわりに180°回して重なるかを調べます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

線対称と点対称

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 線対称は軸で折ると重なる図形。点対称は中心のまわりに180°回すと重なる図形です。

例 正方形の対称の軸は4本。対角線の交点を中心とする点対称でもあります。

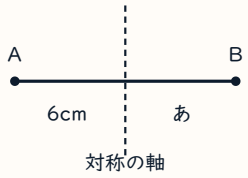
(1) 正5角形の対称の軸は何本ですか。

答え

(2) 横8cm、たて6cmの長方形（正方形ではない）は点対称ですか。

答え

(3) 線対称の図形で、点Aは対称の軸から6cm離れています。対応する点Bは軸から何cmですか。



答え

(4) 点対称の図形で、対応する点AとBの距離は16cm。対称の中心OとAの距離は何cmですか。

答え

(5) 線対称の図形で、長さ14cmの辺に対応する辺の長さは何cmですか。

答え

(6) 正5角形は点対称ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

線対称と点対称 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 5本

正多角形では、辺の数と対称の軸の本数が同じです。

(2) 点対称

対角線の交点を中心に180°回すと重なります。

(3) 6cm

対応する2点は、軸から同じ距離です。

(4) 8cm

対称の中心は、対応する2点を結ぶ線分の真ん中です。

(5) 14cm

折り重なる辺どうしの長さは等しくなります。

(6) 点対称ではない

中心のまわりに180°回して重なるかを調べます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

線対称と点対称

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 線対称は軸で折ると重なる図形。点対称は中心のまわりに180°回すと重なる図形です。

例 正方形の対称の軸は4本。対角線の交点を中心とする点対称でもあります。

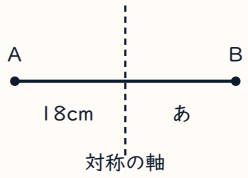
(1) 正5角形の対称の軸は何本ですか。

答え

(2) 横20cm、たて18cmの長方形（正方形ではない）は点対称ですか。

答え

(3) 線対称の図形で、点Aは対称の軸から18cm離れています。対応する点Bは軸から何cmですか。



答え

(4) 点対称の図形で、対応する点AとBの距離は40cm。対称の中心OとAの距離は何cmですか。

答え

(5) 線対称の図形で、長さ38cmの辺に対応する辺の長さは何cmですか。

答え

(6) 正5角形は点対称ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

線対称と点対称 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 5本

正多角形では、辺の数と対称の軸の本数が同じです。

(2) 点対称

対角線の交点を中心に180°回すと重なります。

(3) 18cm

対応する2点は、軸から同じ距離です。

(4) 20cm

対称の中心は、対応する2点を結ぶ線分の真ん中です。

(5) 38cm

折り重なる辺どうしの長さは等しくなります。

(6) 点対称ではない

中心のまわりに180°回して重なるかを調べます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

線対称と点対称

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 線対称は軸で折ると重なる図形。点対称は中心のまわりに180°回すと重なる図形です。

例 正方形の対称の軸は4本。対角線の交点を中心とする点対称でもあります。

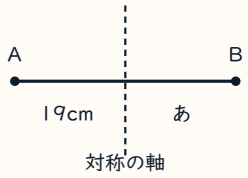
(1) 正5角形の対称の軸は何本ですか。

答え

(2) 横21cm、たて19cmの長方形（正方形ではない）は点対称ですか。

答え

(3) 線対称の図形で、点Aは対称の軸から19cm離れています。対応する点Bは軸から何cmですか。



答え

(4) 点対称の図形で、対応する点AとBの距離は42cm。対称の中心OとAの距離は何cmですか。

答え

(5) 線対称の図形で、長さ40cmの辺に対応する辺の長さは何cmですか。

答え

(6) 正5角形は点対称ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

線対称と点対称 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 5本

正多角形では、辺の数と対称の軸の本数が同じです。

(2) 点対称

対角線の交点を中心に180°回すと重なります。

(3) 19cm

対応する2点は、軸から同じ距離です。

(4) 21cm

対称の中心は、対応する2点を結ぶ線分の真ん中です。

(5) 40cm

折り重なる辺どうしの長さは等しくなります。

(6) 点対称ではない

中心のまわりに180°回して重なるかを調べます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

線対称と点対称

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 線対称は軸で折ると重なる図形。点対称は中心のまわりに180°回すと重なる図形です。

例 正方形の対称の軸は4本。対角線の交点を中心とする点対称でもあります。

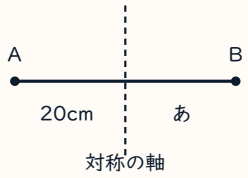
(1) 正5角形の対称の軸は何本ですか。

答え

(2) 横22cm、たて20cmの長方形（正方形ではない）は点対称ですか。

答え

(3) 線対称の図形で、点Aは対称の軸から20cm離れています。対応する点Bは軸から何cmですか。



答え

(4) 点対称の図形で、対応する点AとBの距離は44cm。対称の中心OとAの距離は何cmですか。

答え

(5) 線対称の図形で、長さ42cmの辺に対応する辺の長さは何cmですか。

答え

(6) 正5角形は点対称ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

線対称と点対称 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 5本

正多角形では、辺の数と対称の軸の本数が同じです。

(2) 点対称

対角線の交点を中心に180°回すと重なります。

(3) 20cm

対応する2点は、軸から同じ距離です。

(4) 22cm

対称の中心は、対応する2点を結ぶ線分の真ん中です。

(5) 42cm

折り重なる辺どうしの長さは等しくなります。

(6) 点対称ではない

中心のまわりに180°回して重なるかを調べます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

線対称と点対称

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 線対称は軸で折ると重なる図形。点対称は中心のまわりに180°回すと重なる図形です。

例 正方形の対称の軸は4本。対角線の交点を中心とする点対称でもあります。

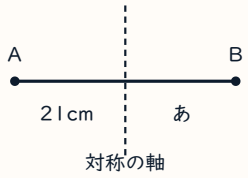
(1) 正5角形の対称の軸は何本ですか。

答え

(2) 横23cm、たて21cmの長方形（正方形ではない）は点対称ですか。

答え

(3) 線対称の図形で、点Aは対称の軸から21cm離れています。対応する点Bは軸から何cmですか。



答え

(4) 点対称の図形で、対応する点AとBの距離は46cm。対称の中心OとAの距離は何cmですか。

答え

(5) 線対称の図形で、長さ44cmの辺に対応する辺の長さは何cmですか。

答え

(6) 正5角形は点対称ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

線対称と点対称 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 5本

正多角形では、辺の数と対称の軸の本数が同じです。

(2) 点対称

対角線の交点を中心に180°回すと重なります。

(3) 21cm

対応する2点は、軸から同じ距離です。

(4) 23cm

対称の中心は、対応する2点を結ぶ線分の真ん中です。

(5) 44cm

折り重なる辺どうしの長さは等しくなります。

(6) 点対称ではない

中心のまわりに180°回して重なるかを調べます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

線対称と点対称

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 線対称は軸で折ると重なる図形。点対称は中心のまわりに180°回すと重なる図形です。

例 正方形の対称の軸は4本。対角線の交点を中心とする点対称でもあります。

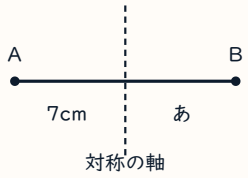
(1) 正6角形の対称の軸は何本ですか。

答え

(2) 横9cm、たて7cmの長方形（正方形ではない）は点対称ですか。

答え

(3) 線対称の図形で、点Aは対称の軸から7cm離れています。対応する点Bは軸から何cmですか。



答え

(4) 点対称の図形で、対応する点AとBの距離は18cm。対称の中心OとAの距離は何cmですか。

答え

(5) 線対称の図形で、長さ16cmの辺に対応する辺の長さは何cmですか。

答え

(6) 正6角形は点対称ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

線対称と点対称 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 6本

正多角形では、辺の数と対称の軸の本数が同じです。

(2) 点対称

対角線の交点を中心に180°回すと重なります。

(3) 7cm

対応する2点は、軸から同じ距離です。

(4) 9cm

対称の中心は、対応する2点を結ぶ線分の真ん中です。

(5) 16cm

折り重なる辺どうしの長さは等しくなります。

(6) 点対称

中心のまわりに180°回して重なるかを調べます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

線対称と点対称

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 線対称は軸で折ると重なる図形。点対称は中心のまわりに180°回すと重なる図形です。

例 正方形の対称の軸は4本。対角線の交点を中心とする点対称でもあります。

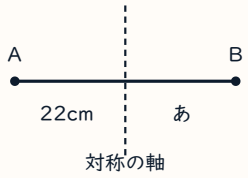
(1) 正6角形の対称の軸は何本ですか。

答え

(2) 横24cm、たて22cmの長方形（正方形ではない）は点対称ですか。

答え

(3) 線対称の図形で、点Aは対称の軸から22cm離れています。対応する点Bは軸から何cmですか。



答え

(4) 点対称の図形で、対応する点AとBの距離は48cm。対称の中心OとAの距離は何cmですか。

答え

(5) 線対称の図形で、長さ46cmの辺に対応する辺の長さは何cmですか。

答え

(6) 正6角形は点対称ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

線対称と点対称 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 6本

正多角形では、辺の数と対称の軸の本数が同じです。

(2) 点対称

対角線の交点を中心に180°回すと重なります。

(3) 22cm

対応する2点は、軸から同じ距離です。

(4) 24cm

対称の中心は、対応する2点を結ぶ線分の真ん中です。

(5) 46cm

折り重なる辺どうしの長さは等しくなります。

(6) 点対称

中心のまわりに180°回して重なるかを調べます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

線対称と点対称

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 線対称は軸で折ると重なる図形。点対称は中心のまわりに180°回すと重なる図形です。

例 正方形の対称の軸は4本。対角線の交点を中心とする点対称でもあります。

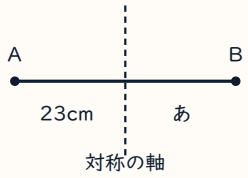
(1) 正6角形の対称の軸は何本ですか。

答え

(2) 横25cm、たて23cmの長方形（正方形ではない）は点対称ですか。

答え

(3) 線対称の図形で、点Aは対称の軸から23cm離れています。対応する点Bは軸から何cmですか。



答え

(4) 点対称の図形で、対応する点AとBの距離は50cm。対称の中心OとAの距離は何cmですか。

答え

(5) 線対称の図形で、長さ48cmの辺に対応する辺の長さは何cmですか。

答え

(6) 正6角形は点対称ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

線対称と点対称 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 6本

正多角形では、辺の数と対称の軸の本数が同じです。

(2) 点対称

対角線の交点を中心に180°回すと重なります。

(3) 23cm

対応する2点は、軸から同じ距離です。

(4) 25cm

対称の中心は、対応する2点を結ぶ線分の真ん中です。

(5) 48cm

折り重なる辺どうしの長さは等しくなります。

(6) 点対称

中心のまわりに180°回して重なるかを調べます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

線対称と点対称

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 線対称は軸で折ると重なる図形。点対称は中心のまわりに180°回すと重なる図形です。

例 正方形の対称の軸は4本。対角線の交点を中心とする点対称でもあります。

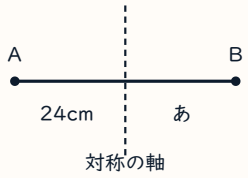
(1) 正6角形の対称の軸は何本ですか。

答え

(2) 横26cm、たて24cmの長方形（正方形ではない）は点対称ですか。

答え

(3) 線対称の図形で、点Aは対称の軸から24cm離れています。対応する点Bは軸から何cmですか。



答え

(4) 点対称の図形で、対応する点AとBの距離は52cm。対称の中心OとAの距離は何cmですか。

答え

(5) 線対称の図形で、長さ50cmの辺に対応する辺の長さは何cmですか。

答え

(6) 正6角形は点対称ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

線対称と点対称 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 6本

正多角形では、辺の数と対称の軸の本数が同じです。

(2) 点対称

対角線の交点を中心に180°回すと重なります。

(3) 24cm

対応する2点は、軸から同じ距離です。

(4) 26cm

対称の中心は、対応する2点を結ぶ線分の真ん中です。

(5) 50cm

折り重なる辺どうしの長さは等しくなります。

(6) 点対称

中心のまわりに180°回して重なるかを調べます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

線対称と点対称

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 線対称は軸で折ると重なる図形。点対称は中心のまわりに180°回すと重なる図形です。

例 正方形の対称の軸は4本。対角線の交点を中心とする点対称でもあります。

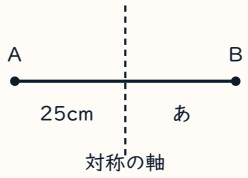
(1) 正6角形の対称の軸は何本ですか。

答え

(2) 横27cm、たて25cmの長方形（正方形ではない）は点対称ですか。

答え

(3) 線対称の図形で、点Aは対称の軸から25cm離れています。対応する点Bは軸から何cmですか。



答え

(4) 点対称の図形で、対応する点AとBの距離は54cm。対称の中心OとAの距離は何cmですか。

答え

(5) 線対称の図形で、長さ52cmの辺に対応する辺の長さは何cmですか。

答え

(6) 正6角形は点対称ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

線対称と点対称 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 6本

正多角形では、辺の数と対称の軸の本数が同じです。

(2) 点対称

対角線の交点を中心に180°回すと重なります。

(3) 25cm

対応する2点は、軸から同じ距離です。

(4) 27cm

対称の中心は、対応する2点を結ぶ線分の真ん中です。

(5) 52cm

折り重なる辺どうしの長さは等しくなります。

(6) 点対称

中心のまわりに180°回して重なるかを調べます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

線対称と点対称

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 線対称は軸で折ると重なる図形。点対称は中心のまわりに180°回すと重なる図形です。

例 正方形の対称の軸は4本。対角線の交点を中心とする点対称でもあります。

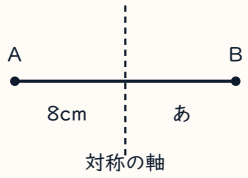
(1) 正8角形の対称の軸は何本ですか。

答え

(2) 横10cm、たて8cmの長方形（正方形ではない）は点対称ですか。

答え

(3) 線対称の図形で、点Aは対称の軸から8cm離れています。対応する点Bは軸から何cmですか。



答え

(4) 点対称の図形で、対応する点AとBの距離は20cm。対称の中心OとAの距離は何cmですか。

答え

(5) 線対称の図形で、長さ18cmの辺に対応する辺の長さは何cmですか。

答え

(6) 正8角形は点対称ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

線対称と点対称 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 8本

正多角形では、辺の数と対称の軸の本数が同じです。

(2) 点対称

対角線の交点を中心に180°回すと重なります。

(3) 8cm

対応する2点は、軸から同じ距離です。

(4) 10cm

対称の中心は、対応する2点を結ぶ線分の真ん中です。

(5) 18cm

折り重なる辺どうしの長さは等しくなります。

(6) 点対称

中心のまわりに180°回して重なるかを調べます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

線対称と点対称

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 線対称は軸で折ると重なる図形。点対称は中心のまわりに180°回すと重なる図形です。

例 正方形の対称の軸は4本。対角線の交点を中心とする点対称でもあります。

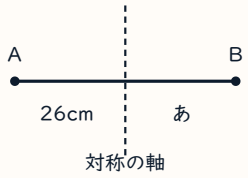
(1) 正8角形の対称の軸は何本ですか。

答え

(2) 横28cm、たて26cmの長方形（正方形ではない）は点対称ですか。

答え

(3) 線対称の図形で、点Aは対称の軸から26cm離れています。対応する点Bは軸から何cmですか。



答え

(4) 点対称の図形で、対応する点AとBの距離は56cm。対称の中心OとAの距離は何cmですか。

答え

(5) 線対称の図形で、長さ54cmの辺に対応する辺の長さは何cmですか。

答え

(6) 正8角形は点対称ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

線対称と点対称 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 8本

正多角形では、辺の数と対称の軸の本数が同じです。

(2) 点対称

対角線の交点を中心に180°回すと重なります。

(3) 26cm

対応する2点は、軸から同じ距離です。

(4) 28cm

対称の中心は、対応する2点を結ぶ線分の真ん中です。

(5) 54cm

折り重なる辺どうしの長さは等しくなります。

(6) 点対称

中心のまわりに180°回して重なるかを調べます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

線対称と点対称

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 線対称は軸で折ると重なる図形。点対称は中心のまわりに180°回すと重なる図形です。

例 正方形の対称の軸は4本。対角線の交点を中心とする点対称でもあります。

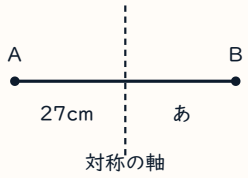
(1) 正8角形の対称の軸は何本ですか。

答え

(2) 横29cm、たて27cmの長方形（正方形ではない）は点対称ですか。

答え

(3) 線対称の図形で、点Aは対称の軸から27cm離れています。対応する点Bは軸から何cmですか。



答え

(4) 点対称の図形で、対応する点AとBの距離は58cm。対称の中心OとAの距離は何cmですか。

答え

(5) 線対称の図形で、長さ56cmの辺に対応する辺の長さは何cmですか。

答え

(6) 正8角形は点対称ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

線対称と点対称 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 8本

正多角形では、辺の数と対称の軸の本数が同じです。

(2) 点対称

対角線の交点を中心に180°回すと重なります。

(3) 27cm

対応する2点は、軸から同じ距離です。

(4) 29cm

対称の中心は、対応する2点を結ぶ線分の真ん中です。

(5) 56cm

折り重なる辺どうしの長さは等しくなります。

(6) 点対称

中心のまわりに180°回して重なるかを調べます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

線対称と点対称

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 線対称は軸で折ると重なる図形。点対称は中心のまわりに180°回すと重なる図形です。

例 正方形の対称の軸は4本。対角線の交点を中心とする点対称でもあります。

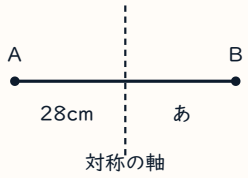
(1) 正8角形の対称の軸は何本ですか。

答え

(2) 横30cm、たて28cmの長方形（正方形ではない）は点対称ですか。

答え

(3) 線対称の図形で、点Aは対称の軸から28cm離れています。対応する点Bは軸から何cmですか。



答え

(4) 点対称の図形で、対応する点AとBの距離は60cm。対称の中心OとAの距離は何cmですか。

答え

(5) 線対称の図形で、長さ58cmの辺に対応する辺の長さは何cmですか。

答え

(6) 正8角形は点対称ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

線対称と点対称 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 8本

正多角形では、辺の数と対称の軸の本数が同じです。

(2) 点対称

対角線の交点を中心に180°回すと重なります。

(3) 28cm

対応する2点は、軸から同じ距離です。

(4) 30cm

対称の中心は、対応する2点を結ぶ線分の真ん中です。

(5) 58cm

折り重なる辺どうしの長さは等しくなります。

(6) 点対称

中心のまわりに180°回して重なるかを調べます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

線対称と点対称

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 線対称は軸で折ると重なる図形。点対称は中心のまわりに180°回すと重なる図形です。

例 正方形の対称の軸は4本。対角線の交点を中心とする点対称でもあります。

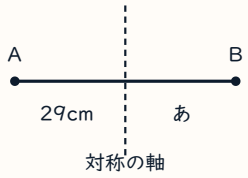
(1) 正8角形の対称の軸は何本ですか。

答え

(2) 横31cm、たて29cmの長方形（正方形ではない）は点対称ですか。

答え

(3) 線対称の図形で、点Aは対称の軸から29cm離れています。対応する点Bは軸から何cmですか。



答え

(4) 点対称の図形で、対応する点AとBの距離は62cm。対称の中心OとAの距離は何cmですか。

答え

(5) 線対称の図形で、長さ60cmの辺に対応する辺の長さは何cmですか。

答え

(6) 正8角形は点対称ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

線対称と点対称 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 8本

正多角形では、辺の数と対称の軸の本数が同じです。

(2) 点対称

対角線の交点を中心に180°回すと重なります。

(3) 29cm

対応する2点は、軸から同じ距離です。

(4) 31cm

対称の中心は、対応する2点を結ぶ線分の真ん中です。

(5) 60cm

折り重なる辺どうしの長さは等しくなります。

(6) 点対称

中心のまわりに180°回して重なるかを調べます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

線対称と点対称

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 線対称は軸で折ると重なる図形。点対称は中心のまわりに180°回すと重なる図形です。

例 正方形の対称の軸は4本。対角線の交点を中心とする点対称でもあります。

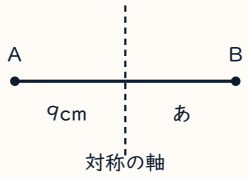
(1) 正10角形の対称の軸は何本ですか。

答え

(2) 横11cm、たて9cmの長方形（正方形ではない）は点対称ですか。

答え

(3) 線対称の図形で、点Aは対称の軸から9cm離れています。対応する点Bは軸から何cmですか。



答え

(4) 点対称の図形で、対応する点AとBの距離は22cm。対称の中心OとAの距離は何cmですか。

答え

(5) 線対称の図形で、長さ20cmの辺に対応する辺の長さは何cmですか。

答え

(6) 正10角形は点対称ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

線対称と点対称 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 10本

正多角形では、辺の数と対称の軸の本数が同じです。

(2) 点対称

対角線の交点を中心に180°回すと重なります。

(3) 9cm

対応する2点は、軸から同じ距離です。

(4) 11cm

対称の中心は、対応する2点を結ぶ線分の真ん中です。

(5) 20cm

折り重なる辺どうしの長さは等しくなります。

(6) 点対称

中心のまわりに180°回して重なるかを調べます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

線対称と点対称

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 線対称は軸で折ると重なる図形。点対称は中心のまわりに180°回すと重なる図形です。

例 正方形の対称の軸は4本。対角線の交点を中心とする点対称でもあります。

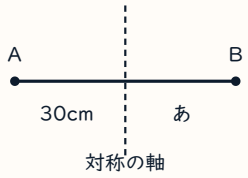
(1) 正10角形の対称の軸は何本ですか。

答え

(2) 横32cm、たて30cmの長方形（正方形ではない）は点対称ですか。

答え

(3) 線対称の図形で、点Aは対称の軸から30cm離れています。対応する点Bは軸から何cmですか。



答え

(4) 点対称の図形で、対応する点AとBの距離は64cm。対称の中心OとAの距離は何cmですか。

答え

(5) 線対称の図形で、長さ62cmの辺に対応する辺の長さは何cmですか。

答え

(6) 正10角形は点対称ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

線対称と点対称 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 10本

正多角形では、辺の数と対称の軸の本数が同じです。

(2) 点対称

対角線の交点を中心に180°回すと重なります。

(3) 30cm

対応する2点は、軸から同じ距離です。

(4) 32cm

対称の中心は、対応する2点を結ぶ線分の真ん中です。

(5) 62cm

折り重なる辺どうしの長さは等しくなります。

(6) 点対称

中心のまわりに180°回して重なるかを調べます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

線対称と点対称

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 線対称は軸で折ると重なる図形。点対称は中心のまわりに180°回すと重なる図形です。

例 正方形の対称の軸は4本。対角線の交点を中心とする点対称でもあります。

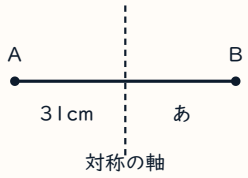
(1) 正10角形の対称の軸は何本ですか。

答え

(2) 横33cm、たて31cmの長方形（正方形ではない）は点対称ですか。

答え

(3) 線対称の図形で、点Aは対称の軸から31cm離れています。対応する点Bは軸から何cmですか。



答え

(4) 点対称の図形で、対応する点AとBの距離は66cm。対称の中心OとAの距離は何cmですか。

答え

(5) 線対称の図形で、長さ64cmの辺に対応する辺の長さは何cmですか。

答え

(6) 正10角形は点対称ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

線対称と点対称 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 10本

正多角形では、辺の数と対称の軸の本数が同じです。

(2) 点対称

対角線の交点を中心に180°回すと重なります。

(3) 31cm

対応する2点は、軸から同じ距離です。

(4) 33cm

対称の中心は、対応する2点を結ぶ線分の真ん中です。

(5) 64cm

折り重なる辺どうしの長さは等しくなります。

(6) 点対称

中心のまわりに180°回して重なるかを調べます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

線対称と点対称

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 線対称は軸で折ると重なる図形。点対称は中心のまわりに180°回すと重なる図形です。

例 正方形の対称の軸は4本。対角線の交点を中心とする点対称でもあります。

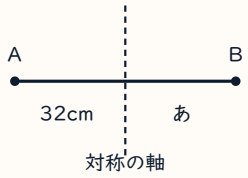
(1) 正10角形の対称の軸は何本ですか。

答え

(2) 横34cm、たて32cmの長方形（正方形ではない）は点対称ですか。

答え

(3) 線対称の図形で、点Aは対称の軸から32cm離れています。対応する点Bは軸から何cmですか。



答え

(4) 点対称の図形で、対応する点AとBの距離は68cm。対称の中心OとAの距離は何cmですか。

答え

(5) 線対称の図形で、長さ66cmの辺に対応する辺の長さは何cmですか。

答え

(6) 正10角形は点対称ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

線対称と点対称 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 10本

正多角形では、辺の数と対称の軸の本数が同じです。

(2) 点対称

対角線の交点を中心に180°回すと重なります。

(3) 32cm

対応する2点は、軸から同じ距離です。

(4) 34cm

対称の中心は、対応する2点を結ぶ線分の真ん中です。

(5) 66cm

折り重なる辺どうしの長さは等しくなります。

(6) 点対称

中心のまわりに180°回して重なるかを調べます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

線対称と点対称

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 線対称は軸で折ると重なる図形。点対称は中心のまわりに180°回すと重なる図形です。

例 正方形の対称の軸は4本。対角線の交点を中心とする点対称でもあります。

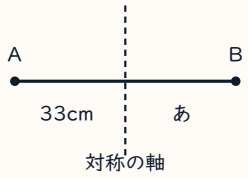
(1) 正10角形の対称の軸は何本ですか。

答え

(2) 横35cm、たて33cmの長方形（正方形ではない）は点対称ですか。

答え

(3) 線対称の図形で、点Aは対称の軸から33cm離れています。対応する点Bは軸から何cmですか。



答え

(4) 点対称の図形で、対応する点AとBの距離は70cm。対称の中心OとAの距離は何cmですか。

答え

(5) 線対称の図形で、長さ68cmの辺に対応する辺の長さは何cmですか。

答え

(6) 正10角形は点対称ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

線対称と点対称 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 10本

正多角形では、辺の数と対称の軸の本数が同じです。

(2) 点対称

対角線の交点を中心に180°回すと重なります。

(3) 33cm

対応する2点は、軸から同じ距離です。

(4) 35cm

対称の中心は、対応する2点を結ぶ線分の真ん中です。

(5) 68cm

折り重なる辺どうしの長さは等しくなります。

(6) 点対称

中心のまわりに180°回して重なるかを調べます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

拡大図・縮図と縮尺

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 対応する辺は同じ倍率で変わります。角は変わりません。縮尺の計算は単位をそろえます。

例 縮尺1：1000で2cmは、実際には2000cm＝20mです。

(1) 5cmの辺を2倍に拡大します。対応する辺は何cmですか。

答え

(2) 10cmの辺を$\frac{1}{2}$に縮小します。何cmですか。

答え

(3) もとの辺5cmが、拡大後10cmになりました。倍率はいくつですか。

答え

(4) 縮尺1：2000の地図で5cmの長さは、実際には何mですか。

答え

(5) 実際の長さ100mを、縮尺1：2000の図で表します。何cmですか。

答え

(6) 50°の角がある図形を2倍に拡大します。この角は何度になりますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

拡大図・縮図と縮尺 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 10cm

対応する辺の長さを同じ倍率でかけます。

(2) 5cm

縮小の倍率をかけます。

(3) 2倍

拡大後÷もとの長さ。

(4) 100m

まず実際のcmを求め、100でわってmへ。

(5) 5cm

実際の長さをcmに直してから縮めます。

(6) 50°

拡大・縮小しても、対応する角の大きさは変わりません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

拡大図・縮図と縮尺

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 対応する辺は同じ倍率で変わります。角は変わりません。縮尺の計算は単位をそろえます。

例 縮尺1：1000で2cmは、実際には2000cm＝20mです。

(1) 11cmの辺を2倍に拡大します。対応する辺は何cmですか。

答え

(2) 22cmの辺を$\frac{1}{2}$に縮小します。何cmですか。

答え

(3) もとの辺11cmが、拡大後22cmになりました。倍率はいくつですか。

答え

(4) 縮尺1：2000の地図で11cmの長さは、実際には何mですか。

答え

(5) 実際の長さ220mを、縮尺1：2000の図で表します。何cmですか。

答え

(6) 50°の角がある図形を2倍に拡大します。この角は何度になりますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

拡大図・縮図と縮尺 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 22cm

対応する辺の長さを同じ倍率でかけます。

(2) 11cm

縮小の倍率をかけます。

(3) 2倍

拡大後÷もとの長さ。

(4) 220m

まず実際のcmを求め、100でわってmへ。

(5) 11cm

実際の長さをcmに直してから縮めます。

(6) 50°

拡大・縮小しても、対応する角の大きさは変わりません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

拡大図・縮図と縮尺

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 対応する辺は同じ倍率で変わります。角は変わりません。縮尺の計算は単位をそろえます。

例 縮尺1：1000で2cmは、実際には2000cm＝20mです。

(1) 12cmの辺を2倍に拡大します。対応する辺は何cmですか。

答え

(2) 24cmの辺を$\frac{1}{2}$に縮小します。何cmですか。

答え

(3) もとの辺12cmが、拡大後24cmになりました。倍率はいくつですか。

答え

(4) 縮尺1：2000の地図で12cmの長さは、実際には何mですか。

答え

(5) 実際の長さ240mを、縮尺1：2000の図で表します。何cmですか。

答え

(6) 50°の角がある図形を2倍に拡大します。この角は何度になりますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

拡大図・縮図と縮尺 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 24cm

対応する辺の長さを同じ倍率でかけます。

(2) 12cm

縮小の倍率をかけます。

(3) 2倍

拡大後÷もとの長さ。

(4) 240m

まず実際のcmを求め、100でわってmへ。

(5) 12cm

実際の長さをcmに直してから縮めます。

(6) 50°

拡大・縮小しても、対応する角の大きさは変わりません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

拡大図・縮図と縮尺

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 対応する辺は同じ倍率で変わります。角は変わりません。縮尺の計算は単位をそろえます。

例 縮尺1：1000で2cmは、実際には2000cm＝20mです。

(1) 13cmの辺を2倍に拡大します。対応する辺は何cmですか。

答え

(2) 26cmの辺を$\frac{1}{2}$に縮小します。何cmですか。

答え

(3) もとの辺13cmが、拡大後26cmになりました。倍率はいくつですか。

答え

(4) 縮尺1：2000の地図で13cmの長さは、実際には何mですか。

答え

(5) 実際の長さ260mを、縮尺1：2000の図で表します。何cmですか。

答え

(6) 50°の角がある図形を2倍に拡大します。この角は何度になりますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

拡大図・縮図と縮尺 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 26cm

対応する辺の長さを同じ倍率でかけます。

(2) 13cm

縮小の倍率をかけます。

(3) 2倍

拡大後÷もとの長さ。

(4) 260m

まず実際のcmを求め、100でわってmへ。

(5) 13cm

実際の長さをcmに直してから縮めます。

(6) 50°

拡大・縮小しても、対応する角の大きさは変わりません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

拡大図・縮図と縮尺

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 対応する辺は同じ倍率で変わります。角は変わりません。縮尺の計算は単位をそろえます。

例 縮尺1：1000で2cmは、実際には2000cm＝20mです。

(1) 14cmの辺を2倍に拡大します。対応する辺は何cmですか。

答え

(2) 28cmの辺を$\frac{1}{2}$に縮小します。何cmですか。

答え

(3) もとの辺14cmが、拡大後28cmになりました。倍率はいくつですか。

答え

(4) 縮尺1：2000の地図で14cmの長さは、実際には何mですか。

答え

(5) 実際の長さ280mを、縮尺1：2000の図で表します。何cmですか。

答え

(6) 50°の角がある図形を2倍に拡大します。この角は何度になりますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

拡大図・縮図と縮尺 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 28cm

対応する辺の長さを同じ倍率でかけます。

(2) 14cm

縮小の倍率をかけます。

(3) 2倍

拡大後÷もとの長さ。

(4) 280m

まず実際のcmを求め、100でわってmへ。

(5) 14cm

実際の長さをcmに直してから縮めます。

(6) 50°

拡大・縮小しても、対応する角の大きさは変わりません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

拡大図・縮図と縮尺

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 対応する辺は同じ倍率で変わります。角は変わりません。縮尺の計算は単位をそろえます。

例 縮尺1：1000で2cmは、実際には2000cm＝20mです。

(1) 6cmの辺を3倍に拡大します。対応する辺は何cmですか。

答え

(2) 18cmの辺を$\frac{1}{3}$に縮小します。何cmですか。

答え

(3) もとの辺6cmが、拡大後18cmになりました。倍率はいくつですか。

答え

(4) 縮尺1：3000の地図で6cmの長さは、実際には何mですか。

答え

(5) 実際の長さ180mを、縮尺1：3000の図で表します。何cmですか。

答え

(6) 50°の角がある図形を3倍に拡大します。この角は何度になりますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

拡大図・縮図と縮尺 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 18cm

対応する辺の長さを同じ倍率でかけます。

(2) 6cm

縮小の倍率をかけます。

(3) 3倍

拡大後÷もとの長さ。

(4) 180m

まず実際のcmを求め、100でわってmへ。

(5) 6cm

実際の長さをcmに直してから縮めます。

(6) 50°

拡大・縮小しても、対応する角の大きさは変わりません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

拡大図・縮図と縮尺

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 対応する辺は同じ倍率で変わります。角は変わりません。縮尺の計算は単位をそろえます。

例 縮尺1：1000で2cmは、実際には2000cm＝20mです。

(1) 15cmの辺を3倍に拡大します。対応する辺は何cmですか。

答え

(2) 45cmの辺を$\frac{1}{3}$に縮小します。何cmですか。

答え

(3) もとの辺15cmが、拡大後45cmになりました。倍率はいくつですか。

答え

(4) 縮尺1：3000の地図で15cmの長さは、実際には何mですか。

答え

(5) 実際の長さ450mを、縮尺1：3000の図で表します。何cmですか。

答え

(6) 50°の角がある図形を3倍に拡大します。この角は何度になりますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

拡大図・縮図と縮尺 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 45cm

対応する辺の長さを同じ倍率でかけます。

(2) 15cm

縮小の倍率をかけます。

(3) 3倍

拡大後÷もとの長さ。

(4) 450m

まず実際のcmを求め、100でわってmへ。

(5) 15cm

実際の長さをcmに直してから縮めます。

(6) 50°

拡大・縮小しても、対応する角の大きさは変わりません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

拡大図・縮図と縮尺

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 対応する辺は同じ倍率で変わります。角は変わりません。縮尺の計算は単位をそろえます。

例 縮尺1：1000で2cmは、実際には2000cm＝20mです。

(1) 16cmの辺を3倍に拡大します。対応する辺は何cmですか。

答え

(2) 48cmの辺を$\frac{1}{3}$に縮小します。何cmですか。

答え

(3) もとの辺16cmが、拡大後48cmになりました。倍率はいくつですか。

答え

(4) 縮尺1：3000の地図で16cmの長さは、実際には何mですか。

答え

(5) 実際の長さ480mを、縮尺1：3000の図で表します。何cmですか。

答え

(6) 50°の角がある図形を3倍に拡大します。この角は何度になりますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

拡大図・縮図と縮尺 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 48cm

対応する辺の長さを同じ倍率でかけます。

(2) 16cm

縮小の倍率をかけます。

(3) 3倍

拡大後÷もとの長さ。

(4) 480m

まず実際のcmを求め、100でわってmへ。

(5) 16cm

実際の長さをcmに直してから縮めます。

(6) 50°

拡大・縮小しても、対応する角の大きさは変わりません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

拡大図・縮図と縮尺

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 対応する辺は同じ倍率で変わります。角は変わりません。縮尺の計算は単位をそろえます。

例 縮尺1：1000で2cmは、実際には2000cm＝20mです。

(1) 17cmの辺を3倍に拡大します。対応する辺は何cmですか。

答え

(2) 51cmの辺を$\frac{1}{3}$に縮小します。何cmですか。

答え

(3) もとの辺17cmが、拡大後51cmになりました。倍率はいくつですか。

答え

(4) 縮尺1：3000の地図で17cmの長さは、実際には何mですか。

答え

(5) 実際の長さ510mを、縮尺1：3000の図で表します。何cmですか。

答え

(6) 50°の角がある図形を3倍に拡大します。この角は何度になりますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

拡大図・縮図と縮尺 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 51cm

対応する辺の長さを同じ倍率でかけます。

(2) 17cm

縮小の倍率をかけます。

(3) 3倍

拡大後÷もとの長さ。

(4) 510m

まず実際のcmを求め、100でわってmへ。

(5) 17cm

実際の長さをcmに直してから縮めます。

(6) 50°

拡大・縮小しても、対応する角の大きさは変わりません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

拡大図・縮図と縮尺

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 対応する辺は同じ倍率で変わります。角は変わりません。縮尺の計算は単位をそろえます。

例 縮尺1：1000で2cmは、実際には2000cm＝20mです。

(1) 18cmの辺を3倍に拡大します。対応する辺は何cmですか。

答え

(2) 54cmの辺を$\frac{1}{3}$に縮小します。何cmですか。

答え

(3) もとの辺18cmが、拡大後54cmになりました。倍率はいくつですか。

答え

(4) 縮尺1：3000の地図で18cmの長さは、実際には何mですか。

答え

(5) 実際の長さ540mを、縮尺1：3000の図で表します。何cmですか。

答え

(6) 50°の角がある図形を3倍に拡大します。この角は何度になりますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

拡大図・縮図と縮尺 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 54cm

対応する辺の長さを同じ倍率でかけます。

(2) 18cm

縮小の倍率をかけます。

(3) 3倍

拡大後÷もとの長さ。

(4) 540m

まず実際のcmを求め、100でわってmへ。

(5) 18cm

実際の長さをcmに直してから縮めます。

(6) 50°

拡大・縮小しても、対応する角の大きさは変わりません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

拡大図・縮図と縮尺

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 対応する辺は同じ倍率で変わります。角は変わりません。縮尺の計算は単位をそろえます。

例 縮尺1：1000で2cmは、実際には2000cm＝20mです。

(1) 7cmの辺を4倍に拡大します。対応する辺は何cmですか。

答え

(2) 28cmの辺を$\frac{1}{4}$に縮小します。何cmですか。

答え

(3) もとの辺7cmが、拡大後28cmになりました。倍率はいくつですか。

答え

(4) 縮尺1：4000の地図で7cmの長さは、実際には何mですか。

答え

(5) 実際の長さ280mを、縮尺1：4000の図で表します。何cmですか。

答え

(6) 50°の角がある図形を4倍に拡大します。この角は何度になりますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

拡大図・縮図と縮尺 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 28cm

対応する辺の長さを同じ倍率でかけます。

(2) 7cm

縮小の倍率をかけます。

(3) 4倍

拡大後÷もとの長さ。

(4) 280m

まず実際のcmを求め、100でわってmへ。

(5) 7cm

実際の長さをcmに直してから縮めます。

(6) 50°

拡大・縮小しても、対応する角の大きさは変わりません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

拡大図・縮図と縮尺

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 対応する辺は同じ倍率で変わります。角は変わりません。縮尺の計算は単位をそろえます。

例 縮尺1：1000で2cmは、実際には2000cm＝20mです。

(1) 19cmの辺を4倍に拡大します。対応する辺は何cmですか。

答え

(2) 76cmの辺を$\frac{1}{4}$に縮小します。何cmですか。

答え

(3) もとの辺19cmが、拡大後76cmになりました。倍率はいくつですか。

答え

(4) 縮尺1：4000の地図で19cmの長さは、実際には何mですか。

答え

(5) 実際の長さ760mを、縮尺1：4000の図で表します。何cmですか。

答え

(6) 50°の角がある図形を4倍に拡大します。この角は何度になりますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

拡大図・縮図と縮尺 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 76cm

対応する辺の長さを同じ倍率でかけます。

(2) 19cm

縮小の倍率をかけます。

(3) 4倍

拡大後÷もとの長さ。

(4) 760m

まず実際のcmを求め、100でわってmへ。

(5) 19cm

実際の長さをcmに直してから縮めます。

(6) 50°

拡大・縮小しても、対応する角の大きさは変わりません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

拡大図・縮図と縮尺

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 対応する辺は同じ倍率で変わります。角は変わりません。縮尺の計算は単位をそろえます。

例 縮尺1：1000で2cmは、実際には2000cm＝20mです。

(1) 20cmの辺を4倍に拡大します。対応する辺は何cmですか。

答え

(2) 80cmの辺を$\frac{1}{4}$に縮小します。何cmですか。

答え

(3) もとの辺20cmが、拡大後80cmになりました。倍率はいくつですか。

答え

(4) 縮尺1：4000の地図で20cmの長さは、実際には何mですか。

答え

(5) 実際の長さ800mを、縮尺1：4000の図で表します。何cmですか。

答え

(6) 50°の角がある図形を4倍に拡大します。この角は何度になりますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

拡大図・縮図と縮尺 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 80cm

対応する辺の長さを同じ倍率でかけます。

(2) 20cm

縮小の倍率をかけます。

(3) 4倍

拡大後÷もとの長さ。

(4) 800m

まず実際のcmを求め、100でわってmへ。

(5) 20cm

実際の長さをcmに直してから縮めます。

(6) 50°

拡大・縮小しても、対応する角の大きさは変わりません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

拡大図・縮図と縮尺

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 対応する辺は同じ倍率で変わります。角は変わりません。縮尺の計算は単位をそろえます。

例 縮尺1：1000で2cmは、実際には2000cm＝20mです。

(1) 21cmの辺を4倍に拡大します。対応する辺は何cmですか。

答え

(2) 84cmの辺を$\frac{1}{4}$に縮小します。何cmですか。

答え

(3) もとの辺21cmが、拡大後84cmになりました。倍率はいくつですか。

答え

(4) 縮尺1：4000の地図で21cmの長さは、実際には何mですか。

答え

(5) 実際の長さ840mを、縮尺1：4000の図で表します。何cmですか。

答え

(6) 50°の角がある図形を4倍に拡大します。この角は何度になりますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

拡大図・縮図と縮尺 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 84cm

対応する辺の長さを同じ倍率でかけます。

(2) 21cm

縮小の倍率をかけます。

(3) 4倍

拡大後÷もとの長さ。

(4) 840m

まず実際のcmを求め、100でわってmへ。

(5) 21cm

実際の長さをcmに直してから縮めます。

(6) 50°

拡大・縮小しても、対応する角の大きさは変わりません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

拡大図・縮図と縮尺

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 対応する辺は同じ倍率で変わります。角は変わりません。縮尺の計算は単位をそろえます。

例 縮尺1：1000で2cmは、実際には2000cm＝20mです。

(1) 22cmの辺を4倍に拡大します。対応する辺は何cmですか。

答え

(2) 88cmの辺を$\frac{1}{4}$に縮小します。何cmですか。

答え

(3) もとの辺22cmが、拡大後88cmになりました。倍率はいくつですか。

答え

(4) 縮尺1：4000の地図で22cmの長さは、実際には何mですか。

答え

(5) 実際の長さ880mを、縮尺1：4000の図で表します。何cmですか。

答え

(6) 50°の角がある図形を4倍に拡大します。この角は何度になりますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

拡大図・縮図と縮尺 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 88cm

対応する辺の長さを同じ倍率でかけます。

(2) 22cm

縮小の倍率をかけます。

(3) 4倍

拡大後÷もとの長さ。

(4) 880m

まず実際のcmを求め、100でわってmへ。

(5) 22cm

実際の長さをcmに直してから縮めます。

(6) 50°

拡大・縮小しても、対応する角の大きさは変わりません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

拡大図・縮図と縮尺

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 対応する辺は同じ倍率で変わります。角は変わりません。縮尺の計算は単位をそろえます。

例 縮尺1：1000で2cmは、実際には2000cm＝20mです。

(1) 8cmの辺を5倍に拡大します。対応する辺は何cmですか。

答え

(2) 40cmの辺を$\frac{1}{5}$に縮小します。何cmですか。

答え

(3) もとの辺8cmが、拡大後40cmになりました。倍率はいくつですか。

答え

(4) 縮尺1：5000の地図で8cmの長さは、実際には何mですか。

答え

(5) 実際の長さ400mを、縮尺1：5000の図で表します。何cmですか。

答え

(6) 50°の角がある図形を5倍に拡大します。この角は何度になりますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

拡大図・縮図と縮尺 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 40cm

対応する辺の長さを同じ倍率でかけます。

(2) 8cm

縮小の倍率をかけます。

(3) 5倍

拡大後÷もとの長さ。

(4) 400m

まず実際のcmを求め、100でわってmへ。

(5) 8cm

実際の長さをcmに直してから縮めます。

(6) 50°

拡大・縮小しても、対応する角の大きさは変わりません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

拡大図・縮図と縮尺

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 対応する辺は同じ倍率で変わります。角は変わりません。縮尺の計算は単位をそろえます。

例 縮尺1：1000で2cmは、実際には2000cm＝20mです。

(1) 23cmの辺を5倍に拡大します。対応する辺は何cmですか。

答え

(2) 115cmの辺を$\frac{1}{5}$に縮小します。何cmですか。

答え

(3) もとの辺23cmが、拡大後115cmになりました。倍率はいくつですか。

答え

(4) 縮尺1：5000の地図で23cmの長さは、実際には何mですか。

答え

(5) 実際の長さ1150mを、縮尺1：5000の図で表します。何cmですか。

答え

(6) 50°の角がある図形を5倍に拡大します。この角は何度になりますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

拡大図・縮図と縮尺 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 115cm

対応する辺の長さを同じ倍率でかけます。

(2) 23cm

縮小の倍率をかけます。

(3) 5倍

拡大後÷もとの長さ。

(4) 1150m

まず実際のcmを求め、100でわってmへ。

(5) 23cm

実際の長さをcmに直してから縮めます。

(6) 50°

拡大・縮小しても、対応する角の大きさは変わりません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

拡大図・縮図と縮尺

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 対応する辺は同じ倍率で変わります。角は変わりません。縮尺の計算は単位をそろえます。

例 縮尺1：1000で2cmは、実際には2000cm＝20mです。

(1) 24cmの辺を5倍に拡大します。対応する辺は何cmですか。

答え

(2) 120cmの辺を$\frac{1}{5}$に縮小します。何cmですか。

答え

(3) もとの辺24cmが、拡大後120cmになりました。倍率はいくつですか。

答え

(4) 縮尺1：5000の地図で24cmの長さは、実際には何mですか。

答え

(5) 実際の長さ1200mを、縮尺1：5000の図で表します。何cmですか。

答え

(6) 50°の角がある図形を5倍に拡大します。この角は何度になりますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

拡大図・縮図と縮尺 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 120cm

対応する辺の長さを同じ倍率でかけます。

(2) 24cm

縮小の倍率をかけます。

(3) 5倍

拡大後÷もとの長さ。

(4) 1200m

まず実際のcmを求め、100でわってmへ。

(5) 24cm

実際の長さをcmに直してから縮めます。

(6) 50°

拡大・縮小しても、対応する角の大きさは変わりません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

拡大図・縮図と縮尺

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 対応する辺は同じ倍率で変わります。角は変わりません。縮尺の計算は単位をそろえます。

例 縮尺1：1000で2cmは、実際には2000cm＝20mです。

(1) 25cmの辺を5倍に拡大します。対応する辺は何cmですか。

答え

(2) 125cmの辺を$\frac{1}{5}$に縮小します。何cmですか。

答え

(3) もとの辺25cmが、拡大後125cmになりました。倍率はいくつですか。

答え

(4) 縮尺1：5000の地図で25cmの長さは、実際には何mですか。

答え

(5) 実際の長さ1250mを、縮尺1：5000の図で表します。何cmですか。

答え

(6) 50°の角がある図形を5倍に拡大します。この角は何度になりますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

拡大図・縮図と縮尺 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 125cm

対応する辺の長さを同じ倍率でかけます。

(2) 25cm

縮小の倍率をかけます。

(3) 5倍

拡大後÷もとの長さ。

(4) 1250m

まず実際のcmを求め、100でわってmへ。

(5) 25cm

実際の長さをcmに直してから縮めます。

(6) 50°

拡大・縮小しても、対応する角の大きさは変わりません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

拡大図・縮図と縮尺

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 対応する辺は同じ倍率で変わります。角は変わりません。縮尺の計算は単位をそろえます。

例 縮尺1：1000で2cmは、実際には2000cm＝20mです。

(1) 26cmの辺を5倍に拡大します。対応する辺は何cmですか。

答え

(2) 130cmの辺を$\frac{1}{5}$に縮小します。何cmですか。

答え

(3) もとの辺26cmが、拡大後130cmになりました。倍率はいくつですか。

答え

(4) 縮尺1：5000の地図で26cmの長さは、実際には何mですか。

答え

(5) 実際の長さ1300mを、縮尺1：5000の図で表します。何cmですか。

答え

(6) 50°の角がある図形を5倍に拡大します。この角は何度になりますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

拡大図・縮図と縮尺 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 130cm

対応する辺の長さを同じ倍率でかけます。

(2) 26cm

縮小の倍率をかけます。

(3) 5倍

拡大後÷もとの長さ。

(4) 1300m

まず実際のcmを求め、100でわってmへ。

(5) 26cm

実際の長さをcmに直してから縮めます。

(6) 50°

拡大・縮小しても、対応する角の大きさは変わりません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

拡大図・縮図と縮尺

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 対応する辺は同じ倍率で変わります。角は変わりません。縮尺の計算は単位をそろえます。

例 縮尺1：1000で2cmは、実際には2000cm＝20mです。

(1) 9cmの辺を6倍に拡大します。対応する辺は何cmですか。

答え

(2) 54cmの辺を$\frac{1}{6}$に縮小します。何cmですか。

答え

(3) もとの辺9cmが、拡大後54cmになりました。倍率はいくつですか。

答え

(4) 縮尺1：6000の地図で9cmの長さは、実際には何mですか。

答え

(5) 実際の長さ540mを、縮尺1：6000の図で表します。何cmですか。

答え

(6) 50°の角がある図形を6倍に拡大します。この角は何度になりますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

拡大図・縮図と縮尺 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 54cm

対応する辺の長さを同じ倍率でかけます。

(2) 9cm

縮小の倍率をかけます。

(3) 6倍

拡大後÷もとの長さ。

(4) 540m

まず実際のcmを求め、100でわってmへ。

(5) 9cm

実際の長さをcmに直してから縮めます。

(6) 50°

拡大・縮小しても、対応する角の大きさは変わりません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

拡大図・縮図と縮尺

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 対応する辺は同じ倍率で変わります。角は変わりません。縮尺の計算は単位をそろえます。

例 縮尺1：1000で2cmは、実際には2000cm＝20mです。

(1) 27cmの辺を6倍に拡大します。対応する辺は何cmですか。

答え

(2) 162cmの辺を$\frac{1}{6}$に縮小します。何cmですか。

答え

(3) もとの辺27cmが、拡大後162cmになりました。倍率はいくつですか。

答え

(4) 縮尺1：6000の地図で27cmの長さは、実際には何mですか。

答え

(5) 実際の長さ1620mを、縮尺1：6000の図で表します。何cmですか。

答え

(6) 50°の角がある図形を6倍に拡大します。この角は何度になりますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

拡大図・縮図と縮尺 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 162cm

対応する辺の長さを同じ倍率でかけます。

(2) 27cm

縮小の倍率をかけます。

(3) 6倍

拡大後÷もとの長さ。

(4) 1620m

まず実際のcmを求め、100でわってmへ。

(5) 27cm

実際の長さをcmに直してから縮めます。

(6) 50°

拡大・縮小しても、対応する角の大きさは変わりません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

拡大図・縮図と縮尺

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 対応する辺は同じ倍率で変わります。角は変わりません。縮尺の計算は単位をそろえます。

例 縮尺1:1000で2cmは、実際には2000cm=20mです。

(1) 28cmの辺を6倍に拡大します。対応する辺は何cmですか。

答え

(2) 168cmの辺を$\frac{1}{6}$に縮小します。何cmですか。

答え

(3) もとの辺28cmが、拡大後168cmになりました。倍率はいくつですか。

答え

(4) 縮尺1:6000の地図で28cmの長さは、実際には何mですか。

答え

(5) 実際の長さ1680mを、縮尺1:6000の図で表します。何cmですか。

答え

(6) 50°の角がある図形を6倍に拡大します。この角は何度になりますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

拡大図・縮図と縮尺 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 168cm

対応する辺の長さを同じ倍率でかけます。

(2) 28cm

縮小の倍率をかけます。

(3) 6倍

拡大後÷もとの長さ。

(4) 1680m

まず実際のcmを求め、100でわってmへ。

(5) 28cm

実際の長さをcmに直してから縮めます。

(6) 50°

拡大・縮小しても、対応する角の大きさは変わりません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

拡大図・縮図と縮尺

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 対応する辺は同じ倍率で変わります。角は変わりません。縮尺の計算は単位をそろえます。

例 縮尺1：1000で2cmは、実際には2000cm＝20mです。

(1) 29cmの辺を6倍に拡大します。対応する辺は何cmですか。

答え

(2) 174cmの辺を$\frac{1}{6}$に縮小します。何cmですか。

答え

(3) もとの辺29cmが、拡大後174cmになりました。倍率はいくつですか。

答え

(4) 縮尺1：6000の地図で29cmの長さは、実際には何mですか。

答え

(5) 実際の長さ1740mを、縮尺1：6000の図で表します。何cmですか。

答え

(6) 50°の角がある図形を6倍に拡大します。この角は何度になりますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

拡大図・縮図と縮尺 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 174cm

対応する辺の長さを同じ倍率でかけます。

(2) 29cm

縮小の倍率をかけます。

(3) 6倍

拡大後÷もとの長さ。

(4) 1740m

まず実際のcmを求め、100でわってmへ。

(5) 29cm

実際の長さをcmに直してから縮めます。

(6) 50°

拡大・縮小しても、対応する角の大きさは変わりません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

拡大図・縮図と縮尺

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 対応する辺は同じ倍率で変わります。角は変わりません。縮尺の計算は単位をそろえます。

例 縮尺1：1000で2cmは、実際には2000cm＝20mです。

(1) 30cmの辺を6倍に拡大します。対応する辺は何cmですか。

答え

(2) 180cmの辺を$\frac{1}{6}$に縮小します。何cmですか。

答え

(3) もとの辺30cmが、拡大後180cmになりました。倍率はいくつですか。

答え

(4) 縮尺1：6000の地図で30cmの長さは、実際には何mですか。

答え

(5) 実際の長さ1800mを、縮尺1：6000の図で表します。何cmですか。

答え

(6) 50°の角がある図形を6倍に拡大します。この角は何度になりますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

拡大図・縮図と縮尺 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 180cm

対応する辺の長さを同じ倍率でかけます。

(2) 30cm

縮小の倍率をかけます。

(3) 6倍

拡大後÷もとの長さ。

(4) 1800m

まず実際のcmを求め、100でわってmへ。

(5) 30cm

実際の長さをcmに直してから縮めます。

(6) 50°

拡大・縮小しても、対応する角の大きさは変わりません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

拡大図・縮図と縮尺

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 対応する辺は同じ倍率で変わります。角は変わりません。縮尺の計算は単位をそろえます。

例 縮尺1：1000で2cmは、実際には2000cm＝20mです。

(1) 10cmの辺を7倍に拡大します。対応する辺は何cmですか。

答え

(2) 70cmの辺を$\frac{1}{7}$に縮小します。何cmですか。

答え

(3) もとの辺10cmが、拡大後70cmになりました。倍率はいくつですか。

答え

(4) 縮尺1：7000の地図で10cmの長さは、実際には何mですか。

答え

(5) 実際の長さ700mを、縮尺1：7000の図で表します。何cmですか。

答え

(6) 50°の角がある図形を7倍に拡大します。この角は何度になりますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

拡大図・縮図と縮尺 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 70cm

対応する辺の長さを同じ倍率でかけます。

(2) 10cm

縮小の倍率をかけます。

(3) 7倍

拡大後÷もとの長さ。

(4) 700m

まず実際のcmを求め、100でわってmへ。

(5) 10cm

実際の長さをcmに直してから縮めます。

(6) 50°

拡大・縮小しても、対応する角の大きさは変わりません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

拡大図・縮図と縮尺

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 対応する辺は同じ倍率で変わります。角は変わりません。縮尺の計算は単位をそろえます。

例 縮尺1:1000で2cmは、実際には2000cm=20mです。

(1) 31cmの辺を7倍に拡大します。対応する辺は何cmですか。

答え

(2) 217cmの辺を$\frac{1}{7}$に縮小します。何cmですか。

答え

(3) もとの辺31cmが、拡大後217cmになりました。倍率はいくつですか。

答え

(4) 縮尺1:7000の地図で31cmの長さは、実際には何mですか。

答え

(5) 実際の長さ2170mを、縮尺1:7000の図で表します。何cmですか。

答え

(6) 50°の角がある図形を7倍に拡大します。この角は何度になりますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

拡大図・縮図と縮尺 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 217cm

対応する辺の長さを同じ倍率でかけます。

(2) 31cm

縮小の倍率をかけます。

(3) 7倍

拡大後÷もとの長さ。

(4) 2170m

まず実際のcmを求め、100でわってmへ。

(5) 31cm

実際の長さをcmに直してから縮めます。

(6) 50°

拡大・縮小しても、対応する角の大きさは変わりません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

拡大図・縮図と縮尺

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 対応する辺は同じ倍率で変わります。角は変わりません。縮尺の計算は単位をそろえます。

例 縮尺1:1000で2cmは、実際には2000cm=20mです。

(1) 32cmの辺を7倍に拡大します。対応する辺は何cmですか。

答え

(2) 224cmの辺を$\frac{1}{7}$に縮小します。何cmですか。

答え

(3) もとの辺32cmが、拡大後224cmになりました。倍率はいくつですか。

答え

(4) 縮尺1:7000の地図で32cmの長さは、実際には何mですか。

答え

(5) 実際の長さ2240mを、縮尺1:7000の図で表します。何cmですか。

答え

(6) 50°の角がある図形を7倍に拡大します。この角は何度になりますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

拡大図・縮図と縮尺 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 224cm

対応する辺の長さを同じ倍率でかけます。

(2) 32cm

縮小の倍率をかけます。

(3) 7倍

拡大後÷もとの長さ。

(4) 2240m

まず実際のcmを求め、100でわってmへ。

(5) 32cm

実際の長さをcmに直してから縮めます。

(6) 50°

拡大・縮小しても、対応する角の大きさは変わりません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

拡大図・縮図と縮尺

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 対応する辺は同じ倍率で変わります。角は変わりません。縮尺の計算は単位をそろえます。

例 縮尺1：1000で2cmは、実際には2000cm＝20mです。

(1) 33cmの辺を7倍に拡大します。対応する辺は何cmですか。

答え

(2) 231cmの辺を$\frac{1}{7}$に縮小します。何cmですか。

答え

(3) もとの辺33cmが、拡大後231cmになりました。倍率はいくつですか。

答え

(4) 縮尺1：7000の地図で33cmの長さは、実際には何mですか。

答え

(5) 実際の長さ2310mを、縮尺1：7000の図で表します。何cmですか。

答え

(6) 50°の角がある図形を7倍に拡大します。この角は何度になりますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

拡大図・縮図と縮尺 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 231cm

対応する辺の長さを同じ倍率でかけます。

(2) 33cm

縮小の倍率をかけます。

(3) 7倍

拡大後÷もとの長さ。

(4) 2310m

まず実際のcmを求め、100でわってmへ。

(5) 33cm

実際の長さをcmに直してから縮めます。

(6) 50°

拡大・縮小しても、対応する角の大きさは変わりません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

拡大図・縮図と縮尺

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 対応する辺は同じ倍率で変わります。角は変わりません。縮尺の計算は単位をそろえます。

例 縮尺1：1000で2cmは、実際には2000cm＝20mです。

(1) 34cmの辺を7倍に拡大します。対応する辺は何cmですか。

答え

(2) 238cmの辺を$\frac{1}{7}$に縮小します。何cmですか。

答え

(3) もとの辺34cmが、拡大後238cmになりました。倍率はいくつですか。

答え

(4) 縮尺1：7000の地図で34cmの長さは、実際には何mですか。

答え

(5) 実際の長さ2380mを、縮尺1：7000の図で表します。何cmですか。

答え

(6) 50°の角がある図形を7倍に拡大します。この角は何度になりますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

拡大図・縮図と縮尺 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 238cm

対応する辺の長さを同じ倍率でかけます。

(2) 34cm

縮小の倍率をかけます。

(3) 7倍

拡大後÷もとの長さ。

(4) 2380m

まず実際のcmを求め、100でわってmへ。

(5) 34cm

実際の長さをcmに直してから縮めます。

(6) 50°

拡大・縮小しても、対応する角の大きさは変わりません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

場合の数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 順序や役割を区別する並べ方と、区別しない組み合わせを分けて考えます。

例 4人から委員長と副委員長は4×3=12通り。役割なしの2人組は12÷2=6通りです。

(1) シャツ4種類、ズボン3種類から1種類ずつ選びます。組み合わせは何通りですか。

答え

(2) 4人から委員長と副委員長を1人ずつ選びます。兼任しないとき何通りですか。

答え

(3) 4人から、役割の区別なく2人を選びます。何通りですか。

答え

(4) コインを2回投げます。表・裏の出方は全部で何通りですか。

答え

(5) 4種類のカードから違う2枚を選び、左と右に1枚ずつ並べます。何通りですか。

答え

(6) 4人から2人の組を作ります。AさんとBさんの組と、BさんとAさんの組は別に数えますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

場合の数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 12通り

1種類のシャツごとに、ズボンの種類だけ組み合わせがあります。

(2) 12通り

役割が違うので順序を区別します。1人選んだら残りから選びます。

(3) 6通り

順に2人選ぶ数を2でわり、同じ組の重複を除きます。

(4) 4通り

1回ごとに2通り。回数分、2をかけます。

(5) 12通り

左右の順番が違えば別に数えます。

(6) 同じ組として1回だけ数える

順序や役割を区別しないので、重複して数えません。

間違い直し

☐ 式の選び方 ☐ 計算 ☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____ もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

場合の数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 順序や役割を区別する並べ方と、区別しない組み合わせを分けて考えます。

例 4人から委員長と副委員長は4×3=12通り。役割なしの2人組は12÷2=6通りです。

(1) シャツ6種類、ズボン4種類から1種類ずつ選びます。組み合わせは何通りですか。

答え

(2) 6人から委員長と副委員長を1人ずつ選びます。兼任しないとき何通りですか。

答え

(3) 6人から、役割の区別なく2人を選びます。何通りですか。

答え

(4) コインを2回投げます。表・裏の出方は全部で何通りですか。

答え

(5) 6種類のカードから違う2枚を選び、左と右に1枚ずつ並べます。何通りですか。

答え

(6) 6人から2人の組を作ります。AさんとBさんの組と、BさんとAさんの組は別に数えますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

場合の数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 24通り

1種類のシャツごとに、ズボンの種類だけ組み合わせがあります。

(2) 30通り

役割が違うので順序を区別します。1人選んだら残りから選びます。

(3) 15通り

順に2人選ぶ数を2でわり、同じ組の重複を除きます。

(4) 4通り

1回ごとに2通り。回数分、2をかけます。

(5) 30通り

左右の順番が違えば別に数えます。

(6) 同じ組として1回だけ数える

順序や役割を区別しないので、重複して数えません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

場合の数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 順序や役割を区別する並べ方と、区別しない組み合わせを分けて考えます。

例 4人から委員長と副委員長は4×3=12通り。役割なしの2人組は12÷2=6通りです。

(1) シャツ7種類、ズボン4種類から1種類ずつ選びます。組み合わせは何通りですか。

答え

(2) 7人から委員長と副委員長を1人ずつ選びます。兼任しないとき何通りですか。

答え

(3) 7人から、役割の区別なく2人を選びます。何通りですか。

答え

(4) コインを2回投げます。表・裏の出方は全部で何通りですか。

答え

(5) 7種類のカードから違う2枚を選び、左と右に1枚ずつ並べます。何通りですか。

答え

(6) 7人から2人の組を作ります。AさんとBさんの組と、BさんとAさんの組は別に数えますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

場合の数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 28通り

1種類のシャツごとに、ズボンの種類だけ組み合わせがあります。

(2) 42通り

役割が違うので順序を区別します。1人選んだら残りから選びます。

(3) 21通り

順に2人選ぶ数を2でわり、同じ組の重複を除きます。

(4) 4通り

1回ごとに2通り。回数分、2をかけます。

(5) 42通り

左右の順番が違えば別に数えます。

(6) 同じ組として1回だけ数える

順序や役割を区別しないので、重複して数えません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

場合の数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 順序や役割を区別する並べ方と、区別しない組み合わせを分けて考えます。

例 4人から委員長と副委員長は4×3=12通り。役割なしの2人組は12÷2=6通りです。

(1) シャツ8種類、ズボン4種類から1種類ずつ選びます。組み合わせは何通りですか。

答え

(2) 8人から委員長と副委員長を1人ずつ選びます。兼任しないとき何通りですか。

答え

(3) 8人から、役割の区別なく2人を選びます。何通りですか。

答え

(4) コインを2回投げます。表・裏の出方は全部で何通りですか。

答え

(5) 8種類のカードから違う2枚を選び、左と右に1枚ずつ並べます。何通りですか。

答え

(6) 8人から2人の組を作ります。AさんとBさんの組と、BさんとAさんの組は別に数えますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

場合の数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 32通り

1種類のシャツごとに、ズボンの種類だけ組み合わせがあります。

(2) 56通り

役割が違うので順序を区別します。1人選んだら残りから選びます。

(3) 28通り

順に2人選ぶ数を2でわり、同じ組の重複を除きます。

(4) 4通り

1回ごとに2通り。回数分、2をかけます。

(5) 56通り

左右の順番が違えば別に数えます。

(6) 同じ組として1回だけ数える

順序や役割を区別しないので、重複して数えません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

場合の数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 順序や役割を区別する並べ方と、区別しない組み合わせを分けて考えます。

例 4人から委員長と副委員長は4×3=12通り。役割なしの2人組は12÷2=6通りです。

(1) シャツ9種類、ズボン4種類から1種類ずつ選びます。組み合わせは何通りですか。

答え

(2) 9人から委員長と副委員長を1人ずつ選びます。兼任しないとき何通りですか。

答え

(3) 9人から、役割の区別なく2人を選びます。何通りですか。

答え

(4) コインを2回投げます。表・裏の出方は全部で何通りですか。

答え

(5) 9種類のカードから違う2枚を選び、左と右に1枚ずつ並べます。何通りですか。

答え

(6) 9人から2人の組を作ります。AさんとBさんの組と、BさんとAさんの組は別に数えますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

場合の数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 36通り

1種類のシャツごとに、ズボンの種類だけ組み合わせがあります。

(2) 72通り

役割が違うので順序を区別します。1人選んだら残りから選びます。

(3) 36通り

順に2人選ぶ数を2でわり、同じ組の重複を除きます。

(4) 4通り

1回ごとに2通り。回数分、2をかけます。

(5) 72通り

左右の順番が違えば別に数えます。

(6) 同じ組として1回だけ数える

順序や役割を区別しないので、重複して数えません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

場合の数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 順序や役割を区別する並べ方と、区別しない組み合わせを分けて考えます。

例 4人から委員長と副委員長は4×3=12通り。役割なしの2人組は12÷2=6通りです。

(1) シャツ5種類、ズボン4種類から1種類ずつ選びます。組み合わせは何通りですか。

答え

(2) 5人から委員長と副委員長を1人ずつ選びます。兼任しないとき何通りですか。

答え

(3) 5人から、役割の区別なく2人を選びます。何通りですか。

答え

(4) コインを3回投げます。表・裏の出方は全部で何通りですか。

答え

(5) 5種類のカードから違う2枚を選び、左と右に1枚ずつ並べます。何通りですか。

答え

(6) 5人から2人の組を作ります。AさんとBさんの組と、BさんとAさんの組は別に数えますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

場合の数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 20通り

1種類のシャツごとに、ズボンの種類だけ組み合わせがあります。

(2) 20通り

役割が違うので順序を区別します。1人選んだら残りから選びます。

(3) 10通り

順に2人選ぶ数を2でわり、同じ組の重複を除きます。

(4) 8通り

1回ごとに2通り。回数分、2をかけます。

(5) 20通り

左右の順番が違えば別に数えます。

(6) 同じ組として1回だけ数える

順序や役割を区別しないので、重複して数えません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

場合の数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 順序や役割を区別する並べ方と、区別しない組み合わせを分けて考えます。

例 4人から委員長と副委員長は4×3=12通り。役割なしの2人組は12÷2=6通りです。

(1) シャツ4種類、ズボン5種類から1種類ずつ選びます。組み合わせは何通りですか。

答え

(2) 4人から委員長と副委員長を1人ずつ選びます。兼任しないとき何通りですか。

答え

(3) 4人から、役割の区別なく2人を選びます。何通りですか。

答え

(4) コインを3回投げます。表・裏の出方は全部で何通りですか。

答え

(5) 4種類のカードから違う2枚を選び、左と右に1枚ずつ並べます。何通りですか。

答え

(6) 4人から2人の組を作ります。AさんとBさんの組と、BさんとAさんの組は別に数えますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

場合の数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 20通り

1種類のシャツごとに、ズボンの種類だけ組み合わせがあります。

(2) 12通り

役割が違うので順序を区別します。1人選んだら残りから選びます。

(3) 6通り

順に2人選ぶ数を2でわり、同じ組の重複を除きます。

(4) 8通り

1回ごとに2通り。回数分、2をかけます。

(5) 12通り

左右の順番が違えば別に数えます。

(6) 同じ組として1回だけ数える

順序や役割を区別しないので、重複して数えません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

場合の数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 順序や役割を区別する並べ方と、区別しない組み合わせを分けて考えます。

例 4人から委員長と副委員長は4×3=12通り。役割なしの2人組は12÷2=6通りです。

(1) シャツ5種類、ズボン5種類から1種類ずつ選びます。組み合わせは何通りですか。

答え

(2) 5人から委員長と副委員長を1人ずつ選びます。兼任しないとき何通りですか。

答え

(3) 5人から、役割の区別なく2人を選びます。何通りですか。

答え

(4) コインを3回投げます。表・裏の出方は全部で何通りですか。

答え

(5) 5種類のカードから違う2枚を選び、左と右に1枚ずつ並べます。何通りですか。

答え

(6) 5人から2人の組を作ります。AさんとBさんの組と、BさんとAさんの組は別に数えますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

場合の数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 25通り

1種類のシャツごとに、ズボンの種類だけ組み合わせがあります。

(2) 20通り

役割が違うので順序を区別します。1人選んだら残りから選びます。

(3) 10通り

順に2人選ぶ数を2でわり、同じ組の重複を除きます。

(4) 8通り

1回ごとに2通り。回数分、2をかけます。

(5) 20通り

左右の順番が違えば別に数えます。

(6) 同じ組として1回だけ数える

順序や役割を区別しないので、重複して数えません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

場合の数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 順序や役割を区別する並べ方と、区別しない組み合わせを分けて考えます。

例 4人から委員長と副委員長は4×3=12通り。役割なしの2人組は12÷2=6通りです。

(1) シャツ6種類、ズボン5種類から1種類ずつ選びます。組み合わせは何通りですか。

答え

(2) 6人から委員長と副委員長を1人ずつ選びます。兼任しないとき何通りですか。

答え

(3) 6人から、役割の区別なく2人を選びます。何通りですか。

答え

(4) コインを3回投げます。表・裏の出方は全部で何通りですか。

答え

(5) 6種類のカードから違う2枚を選び、左と右に1枚ずつ並べます。何通りですか。

答え

(6) 6人から2人の組を作ります。AさんとBさんの組と、BさんとAさんの組は別に数えますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

場合の数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 30通り

1種類のシャツごとに、ズボンの種類だけ組み合わせがあります。

(2) 30通り

役割が違うので順序を区別します。1人選んだら残りから選びます。

(3) 15通り

順に2人選ぶ数を2でわり、同じ組の重複を除きます。

(4) 8通り

1回ごとに2通り。回数分、2をかけます。

(5) 30通り

左右の順番が違えば別に数えます。

(6) 同じ組として1回だけ数える

順序や役割を区別しないので、重複して数えません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

場合の数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 順序や役割を区別する並べ方と、区別しない組み合わせを分けて考えます。

例 4人から委員長と副委員長は4×3=12通り。役割なしの2人組は12÷2=6通りです。

(1) シャツ7種類、ズボン5種類から1種類ずつ選びます。組み合わせは何通りですか。

答え

(2) 7人から委員長と副委員長を1人ずつ選びます。兼任しないとき何通りですか。

答え

(3) 7人から、役割の区別なく2人を選びます。何通りですか。

答え

(4) コインを3回投げます。表・裏の出方は全部で何通りですか。

答え

(5) 7種類のカードから違う2枚を選び、左と右に1枚ずつ並べます。何通りですか。

答え

(6) 7人から2人の組を作ります。AさんとBさんの組と、BさんとAさんの組は別に数えますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

場合の数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 35通り

1種類のシャツごとに、ズボンの種類だけ組み合わせがあります。

(2) 42通り

役割が違うので順序を区別します。1人選んだら残りから選びます。

(3) 21通り

順に2人選ぶ数を2でわり、同じ組の重複を除きます。

(4) 8通り

1回ごとに2通り。回数分、2をかけます。

(5) 42通り

左右の順番が違えば別に数えます。

(6) 同じ組として1回だけ数える

順序や役割を区別しないので、重複して数えません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

場合の数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 順序や役割を区別する並べ方と、区別しない組み合わせを分けて考えます。

例 4人から委員長と副委員長は4×3=12通り。役割なしの2人組は12÷2=6通りです。

(1) シャツ6種類、ズボン5種類から1種類ずつ選びます。組み合わせは何通りですか。

答え

(2) 6人から委員長と副委員長を1人ずつ選びます。兼任しないとき何通りですか。

答え

(3) 6人から、役割の区別なく2人を選びます。何通りですか。

答え

(4) コインを4回投げます。表・裏の出方は全部で何通りですか。

答え

(5) 6種類のカードから違う2枚を選び、左と右に1枚ずつ並べます。何通りですか。

答え

(6) 6人から2人の組を作ります。AさんとBさんの組と、BさんとAさんの組は別に数えますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

場合の数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 30通り

1種類のシャツごとに、ズボンの種類だけ組み合わせがあります。

(2) 30通り

役割が違うので順序を区別します。1人選んだら残りから選びます。

(3) 15通り

順に2人選ぶ数を2でわり、同じ組の重複を除きます。

(4) 16通り

1回ごとに2通り。回数分、2をかけます。

(5) 30通り

左右の順番が違えば別に数えます。

(6) 同じ組として1回だけ数える

順序や役割を区別しないので、重複して数えません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

場合の数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 順序や役割を区別する並べ方と、区別しない組み合わせを分けて考えます。

例 4人から委員長と副委員長は4×3=12通り。役割なしの2人組は12÷2=6通りです。

(1) シャツ8種類、ズボン5種類から1種類ずつ選びます。組み合わせは何通りですか。

答え

(2) 8人から委員長と副委員長を1人ずつ選びます。兼任しないとき何通りですか。

答え

(3) 8人から、役割の区別なく2人を選びます。何通りですか。

答え

(4) コインを4回投げます。表・裏の出方は全部で何通りですか。

答え

(5) 8種類のカードから違う2枚を選び、左と右に1枚ずつ並べます。何通りですか。

答え

(6) 8人から2人の組を作ります。AさんとBさんの組と、BさんとAさんの組は別に数えますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

M6-10_03-a・問題 1 / 2・オリジナル教材

場合の数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 40通り

1種類のシャツごとに、ズボンの種類だけ組み合わせがあります。

(2) 56通り

役割が違うので順序を区別します。1人選んだら残りから選びます。

(3) 28通り

順に2人選ぶ数を2でわり、同じ組の重複を除きます。

(4) 16通り

1回ごとに2通り。回数分、2をかけます。

(5) 56通り

左右の順番が違えば別に数えます。

(6) 同じ組として1回だけ数える

順序や役割を区別しないので、重複して数えません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

場合の数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 順序や役割を区別する並べ方と、区別しない組み合わせを分けて考えます。

例 4人から委員長と副委員長は4×3=12通り。役割なしの2人組は12÷2=6通りです。

(1) シャツ9種類、ズボン5種類から1種類ずつ選びます。組み合わせは何通りですか。

答え

(2) 9人から委員長と副委員長を1人ずつ選びます。兼任しないとき何通りですか。

答え

(3) 9人から、役割の区別なく2人を選びます。何通りですか。

答え

(4) コインを4回投げます。表・裏の出方は全部で何通りですか。

答え

(5) 9種類のカードから違う2枚を選び、左と右に1枚ずつ並べます。何通りですか。

答え

(6) 9人から2人の組を作ります。AさんとBさんの組と、BさんとAさんの組は別に数えますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

場合の数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 45通り

1種類のシャツごとに、ズボンの種類だけ組み合わせがあります。

(2) 72通り

役割が違うので順序を区別します。1人選んだら残りから選びます。

(3) 36通り

順に2人選ぶ数を2でわり、同じ組の重複を除きます。

(4) 16通り

1回ごとに2通り。回数分、2をかけます。

(5) 72通り

左右の順番が違えば別に数えます。

(6) 同じ組として1回だけ数える

順序や役割を区別しないので、重複して数えません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

場合の数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 順序や役割を区別する並べ方と、区別しない組み合わせを分けて考えます。

例 4人から委員長と副委員長は4×3=12通り。役割なしの2人組は12÷2=6通りです。

(1) シャツ4種類、ズボン6種類から1種類ずつ選びます。組み合わせは何通りですか。

答え

(2) 4人から委員長と副委員長を1人ずつ選びます。兼任しないとき何通りですか。

答え

(3) 4人から、役割の区別なく2人を選びます。何通りですか。

答え

(4) コインを4回投げます。表・裏の出方は全部で何通りですか。

答え

(5) 4種類のカードから違う2枚を選び、左と右に1枚ずつ並べます。何通りですか。

答え

(6) 4人から2人の組を作ります。AさんとBさんの組と、BさんとAさんの組は別に数えますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

場合の数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 24通り

1種類のシャツごとに、ズボンの種類だけ組み合わせがあります。

(2) 12通り

役割が違うので順序を区別します。1人選んだら残りから選びます。

(3) 6通り

順に2人選ぶ数を2でわり、同じ組の重複を除きます。

(4) 16通り

1回ごとに2通り。回数分、2をかけます。

(5) 12通り

左右の順番が違えば別に数えます。

(6) 同じ組として1回だけ数える

順序や役割を区別しないので、重複して数えません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

場合の数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 順序や役割を区別する並べ方と、区別しない組み合わせを分けて考えます。

例 4人から委員長と副委員長は4×3=12通り。役割なしの2人組は12÷2=6通りです。

(1) シャツ5種類、ズボン6種類から1種類ずつ選びます。組み合わせは何通りですか。

答え

(2) 5人から委員長と副委員長を1人ずつ選びます。兼任しないとき何通りですか。

答え

(3) 5人から、役割の区別なく2人を選びます。何通りですか。

答え

(4) コインを4回投げます。表・裏の出方は全部で何通りですか。

答え

(5) 5種類のカードから違う2枚を選び、左と右に1枚ずつ並べます。何通りですか。

答え

(6) 5人から2人の組を作ります。AさんとBさんの組と、BさんとAさんの組は別に数えますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

場合の数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 30通り

1種類のシャツごとに、ズボンの種類だけ組み合わせがあります。

(2) 20通り

役割が違うので順序を区別します。1人選んだら残りから選びます。

(3) 10通り

順に2人選ぶ数を2でわり、同じ組の重複を除きます。

(4) 16通り

1回ごとに2通り。回数分、2をかけます。

(5) 20通り

左右の順番が違えば別に数えます。

(6) 同じ組として1回だけ数える

順序や役割を区別しないので、重複して数えません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

場合の数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 順序や役割を区別する並べ方と、区別しない組み合わせを分けて考えます。

例 4人から委員長と副委員長は4×3=12通り。役割なしの2人組は12÷2=6通りです。

(1) シャツ7種類、ズボン6種類から1種類ずつ選びます。組み合わせは何通りですか。

答え

(2) 7人から委員長と副委員長を1人ずつ選びます。兼任しないとき何通りですか。

答え

(3) 7人から、役割の区別なく2人を選びます。何通りですか。

答え

(4) コインを5回投げます。表・裏の出方は全部で何通りですか。

答え

(5) 7種類のカードから違う2枚を選び、左と右に1枚ずつ並べます。何通りですか。

答え

(6) 7人から2人の組を作ります。AさんとBさんの組と、BさんとAさんの組は別に数えますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

場合の数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 42通り

1種類のシャツごとに、ズボンの種類だけ組み合わせがあります。

(2) 42通り

役割が違うので順序を区別します。1人選んだら残りから選びます。

(3) 21通り

順に2人選ぶ数を2でわり、同じ組の重複を除きます。

(4) 32通り

1回ごとに2通り。回数分、2をかけます。

(5) 42通り

左右の順番が違えば別に数えます。

(6) 同じ組として1回だけ数える

順序や役割を区別しないので、重複して数えません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

場合の数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 順序や役割を区別する並べ方と、区別しない組み合わせを分けて考えます。

例 4人から委員長と副委員長は4×3=12通り。役割なしの2人組は12÷2=6通りです。

(1) シャツ6種類、ズボン6種類から1種類ずつ選びます。組み合わせは何通りですか。

答え

(2) 6人から委員長と副委員長を1人ずつ選びます。兼任しないとき何通りですか。

答え

(3) 6人から、役割の区別なく2人を選びます。何通りですか。

答え

(4) コインを5回投げます。表・裏の出方は全部で何通りですか。

答え

(5) 6種類のカードから違う2枚を選び、左と右に1枚ずつ並べます。何通りですか。

答え

(6) 6人から2人の組を作ります。AさんとBさんの組と、BさんとAさんの組は別に数えますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

場合の数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 36通り

1種類のシャツごとに、ズボンの種類だけ組み合わせがあります。

(2) 30通り

役割が違うので順序を区別します。1人選んだら残りから選びます。

(3) 15通り

順に2人選ぶ数を2でわり、同じ組の重複を除きます。

(4) 32通り

1回ごとに2通り。回数分、2をかけます。

(5) 30通り

左右の順番が違えば別に数えます。

(6) 同じ組として1回だけ数える

順序や役割を区別しないので、重複して数えません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

場合の数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 順序や役割を区別する並べ方と、区別しない組み合わせを分けて考えます。

例 4人から委員長と副委員長は4×3=12通り。役割なしの2人組は12÷2=6通りです。

(1) シャツ8種類、ズボン6種類から1種類ずつ選びます。組み合わせは何通りですか。

答え

(2) 8人から委員長と副委員長を1人ずつ選びます。兼任しないとき何通りですか。

答え

(3) 8人から、役割の区別なく2人を選びます。何通りですか。

答え

(4) コインを5回投げます。表・裏の出方は全部で何通りですか。

答え

(5) 8種類のカードから違う2枚を選び、左と右に1枚ずつ並べます。何通りですか。

答え

(6) 8人から2人の組を作ります。AさんとBさんの組と、BさんとAさんの組は別に数えますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

場合の数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 48通り

1種類のシャツごとに、ズボンの種類だけ組み合わせがあります。

(2) 56通り

役割が違うので順序を区別します。1人選んだら残りから選びます。

(3) 28通り

順に2人選ぶ数を2でわり、同じ組の重複を除きます。

(4) 32通り

1回ごとに2通り。回数分、2をかけます。

(5) 56通り

左右の順番が違えば別に数えます。

(6) 同じ組として1回だけ数える

順序や役割を区別しないので、重複して数えません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

場合の数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 順序や役割を区別する並べ方と、区別しない組み合わせを分けて考えます。

例 4人から委員長と副委員長は4×3=12通り。役割なしの2人組は12÷2=6通りです。

(1) シャツ9種類、ズボン6種類から1種類ずつ選びます。組み合わせは何通りですか。

答え

(2) 9人から委員長と副委員長を1人ずつ選びます。兼任しないとき何通りですか。

答え

(3) 9人から、役割の区別なく2人を選びます。何通りですか。

答え

(4) コインを5回投げます。表・裏の出方は全部で何通りですか。

答え

(5) 9種類のカードから違う2枚を選び、左と右に1枚ずつ並べます。何通りですか。

答え

(6) 9人から2人の組を作ります。AさんとBさんの組と、BさんとAさんの組は別に数えますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

場合の数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 54通り

1種類のシャツごとに、ズボンの種類だけ組み合わせがあります。

(2) 72通り

役割が違うので順序を区別します。1人選んだら残りから選びます。

(3) 36通り

順に2人選ぶ数を2でわり、同じ組の重複を除きます。

(4) 32通り

1回ごとに2通り。回数分、2をかけます。

(5) 72通り

左右の順番が違えば別に数えます。

(6) 同じ組として1回だけ数える

順序や役割を区別しないので、重複して数えません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

場合の数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 順序や役割を区別する並べ方と、区別しない組み合わせを分けて考えます。

例 4人から委員長と副委員長は4×3=12通り。役割なしの2人組は12÷2=6通りです。

(1) シャツ4種類、ズボン7種類から1種類ずつ選びます。組み合わせは何通りですか。

答え

(2) 4人から委員長と副委員長を1人ずつ選びます。兼任しないとき何通りですか。

答え

(3) 4人から、役割の区別なく2人を選びます。何通りですか。

答え

(4) コインを5回投げます。表・裏の出方は全部で何通りですか。

答え

(5) 4種類のカードから違う2枚を選び、左と右に1枚ずつ並べます。何通りですか。

答え

(6) 4人から2人の組を作ります。AさんとBさんの組と、BさんとAさんの組は別に数えますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

場合の数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 28通り

1種類のシャツごとに、ズボンの種類だけ組み合わせがあります。

(2) 12通り

役割が違うので順序を区別します。1人選んだら残りから選びます。

(3) 6通り

順に2人選ぶ数を2でわり、同じ組の重複を除きます。

(4) 32通り

1回ごとに2通り。回数分、2をかけます。

(5) 12通り

左右の順番が違えば別に数えます。

(6) 同じ組として1回だけ数える

順序や役割を区別しないので、重複して数えません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

場合の数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 順序や役割を区別する並べ方と、区別しない組み合わせを分けて考えます。

例 4人から委員長と副委員長は4×3=12通り。役割なしの2人組は12÷2=6通りです。

(1) シャツ8種類、ズボン7種類から1種類ずつ選びます。組み合わせは何通りですか。

答え

(2) 8人から委員長と副委員長を1人ずつ選びます。兼任しないとき何通りですか。

答え

(3) 8人から、役割の区別なく2人を選びます。何通りですか。

答え

(4) コインを6回投げます。表・裏の出方は全部で何通りですか。

答え

(5) 8種類のカードから違う2枚を選び、左と右に1枚ずつ並べます。何通りですか。

答え

(6) 8人から2人の組を作ります。AさんとBさんの組と、BさんとAさんの組は別に数えますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

場合の数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 56通り

1種類のシャツごとに、ズボンの種類だけ組み合わせがあります。

(2) 56通り

役割が違うので順序を区別します。1人選んだら残りから選びます。

(3) 28通り

順に2人選ぶ数を2でわり、同じ組の重複を除きます。

(4) 64通り

1回ごとに2通り。回数分、2をかけます。

(5) 56通り

左右の順番が違えば別に数えます。

(6) 同じ組として1回だけ数える

順序や役割を区別しないので、重複して数えません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

場合の数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 順序や役割を区別する並べ方と、区別しない組み合わせを分けて考えます。

例 4人から委員長と副委員長は4×3=12通り。役割なしの2人組は12÷2=6通りです。

(1) シャツ4種類、ズボン7種類から1種類ずつ選びます。組み合わせは何通りですか。

答え

(2) 4人から委員長と副委員長を1人ずつ選びます。兼任しないとき何通りですか。

答え

(3) 4人から、役割の区別なく2人を選びます。何通りですか。

答え

(4) コインを6回投げます。表・裏の出方は全部で何通りですか。

答え

(5) 4種類のカードから違う2枚を選び、左と右に1枚ずつ並べます。何通りですか。

答え

(6) 4人から2人の組を作ります。AさんとBさんの組と、BさんとAさんの組は別に数えますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

場合の数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 28通り

1種類のシャツごとに、ズボンの種類だけ組み合わせがあります。

(2) 12通り

役割が違うので順序を区別します。1人選んだら残りから選びます。

(3) 6通り

順に2人選ぶ数を2でわり、同じ組の重複を除きます。

(4) 64通り

1回ごとに2通り。回数分、2をかけます。

(5) 12通り

左右の順番が違えば別に数えます。

(6) 同じ組として1回だけ数える

順序や役割を区別しないので、重複して数えません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

場合の数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 順序や役割を区別する並べ方と、区別しない組み合わせを分けて考えます。

例 4人から委員長と副委員長は4×3=12通り。役割なしの2人組は12÷2=6通りです。

(1) シャツ5種類、ズボン7種類から1種類ずつ選びます。組み合わせは何通りですか。

答え

(2) 5人から委員長と副委員長を1人ずつ選びます。兼任しないとき何通りですか。

答え

(3) 5人から、役割の区別なく2人を選びます。何通りですか。

答え

(4) コインを6回投げます。表・裏の出方は全部で何通りですか。

答え

(5) 5種類のカードから違う2枚を選び、左と右に1枚ずつ並べます。何通りですか。

答え

(6) 5人から2人の組を作ります。AさんとBさんの組と、BさんとAさんの組は別に数えますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

場合の数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 35通り

1種類のシャツごとに、ズボンの種類だけ組み合わせがあります。

(2) 20通り

役割が違うので順序を区別します。1人選んだら残りから選びます。

(3) 10通り

順に2人選ぶ数を2でわり、同じ組の重複を除きます。

(4) 64通り

1回ごとに2通り。回数分、2をかけます。

(5) 20通り

左右の順番が違えば別に数えます。

(6) 同じ組として1回だけ数える

順序や役割を区別しないので、重複して数えません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

場合の数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 順序や役割を区別する並べ方と、区別しない組み合わせを分けて考えます。

例 4人から委員長と副委員長は4×3=12通り。役割なしの2人組は12÷2=6通りです。

(1) シャツ6種類、ズボン7種類から1種類ずつ選びます。組み合わせは何通りですか。

答え

(2) 6人から委員長と副委員長を1人ずつ選びます。兼任しないとき何通りですか。

答え

(3) 6人から、役割の区別なく2人を選びます。何通りですか。

答え

(4) コインを6回投げます。表・裏の出方は全部で何通りですか。

答え

(5) 6種類のカードから違う2枚を選び、左と右に1枚ずつ並べます。何通りですか。

答え

(6) 6人から2人の組を作ります。AさんとBさんの組と、BさんとAさんの組は別に数えますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

場合の数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 42通り

1種類のシャツごとに、ズボンの種類だけ組み合わせがあります。

(2) 30通り

役割が違うので順序を区別します。1人選んだら残りから選びます。

(3) 15通り

順に2人選ぶ数を2でわり、同じ組の重複を除きます。

(4) 64通り

1回ごとに2通り。回数分、2をかけます。

(5) 30通り

左右の順番が違えば別に数えます。

(6) 同じ組として1回だけ数える

順序や役割を区別しないので、重複して数えません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

場合の数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 順序や役割を区別する並べ方と、区別しない組み合わせを分けて考えます。

例 4人から委員長と副委員長は4×3=12通り。役割なしの2人組は12÷2=6通りです。

(1) シャツ7種類、ズボン7種類から1種類ずつ選びます。組み合わせは何通りですか。

答え

(2) 7人から委員長と副委員長を1人ずつ選びます。兼任しないとき何通りですか。

答え

(3) 7人から、役割の区別なく2人を選びます。何通りですか。

答え

(4) コインを6回投げます。表・裏の出方は全部で何通りですか。

答え

(5) 7種類のカードから違う2枚を選び、左と右に1枚ずつ並べます。何通りですか。

答え

(6) 7人から2人の組を作ります。AさんとBさんの組と、BさんとAさんの組は別に数えますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

場合の数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 49通り

1種類のシャツごとに、ズボンの種類だけ組み合わせがあります。

(2) 42通り

役割が違うので順序を区別します。1人選んだら残りから選びます。

(3) 21通り

順に2人選ぶ数を2でわり、同じ組の重複を除きます。

(4) 64通り

1回ごとに2通り。回数分、2をかけます。

(5) 42通り

左右の順番が違えば別に数えます。

(6) 同じ組として1回だけ数える

順序や役割を区別しないので、重複して数えません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

場合の数

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 順序や役割を区別する並べ方と、区別しない組み合わせを分けて考えます。

例 4人から委員長と副委員長は4×3＝12通り。役割なしの2人組は12÷2＝6通りです。

(1) シャツ9種類、ズボン8種類から1種類ずつ選びます。組み合わせは何通りですか。

答え

(2) 9人から委員長と副委員長を1人ずつ選びます。兼任しないとき何通りですか。

答え

(3) 9人から、役割の区別なく2人を選びます。何通りですか。

答え

(4) コインを7回投げます。表・裏の出方は全部で何通りですか。

答え

(5) 9種類のカードから違う2枚を選び、左と右に1枚ずつ並べます。何通りですか。

答え

(6) 9人から2人の組を作ります。AさんとBさんの組と、BさんとAさんの組は別に数えますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

場合の数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 72通り

1種類のシャツごとに、ズボンの種類だけ組み合わせがあります。

(2) 72通り

役割が違うので順序を区別します。1人選んだら残りから選びます。

(3) 36通り

順に2人選ぶ数を2でわり、同じ組の重複を除きます。

(4) 128通り

1回ごとに2通り。回数分、2をかけます。

(5) 72通り

左右の順番が違えば別に数えます。

(6) 同じ組として1回だけ数える

順序や役割を区別しないので、重複して数えません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

場合の数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 順序や役割を区別する並べ方と、区別しない組み合わせを分けて考えます。

例 4人から委員長と副委員長は4×3=12通り。役割なしの2人組は12÷2=6通りです。

(1) シャツ8種類、ズボン7種類から1種類ずつ選びます。組み合わせは何通りですか。

答え

(2) 8人から委員長と副委員長を1人ずつ選びます。兼任しないとき何通りですか。

答え

(3) 8人から、役割の区別なく2人を選びます。何通りですか。

答え

(4) コインを7回投げます。表・裏の出方は全部で何通りですか。

答え

(5) 8種類のカードから違う2枚を選び、左と右に1枚ずつ並べます。何通りですか。

答え

(6) 8人から2人の組を作ります。AさんとBさんの組と、BさんとAさんの組は別に数えますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

場合の数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 56通り

1種類のシャツごとに、ズボンの種類だけ組み合わせがあります。

(2) 56通り

役割が違うので順序を区別します。1人選んだら残りから選びます。

(3) 28通り

順に2人選ぶ数を2でわり、同じ組の重複を除きます。

(4) 128通り

1回ごとに2通り。回数分、2をかけます。

(5) 56通り

左右の順番が違えば別に数えます。

(6) 同じ組として1回だけ数える

順序や役割を区別しないので、重複して数えません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

場合の数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 順序や役割を区別する並べ方と、区別しない組み合わせを分けて考えます。

例 4人から委員長と副委員長は4×3=12通り。役割なしの2人組は12÷2=6通りです。

(1) シャツ9種類、ズボン7種類から1種類ずつ選びます。組み合わせは何通りですか。

答え

(2) 9人から委員長と副委員長を1人ずつ選びます。兼任しないとき何通りですか。

答え

(3) 9人から、役割の区別なく2人を選びます。何通りですか。

答え

(4) コインを7回投げます。表・裏の出方は全部で何通りですか。

答え

(5) 9種類のカードから違う2枚を選び、左と右に1枚ずつ並べます。何通りですか。

答え

(6) 9人から2人の組を作ります。AさんとBさんの組と、BさんとAさんの組は別に数えますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

場合の数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 63通り

1種類のシャツごとに、ズボンの種類だけ組み合わせがあります。

(2) 72通り

役割が違うので順序を区別します。1人選んだら残りから選びます。

(3) 36通り

順に2人選ぶ数を2でわり、同じ組の重複を除きます。

(4) 128通り

1回ごとに2通り。回数分、2をかけます。

(5) 72通り

左右の順番が違えば別に数えます。

(6) 同じ組として1回だけ数える

順序や役割を区別しないので、重複して数えません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

場合の数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 順序や役割を区別する並べ方と、区別しない組み合わせを分けて考えます。

例 4人から委員長と副委員長は4×3=12通り。役割なしの2人組は12÷2=6通りです。

(1) シャツ4種類、ズボン8種類から1種類ずつ選びます。組み合わせは何通りですか。

答え

(2) 4人から委員長と副委員長を1人ずつ選びます。兼任しないとき何通りですか。

答え

(3) 4人から、役割の区別なく2人を選びます。何通りですか。

答え

(4) コインを7回投げます。表・裏の出方は全部で何通りですか。

答え

(5) 4種類のカードから違う2枚を選び、左と右に1枚ずつ並べます。何通りですか。

答え

(6) 4人から2人の組を作ります。AさんとBさんの組と、BさんとAさんの組は別に数えますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

場合の数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 32通り

1種類のシャツごとに、ズボンの種類だけ組み合わせがあります。

(2) 12通り

役割が違うので順序を区別します。1人選んだら残りから選びます。

(3) 6通り

順に2人選ぶ数を2でわり、同じ組の重複を除きます。

(4) 128通り

1回ごとに2通り。回数分、2をかけます。

(5) 12通り

左右の順番が違えば別に数えます。

(6) 同じ組として1回だけ数える

順序や役割を区別しないので、重複して数えません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

場合の数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 順序や役割を区別する並べ方と、区別しない組み合わせを分けて考えます。

例 4人から委員長と副委員長は4×3=12通り。役割なしの2人組は12÷2=6通りです。

(1) シャツ5種類、ズボン8種類から1種類ずつ選びます。組み合わせは何通りですか。

答え

(2) 5人から委員長と副委員長を1人ずつ選びます。兼任しないとき何通りですか。

答え

(3) 5人から、役割の区別なく2人を選びます。何通りですか。

答え

(4) コインを7回投げます。表・裏の出方は全部で何通りですか。

答え

(5) 5種類のカードから違う2枚を選び、左と右に1枚ずつ並べます。何通りですか。

答え

(6) 5人から2人の組を作ります。AさんとBさんの組と、BさんとAさんの組は別に数えますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

場合の数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 40通り

1種類のシャツごとに、ズボンの種類だけ組み合わせがあります。

(2) 20通り

役割が違うので順序を区別します。1人選んだら残りから選びます。

(3) 10通り

順に2人選ぶ数を2でわり、同じ組の重複を除きます。

(4) 128通り

1回ごとに2通り。回数分、2をかけます。

(5) 20通り

左右の順番が違えば別に数えます。

(6) 同じ組として1回だけ数える

順序や役割を区別しないので、重複して数えません。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。